中央研究院歷史語言研究所專刊之七十七

金文詁林補

第一册

卷一、二

周法高編撰

中央研究院歷史語言研究所專刊之七十七

金文詁林補（全八冊）

精裝本　每部貳仟元
平裝本　每部壹仟伍佰元

編輯者：中央研究院歷史語言研究所出版品編輯委員會

編撰者：周法高

發行者：中央研究院歷史語言研究所
[illegible]北市南港區

印刷者：福元印刷事業有限公司
[illegible]市[illegible]街58號

經銷處：各大書局

中華民國七十[illegible]年伍月出版

金文詁林補總目

金文詁林補自序

殷周二代、隸中國古代之青銅器時代、其鑄刻於銅器上之銘文、謂之金文、少者一字、多者五百字、其上者足與周誥殷盤湯盤孔鼎相埒、次者亦不失為古史、古文字學之直接資料、早期者與殷代甲骨文同時、其族徽圖形文字之淵源、尚早於甲骨文字、東周金文、與泉幣璽印、封泥、玉石、繒帛、簡牘文字並存、而西周之直接文字資料、則唯金文是賴、舉凡當時之軍事、政治、法律、經濟、典章制度、思想、習俗、語言、文字、文學、藝術、科技、史地、均可於金文得其端倪、而吾國數千年之文化、往往尋根溯源於斯、其所關係者、顧不重歟、

金文之學、浩如烟海、諸家異說並出、當綜其成、考釋各篇銘文、分

期排列，謂之通釋，以字為綱，附諸家之說於下，則謂之詁林。金文詁林經始於民國五十六年（一九六七）至六十三年（一九七四）成書十四卷，越二年而附錄上下卷脫稿，由香港中文大學出版。六十七年（一九七八）春來台，續撰補編。經故所長屈翼鵬先生之介，得國家科學委員會之補助，歷時三年半而書成。蒙所長高曉梅先生之推薦，承院方補助出版費，謹致謝忱。本書撰寫時，大學畢業生任助理一年者，有陳桂香、徐秀美二君；半年者，有潘意平、胡麗雯二君；三月者，有徐芳敏、孫書蘭二君；二月者有王希珂、陳加山二君。研究生兼助理者，有陳韻珊、陳韻、王安祈、楊清順、鍾采鈞諸君。林潔明君曾留學於東瀛，譯日本學者之金文著作數十萬言，頗能勝任，一併致謝。

補編體例，與正編大體相似，而微有不同。補編增錄三十七年來出

版之銅器銘文七百餘通，逐字編爲索引，附於不關各條之下。其異一、正編據容庚三訂金文編所收之字，補編則增收三百餘字。其異二、正編篇幅雖多，而余在中文大學有碩士弟子協助，殊爲得力，又因公務鞅掌，無暇細勘。編附錄時，弟子星散，始親自操作，來台後事必躬親，如牆盤及中山王四器銘文，整理各家考釋，並附己意，歷時三月，始克竣事，篇幅少於正編，而所得反多於前。其異三、

是書頭緒繁多，誤漏難免，加以出土資料日新月異，如欲求完備，恐永無殺青之日，唯有時加訂補，以免落伍而已。善乎吾亡友屈翼鵬先生之言曰：是書也，願爲者未必能爲，能爲者未必肯爲，能爲而又肯爲，亦非若干年之工力不辦。吾於是書，日唯孳孳汲汲，戰戰兢兢，唯不能成是書是懼，將以副亡友之期望，省讀者之心

力、非徒為一己之虛名也、吾人治學必先了解其他地區研治此學之情況、次須衡量吾人之研究成績、果足取重於士林否、余撰是書、蓋欲於此二者、略效棉薄也、尚希博雅君子、匡其不逮、

民國七十年五月二十二日周法高序於台北南港中央研究院歷史語言研究所、

金文詁林補凡例

一、本書為金文詁林之補編，特別注重近三十年出土之銅器銘文，於日本學者之金文著作，亦擇譯數十萬言，以收攻錯之效。

一、本書每頁下方用阿拉伯數字注明本書總頁碼，在括弧內注明本書十四卷之卷數，又注明此字在金文詁林中之編號，例如「(1-0001)」表示本書第一頁卷一「一」字編號為0001

一、本書據金文詁林與有關之字，每條剪貼一個至數個字形，並保留金文詁林所編字號及彝器號號碼，例如0003天天字條下選貼a天鼎〈0069〉、g大豐簋〈3779〉、i井侯簋〈3778〉

一、本書所收各家之說，如某條又與某器有關，則在當條上加註金文詁林中該字下某器所屬之英文小寫字母或在每條緣

加註該器號碼，例如「天」字條下引白川靜之說，與子項有關，故在「白川靜」之上加註子。

一、本書所收之字為金文詁林所未收者，按說文各字排列之次序或按說文部首排入適當之位置，而在號碼後加註英文大寫字母以別之，例如「0026A社」列於「0026禦」字後。

一、本書將日本學者有關金文之重要日文著作，選擇下列數種，請林潔明君譯為中文，

加藤常賢漢字の起源，昭和二十四年至三十二年（1949-1957）東京斯文會出版，昭和四十五年（1970）東京角川書店出版，55,995 pp.

赤塚忠稿本殷金文考釋，有昭和三十四年（1959）作者自序，油印本，昭和五十二年（1977）修訂本，收在「中國古代の宗教

與文化—殷王朝の祭祀」一書中，昭和五十二年(1977)東京出版。

白川靜金文通釋白鶴美術館誌第一至五二輯，昭和三十七年至五十五年(1962—1980)神戶。1962—1973，出版一至四〇輯，分為二三〇單位，每單位中收同時代之器若干，四十輯共收千餘器，1978—1979出版四八至五〇輯為「補釋篇」，補釋近年出土之器，1979—1980出版五一至五二輯為「補記篇」，補充以前所釋諸器。

白川靜說文新義十五卷，別卷一卷，昭和四十四年至四十九年(1969—1974)日本京都五典書院出版。

一、本書所收之器銘，為金文詁林所未收者凡七百餘通，一一加以編號，本書所增收之器，按編者隨時所見編號，初無深意存於其間也。前加「又」字，以列於正編之編號，編為增收彝器目錄，附於本書卷首，又改編為分類目錄，以備翻檢。

一、增收器銘，以句為單位，逐字編為索引，附於有關各字下，如卷一〇〇〇一「一」字條下〈X2〉「屯三舟為一舿△」等句是也。

一、本書初稿完成後，獲見徐中舒主編漢語古文字字形表及高明編古文字類編，（二書皆民國六十九年（一九八〇）出版，）因將二書中增補之金文，擇要採入本書中，高書註明出處，較徐書便於核對原書，但高書分類不便檢查，不如徐書按說文次序之易檢，本書所採，頗有出二家之外者，可互參。

一、本書初稿完成後，續有增刪，計增加五百餘頁，刪去十餘頁，檢查頁碼頗不方便，但因作者及論文索引皆用原頁碼，不可刪除，乃在各頁之左右下方（單頁在左下方，雙頁在右下方）另加總頁碼，以便翻檢，閱者鑒之。

一、本書別冊有金文詁林及補編通檢，金文詁林補新採用彝器

目錄及分類目錄引用書籍論文目錄引用書籍論文索引引用諸家索引並附三代吉金文存目錄索引、

一、本凡例有未盡處參照金文詁林凡例辦理。

12

金文詁林補十四卷詳目

卷一(總89—334頁)

0022	礿		0023	禘	P.64	0024	祝	P.65
0025	祈	P.71	0026	禦	P.74	0026A	社	P.77
0026B	禍	P.78	0027	祓		0028	禨	P.79
0029	禬		0030	禜	P.80	0031	禱	
0032	櫻	P.81	0032A	屎	P.82	0032B	葉	P.85
0032C	柰	P.86	0032D	桑	P.87a	0033	三	P.88
0034	王	P.97	0035	皇	P.123	0036	玉	
0037	璓		0038	鋆		0039	璧	P.136a
0040	環	P.137	0041	璜		0042	瑋	P.144
0043	瑁	P.148	0044	琱	P.149	0045	玗	
0046	靈		0047	珏		0047A	璽	P.150
0048	班	P.151a	0049	气	P.152	0050	士	P.156

0050A	壯	P.160	0051	中	P.161	0052	屮	
0053	屯	P.168	0054	每	P.172	0055	熏	P.175
0056	莊	P.176	0057	荅		0058	蘇	
0058A	蓼	P.178	0059	苕		0060	薛	P.180
0060A	茅	P.181	0061	節		0061A	蒐	P.182
0062	莞		0063	荊	P.184	0064	葉	
0064A	茂	P.186	0065	茲		0066	芮	
0067	萃		0068	苛		0068A	荒	P.187
0069	藻	P.188	0070	藥		0071	蓋	
0072	若	P.188a	0072A	草	P.189	0072B	芻	P.190a
0073	折	P.191	0074	蔥		0074A	蒙	P.194
0075	芳	P.194a	0075A	蘇	P.194b	0076	蒿	P.195

0077	[illegible]		0078	[illegible]		0079	[illegible]	
0080	[illegible]	P.196	0081	[illegible]	P.201	0082	[illegible]	P.202
0082A	[illegible]	P.202a	0082B	[illegible]	P.203	0082C	[illegible]	P.205

卷二(第335—686頁)

0083	小	P.206	0084	少	P.211	0085	八	P.214
0086	分	P.215	0086A	尔	P.216	0087	曾	P.217
0088	尚	P.229	0089	豢	P.232	0090	公	P.233
0091	必	P.246	0092	余	P.247	0093	采	
0094	番	P.253	0094A	寀 審	P.254a	0095	半	P.255
0096	牛	P.256	0097	牡 駐	P.257	0098	犅	
0098A	牟	P.257a	0099	牲		0100	牢	
0101	犕		0102	牼		0103	犀	P.258
0104	牪 [illegible]	P.258a	0105	告	P.259	0105A	口	P.264
0105B	含	P.264a	0106	呼	P.264b	0107	名	P.265

0108	吾	P.267	0109	哲	P.271	0110	君	P.273
0111	命	P.280	0112	召	P.283	0113	問	
0114	唯	P.295	0115	和	P.297	0116	哉	
0117	台	P.303	0118	咸	P.306	0119	右	P.308
0120	啻	P.311	0121	吉	P.312	0122	周	P.320
0123	唐		0124	[illegible]		0125	吁	
0125A	吝	P.327	0126	各	P.328	0127	哀	P.334
0128	嗀		0129	咎		0130	唬	P.335
0131	客		0132	哦		0133	[illegible]	
0134	釋		0134A	[illegible]	P.337	0134B	時	P.338a
0134C	[illegible]	P.338b	0135	[illegible]	P.339	0136	嚴	P.343
0137	[illegible]	P.346	0138	單	P.347	0139	[illegible]	

No.	字	頁	No.	字	頁	No.	字	頁
0140	嚣	P.348	0141	𠾖		0142	喪 趣	P.351
0143	走	P.356	0144	趣		0145	越	P.357
0146	趞	P.358	0147	趯		0148	趬	
0149	趛		0150	趩	P.359	0151	趙	P.360
0152	趧		0153	趮	P.361	0154	趄	
0155	趠	P.362	0156	超		0157	趍	
0158	趫		0159	趮		0159A	趫	P.367a
0160	峸		0161	前	P.368	0162	歷	
0163	歸	P.373	0164	登	P.378	0165	步	P.379
0166	歲	P.380	0167	此	P.384	0168	正	P.387
0168A	乏	P.389	0169	是	P.394	0170	迹	
0171	達	P.392	0172	邁		0173	徒	

0173A	邁	P.395	0174	延	P.397	0175	適	
0176	過	P.399	0177	進	P.401	0178	造	P.402
0178A	逾	P.405	0179	逌	P.406	0180	迮	
0181	遣		0182	遄		0183	速	P.410
0184	逆	P.411	0185	遇		0186	遘	P.412
0187	通	P.415	0188	徙	P.416	0188A	返	P.417
0189	還	P.418	0189A	送	P.419	0190	遣	P.420
0191	遅	P.422	0192	邐	P.423	0193	遹	P.424
0194	違	P.428	0195	達	P.429	0195A	連	P.432
0195B	逋 邋	P.433	0196	遺	P.435	0197	遂 述	P.436
0197A	逃	P.439	0198	追	P.441	0199	逐	P.442
0200	逞		0201	遠	P.444	0202	迂	

No.	Char	Ref	No.	Char	Ref	No.	Char	Ref
0203	遽		0204	道	R445	0205	遽 (㒓)	R446
0206	邊		0207	迹		0208	迷	
0209	適	R448	0210	遲	R449	0211	遞	
0212	逾		0213	遍		0213A	述	R449a
0214	德	R450	0215	復	R456	0216	往	
0217	彼		0217A	徉	R459	0217B	徬 (彷)	R460
0217C	待	R461	0217D	很 (退)	R461a	0218	後	R462
0219	徲	R464	0220	得	R465	0221	御	R468
0222	彶		0223	徣	R473	0224	佗	
0225	循	R477	0226	徍		0227	徹	
0228	儂		0229	廷	R478	0230	建	
0231	延	R479	0232	延		0233	行	

0234	衛	P.502	0235	衍		0235A	齒	P.505
0236	足	P.507	0237	蹟	P.509a	0238	距	P.510
0239	路		0239A	跣	P.511	0240	品	
0241	喿		0242	龠	P.512	0243	龢	P.514
0244	劬	P.516	0245	[illegible]		0246	冊	P.517
0247	[illegible]	P.519	0248	[illegible]				

卷三(總687—1140頁)

0249	囂	P.520	0250	器	P.521	0251	干	P.530
0252	步		0253	商	P.532	0254	句	P.539
0255	鉤	0255A 丩 P.541	0256	古	P.542	0257	嘏	
0258	十	P.549	0259	千	P.554	0260	博	P.556
0261	廿	P.557	0262	卅	P.561	0263	世 (𠈌)	P.562
0264	卌	P.566	0265	言	P.567	0266	語	P.571
0267	謂		0267A	請	P.572	0268	許	P.573
0269	諾	P.574	0270	讎		0271	諸	
0272	詩	P.575	0272A	訓	P.578	0273	誨	P.580
0273A	諮	P.582	0273B	謀 (𠰈)	P.583	0274	識	

23

0275	訊	P.584	0276	諶		0276A	信	P.585
0277	諮		0278	謀	P.587	0278A	諾 [illegible]	P.588
0279	誓	P.591	0280	誎	P.592	0281	諫	P.593
0282	誠		0282A	訢	P.594	0282B	託	P.596
0283	詠	P.597	0284	訏		0284A	詒	P.599
0284B	諦 [illegible]	P.597a	0285 ·	讟	P.600	0286	訇	P.602
0287	誕		0287A	譌	P.603	0288	講	P.604
0289	詐	P.605	0290	訟	P.606	0291	詷	
0291A	[illegible]	P.607	0291B	諫	P.609	0292	謹	P.612
0292A	詌	P.612a	0293	誰		0293A	詆	P.613
0294	讕		0294A	誅	P.614	0295	設	
·0296	訴		0297	詨		0298	戠	

No.	字	頁	No.	字	頁	No.	字	頁
0299	警		0300	諏		0301	譢	
0302	謙		0302A	講	P.615	0302B	謄	P.617
0302C	響	P.618	0302D	評	P.619a	0303	善	P.620
0304	競	P.621	0305	音	P.624	0306	章	P.626
0307	辯		0307A	辭	P.628	0308	童	P.629
0309	妾	P.635	0310	業	P.636	0310A	叢	P.636a
0311	對	P.637	0312	僕	P.644	0313	收	P.649
0314	奉		0315	丞	P.650	0315A	弇	P.652
0316	奐	P.654	0317	畀	P.658	0318	弄	P.660a
0319	戒	P.661	0320	兵	P.662	0321	龔	P.663
0322	具	P.668	0323	弈	P.670	0324	樊	
0324A	舁	P.671	0325	樊		0326	斐	

編號	字	頁
0327	樊	
0328	共	P.675
0329	龔	
0330	異	P.677
0331	與	P.685
0332	興	P.686
0333	晨	P.687
0334	農 (農)	P.688
0334A	[illegible]	P.689
0335	革	P.691
0336	鞄	
0337	鞏	
0338	鞞	
0339	韝	P.693
0340	勒	P.694
0340A	鞭 (㑹)	P.695
0340B	鞅	P.695a
0341	[illegible]	
0341A	[illegible]	P.696
0342	鬲	P.697
0343	鬴	P.698
0344	鬳	
0344A	鬻	P.699
0345	鬻 (𩱦)	P.701
0345A	爪	P.702a
0346	孚	P.703
0347	為	P.705
0348	[illegible]	P.708
0349	[illegible]	
0350	丮	P.709
0351	埶	P.711
0352	孰	
0353	埶	P.713
0354	巩	P.716
0355	[illegible]	P.718
0356	[illegible]	P.723

0356A	鬮	P.724	0357	又	P.725a	0358	父	P.726
0359	燮		0360	曼		0361	尹	P.733
0362	叡	P.737	0363	[illegible]	P.741	0364	及	P.742
0365	秉	P.747	0366	反	P.748	0367	[illegible]	P.751
0368	支		0369	[illegible]	P.756	0370	叔	P.759
0371	取	P.764	0372	叚		0373	友	P.766
0374	[illegible]	P.769	0375	ナ	P.776	0376	卑	P.778
0377	史	P.780	0378	事	P.796	0379	[illegible]	P.798
0380	肅	P.802	0381	聿	P.804	0382	書	P.805
0383	[illegible]		0383A	肄	P.805a	0384	畫	P.806
0384A	晝	P.807	0385	隶	P.808	0385A	隸	P.808a
0386	臤	P.809	0387	臣	P.810	0388	臧	P.818

编号	字	页	编号	字	页	编号	字	页
0389	舒	P.810	0390	䑛		0390A	𦧲	P.821
0371	殳		0392	殹		0393	毆	P.822
0394	段		0394A	毅	P.823a	0395	殷	
0396	殺		0397	殺		0398	殺	
0399	臽	P.824	0400	寺	P.827	0401	專	P.829
0402	皮	P.830	0403	啟	P.833	0404	肇	P.836
0405	敏	P.837	0406	攺		0407	教	P.838
0408	整		0409	效	P.839	0410	故	
0411	政	P.841	0412	敷		0413	敦	
0414	敐		0415	更	P.842	0416	敕	
0417	取		0417A	斂	P.845	0418	數	
0419	敵	P.846	0420	救	P.847	0421	敓	

0422	數	P.848	0422A	敉	P.852b	0423	攸	P.853
0424	数		0425	敦		0426	敗	P.856
0427	寇	P.857	0428	數	P.859	0429	鼓	
0430	攻	P.861	0431	孷	P.862	0432	鼓	P.864
0432A	畋	P.865	0433	改	P.867	0434	攸	P.872
0435	弢	P.874	0436	啟	P.875	0437	敞 徹	P.877
0438	敷		0439	徽		0440	敷	
0441	駁		0442	斂	P.882	0443	斂	P.883
0444	斁		0444A	敨	P.885	0444B	敞	P.887
0444C	斆	P.891	0444D	敉	P.893a	0445	教	P.894
0446	斆	P.895	0447	卜		0448	卟	P.896
0449	貞	P.900	0450	用	P.902	0451	甫	P.920

0451A	庸	P.922	0452	莆	P.927	0453	文	P.928
0454	爾	P.931	0455	爽	P.933			

卷四(總1141—1442頁)

0456	旻		0457	目		0458	眂	P.936
0459	盱		0460	晨		0461	眔	P.939
0462	睽	P.944	0463	旬		0464	相	P.945
0465	睗	P.949	0465A	眛	P.950	0466	[illegible]	
0467	眓		0468	䀠		0469	眉	P.952
0470	省	P.957	0470A	盾	P.964	0471	自	P.965
0472	㬎		0473	白	P.968	0474	皆	P.971
0475	魯	P.973	0476	者	P.981	0477	智	P.988
0478	百	P.991	0479	翟	P.996a	0480	翏	P.997
0480A	[illegible]	P.998	0481	隹	P.1001	0482	隻	P.1005

No.	字	Page	No.	字	Page	No.	字	Page
0483	雒		0483A	巂	P.1006	0483B	雀	P.1008
0484	癰	P.1010	0485	雍	P.1013	0486	雜	
0487	堆		0488	隻	P.1014	0489	雉	
0490	雈		0490A	奞	P.1016	0491	奪	
0492	奮	P.1017	0492A	蒦	P.1018	0493	雚	P.1021
0494	舊	P.1027	0494A	节	P.1028	0495	蔑	P.1029
0496	羊	P.1047	0497	羔	P.1048	0497A	羝	P.1049
0498	羣	P.1050	0499	美	P.1051	0500	羌	
0501	羼		0502	羴		0503	雔	P.1052
0504	霍		0505	集	P.1054	0506	鳥	P.1055
0506A	鳳	P.1055a	0506B	鳩	P.1055c	0507	鶇	P.1056
0508	鷀	P.1057a	0509	鷟	P.1058	0510	鳴	

32

0511	𡥆		0512	鵬	P.1060	0513	鷙	
0513A	驗	P.1062	0514	烏	P.1064	0515	舄	P.1066
0515A	焉	P.1067	0516	畢	P.1068	0517	棄	P.1074
0518	冓	P.1075	0519	再	P.1078	0520	爯	P.1079
0521	幺	P.1081	0521A	幼	P.1082	0522	丝	P.1083
0523	幽	P.1084	0524	幾	P.1086	0525	叀	P.1090
0526	惠	P.1094	0527	疐	P.1095	0528	玄	P.1096
0529	玆	P.1101	0530	幻		0530A	放	P.1103
0531	敖		0532	爰	P.1104	0533	㐭	
0534	受	P.1105	0535	爭	P.1107	0536	敢	P.1115
0537	發	P.1121	0538	歺	P.1127	0539	死	P.1129
0539A	體	P.1133	0539B	胎	P.1133a	0540	臚	

0541	脰	P.1134	0542	胃	P.1135	0543	膺	P.1136
0543A	臂	P.1137	0544	髕		0545	脽	P.1139
0545A	肖	P.1141a	0546	胤	P.1142	0547	膳	
0547A	膱	P.1143	0548	胾	P.1144	0549	散	P.1145
0550	肯	P.1147	0551	脒		0552	腐	P.1148
0553	腱		0553A	刀	P.1149	0554	利	P.1151
0555	初	P.1152	0556	則	P.1154	0557	剛 但	P.1160
0558	辨	P.1164	0559	割	P.1166	0560	劃	
0560A	劑	P.1167	0561	刷		0561A	刮	P.1170
0562	罰	P.1171	0563	剝		0564	剠	
0565	剴		0565A	剖	P.1172	0566	刃	
0567	劒	P.1173	0568	丰		0569	耤	P.1174

0570	[illegible]	P.1175	0571	[illegible]		0572	衡	
0572A	[illegible]	P.1175b	0573	[illegible]		0574	[illegible]	P.1175c

卷五(總1443—1870頁)

0574A	箭	P.1176	0575	筍	P.1177	0576	[illegible]	P.1178	0576A	簡 笨	P.1179
0577	笙	P.1180				0577A	符	P.1184	0578	箪	
0579	筥	P.1185				0580	簋	P.1186	0581	簠	P.1190
0581A	籭	P.1198				0582	笭	P.1199	0582A	筞 箣	P.1200
0583	箙	P.1202				0583A	箴	P.1204	0583B	簧	P.1206
0584	箭					0584A	篙	P.1207	0585	其	P.1208
0586	丌	P.1219				0587	典	P.1222	0587A	巽	P.1224。
0588	奠	P.1225				0589	左	P.1229	0590	差	P.1230
0591	工	P.1231				0592	巨	P.1235	0592A	塞	P.1236
0593	巫					0594	曆	P.1238	0595	猷	P.1242

0596	甚		0596A	曆	P.1245	0596B	甛	P.1246
0597	曰	P.1247	0598	朁		0599	曹	P.1252
0600	曶	P.1253	0601	乃	P.1254	0602	迺	P.1259
0603	逌		0604	丂	P.1264	0605	甹	P.1267
0606	[illegible]		0607	寧	P.1279	0608	可	P.1283
0609	兮		0610	乎	P.1284	0611	亏	P.1287
0612	粵	P.1296	0613	平	P.1298	0614	旨	P.1299
0615	嘗		0616	喜	P.1301	0617	壴	
0618	尌		0619	彭	P.1304	0620	嘉	P.1307
0621	鼓	P.1308	0622	豆	P.1309	0623	鼖	P.1310
0624	豊		0625	豐	P.1311	0626	虞	P.1324
0627	虔	P.1329	0628	虘	P.1330	0629	虖	P.1333

0630	虞		0631	虎	P.1334	0632	彪	
0633	虢	P.1338	0634	虢	P.1340	0634A	虪	P.1346
0635	虒		0636	虦		0637	虩	P.1347
0637A	[illegible]	P.1352	0637B	[illegible]	P.1354a	0637C	虤	P.1354b
0638	贙	P.1355	0639	皿	P.1356	0640	盂	P.1357
0641	盌		0642	盛	P.1360	0643	盨	P.1361
0644	盧	P.1366	0645	盅	P.1367	0646	盆	P.1368
0647	盪	P.1369	0648	盉	P.1370	0649	益	P.1371
0649A	盡	P.1374	0649B	盅	P.1374a	0650	盥	P.1375
0651	盈		0652	盄		0653	蓋	
0654	醯		0655	盦		0656	盩	P.1376
0657	[illegible]		0658	[illegible]	0658A [illegible] P.1376a	0659	去	P.1377

No.	Character	Ref.
0660	[illegible]	P.1377a
0661	卹	P.1378
0662	盡	P.1379
0663	盇	
0664		
0665	丹	P.1380
0666	彤	P.1382
0667	青	P.1385
0668	靜	P.1387
0669	井	P.1388
0670	刑	P.1394
0671	刱	P.1394a
0672	即	P.1395
0673	既	P.1397
0674	宦	P.1399
0675	鬯	P.1402
0676	鬱	P.1403
0677	爵	P.1410
0678	[illegible]	
0679	食	
0680	饆	P.1411
0681	[illegible]	
0682	飴	P.1412
0683	養	
0683A	飯	P.1412a
0684	飤	P.1413
0684A	饡 餍	P.1414
0685	[illegible]	P.1417
0686	饗	P.1420
0686A	饕 叨	P.1420a
0687	饉	
0688	[illegible]	
0688A	餕	P.1421
0688B	餗	P.1422
0688C	歠	P.1424
0689	合	P.1425

0690	僉	P.1426	0690A	侖	P.1427	0691	今	P.1428
0692	舍	P.1434	0693	會	P.1440	0694	倉	P.1448
0695	入	P.1450	0696	內	P.1453	0697	缶	P.1458
0698	匋	P.1459	0699	缾		0699A	罃	P.1459a
0700	罏	P.1460	0701	罇		0702	矢	P.1461
0703	射	P.1462	0704	侯	P.1463	0704A	矣	P.1470
0705	矤		0706	臬		0707	高	P.1471
0708	亳		0709	冋	P.1473	0710	市	P.1475
0711	央	P.1477	0712	享 𦎫	P.1482	0712A	[illegible]	P.1485
0713	京	P.1488	0714	就	P.1493	0715	亯	P.1494
0716	𦎫	P.1501	0717	覃		0718	厚	P.1504
0719	畐	P.1505	0720	良	P.1506	0721	稟	P.1513

0722	嗇	P.1514	0723	嗇		0724	嗇	P.1520
0724A	穡	P.1523	0724B	牆	P.1527	0725	來	P.1530
0726	麥		0727	复	P.1542	0728	夒	
0729	夏	P.1544	0729A	夓	P.1546	0730	舞	
0731	韋	P.1552	0732	韓	P.1553	0733	韌	
0734	韍	P.1554	0734A	韐	P.1557	0734B	韤	P.1558
0735	弟	P.1559	0736	夅	P.1561	0737	夆	
0738	乘	P.1563						

卷六(總1871—2166頁)

0739	木	P.1564	0739A	枏	P.1564c	0740	来	P.1564d
0741	杜	P.1565	0742	棫	P.1568	0743	杙	
0743A	柞	P.1571	0743B	椅	P.1572	0743C	枋	P.1574
0744	栁	P.1574a	0745	欒		0746	杞	
0747	櫟		0748	榮	P.1575	0749	桐	P.1580a
0749A	松	P.1581	0750	某	P.1582	0751	本	
0752	朱	P.1584	0753	末		0754	果	P.1587
0755	校	P.1591	0756	桀		0757	根	
0758	樛		075?	杕		0760	格	
0760A	槁	P.1593	0761	析	P.1594	0762	築	

No.	Char	Page	No.	Char	Page	No.	Char	Page
0762A	榦	P.1596	0763	桴	P.1598	0764	梠	
0765	櫱		0766	槃	P.1599	0767	櫑	P.1600
0768	樂	P.1602	0769	梁		0770	采	P.1606
0771	橫		0772	析	P.1609	0773	枼	P.1610
0774	休	P.1612	0775	桓		0775A	棺	P.1627
0776	宋	P.1629	0777	椒		0778	柜	
0779	桿		0780	梳	P.1631	0780A	梓	P.1633
0781	麩	P.1636	0781A	榥	P.1638	0781B	麸	P.1639
0781C	榴	P.1640	0781D	鷄	P.1644	0781E	楷	P.1644a
0782	東	P.1645	0783	棘		0784	林	P.1652
0785	無	P.1653	0786	楚	P.1661	0787	棥	P.1665
0788	麓		0789	簪	P.1665a	0790	才	P.1666

0791	叕	P.1674	0792	之	P.1685	0793	生	P.1692
0794	巿	P.1694	0795	師	P.1697	0796	出	P.1701
0797	南	P.1702	0798	生	P.1712	0798A	産	P.1713
0799	丰		0799A	乇	P.1715	0800	華	P.1717
0800A	巢	P.1718	0801	束	P.1720	0802	東	P.1721
0803	剌	P.1722	0803A	橐	P.1729	0804	橐	P.1731
0805	賣	P.1734	0806	團	P.1735	0807	回	
0808	圖	P.1736	0809	國	P.1740	0810	囿	
0811	圃	P.1741	0812	因	P.1742	0812A	固	P.1743
0813	圍		0814	圂		0815	圉	
0816	貝	P.1744	0817	貝	P.1745	0818	賢	
0818A	貨	P.1747	0819	賨		0820	賸	P.1748

0821	賞	P.1750	0822	賜	P.1751	0823	贏	P.1752
0823A	負	P.1754	0824	貯	P.1755	0825	貳	
0826	賓	P.1766	0827	貿		0828	贖	
0828A	費	P.1767c	0829	責		0830	賚	P.1768
0831	買		0832	賦		0833	賃	P.1769
0834	賣		0835	賏		0836	財	
0837	貸		0838	貧		0839	負	
0840	賮	P.1770	0841	贄		0841A	賀	P.1771
0841B	貭	P.1772	0842	朋	P.1774	0843	邑	P.1775
0844	邦	P.1778	0844A	郡	P.1781	0844B	鄰	P.1781a
0845	都		0846	鄙	P.1782	0847	酆	
0848	鄭	P.1783	0849	鄲		0850	邶	

0850A	邵	P.1783a	0851	邢		0851A	祁	P.1784
0852	鄲		0853	鄣	P.1787	0854	鄙	P.1788
0854A	郝	P.1789	0855	郢	P.1791	0856	鄧	P.1793a
0857	鄂		0858	[illegible]		0858A	[illegible]	P.1795
0859	鄘	P.1796	0859A	[illegible]	P.1797	0859B	鄱	P.1798a
0859C	郜	P.1798b	0860	邛		0861	鄶	
0862	郤	P.1799	0863	邦		0864	[illegible]	
0865	邗		0866	[illegible]		0867	[illegible]	
0868	[illegible]		0869	[illegible]	P.1800	0869A	卬	P.1802
0869B	[illegible]	P.1804	0870	[illegible]		0871	[illegible]	
0872	[illegible]		0873	鄉		0874	[illegible]	
0875	[illegible]		0875A	邑	P.1809	0875B	[illegible]	P.1810

0875C	[illegible]	P.1812	0875D	[illegible]	P.1814	0875E	[illegible]	P.1815
0875F	[illegible]	P.1817	0875G	[illegible]	P.1817a	0875H	[illegible]	P.1817b
0876	[illegible]							

卷七(總2167—2600頁)

0877	日	P.1818	0877A	時	P.1820	0877B	早	P.1821
0878	昧	P.1823	0879	晉	P.1825	0880	佰	P.1826
0881	昬		0882	昌		0883	星	P.1827
0884	昔	P.1830	0885	昆		0886	昶	P.1833
0887	㫚		0888	旦	P.1834	0889	倝	
0890	朝	P.1835	0891	㫃		0892	旂	P.1841
0893	旃	P.1842	0893A	施	P.1843	0894	斿	P.1847
0895	旋	P.1849	0896	旌		0897	旅	P.1850
0898	族	P.1887	0899	旗		0900	旝	P.1894
0901	旟	P.1895	0902	旞		0903	旛	P.1896

0903A	旂	P.1897	0903B	旃	P.1898	0903C	旋	P.1898a	0904	星	
0905	参	P.1899	0906	月	P.1902	0907	朏	P.1905			
0908	霸	P.1906	0909	期	P.1907	0910	朢	P.1907a			
0911	有	P.1908	0912	明	P.1916	0913	囧				
0914	盟 盟	P.1933	0915	夕	P.1934	0916	夜	P.1938			
0917	夤	P.1940	0918	外	P.1941	0919	夙	P.1942			
0920	多	P.1945	0921	夥		0922	甬	P.1950			
0923	甬	P.1951	0924	東	P.1953a	0925	卤	P.1954			
0926	齊	P.1955	0927	朿	P.1958	0927A	棗	P.1960a			
0928	鼎	P.1961	0929	鼒	P.1964	0930	鼏				
0931	鼐		0932	鼒	P.1965	0933	鼐				
0934	克	P.1970	0935	录	P.1975	0936	禾	P.1980			

No.	字	P.	No.	字	P.	No.	字	P.
0937	橲	P.1981	0938	穖		0939	穆	P.1982
0940	稻	P.1986	0940A	積	P.1986a	0941	年	P.1987
0942	穌	P.1996	0943	秦	P.1997	0944	稀	P.1998
0945	秄		0945A	匧	P.2000	0946	兼	
0947	黍	P.2002	0948	粱		0948A	粺	P.2004
0948E	糌	P.2006	0949	香	P.2007	0950	臽	
0951	㬱		0951A	枺	P.2007a	0952	麻	
0952A	朩	P.2008	0953	㡀		0954	瓜	
0955	家	P.2011	0956	宅	P.2017	0957	室	P.2019
0958	宣		0959	向	P.2020	0959A	宇	P.2022
0957B	寷	P.2027a	0960	寅	P.2027b	0961	宏	P.2028
0961A	宖	P.2034	0962	康	P.2036	0963	寍	P.2037

No.	Char	Page
0964	定	P.2039
0965	安	P.2040
0966	宴	
0967	窺	P.2043
0968	富	P.2044
0969	賓	P.2045
0969A	容	P.2045a
0970	寶	P.2046
0971	宦	P.2058
0972	宰	P.2059
0973	守	P.2061
0974	寵	P.[illegible]
0975	宥	
0976	宜	P.2063
0977	宵	
0978	宿	
0979	寢	
0980	寄	
0981	寡	P.2079
0982	客	P.2083
0983	寓	P.2088
0984	寒	
0985	害	P.2089
0986	索	
0987	究	P.2092
0988	官	P.2093
0989	宋	P.2094
0990	宗	P.2095
0991	牢	
0992	审	
0993	客	
0994	宅	
0995	窮	
0996	軍	
0997	寅	P.2102
0998	宝	

0999	室	P.2106	1000	賓		1001	寈	
1002	寍		1003	寓	P.2113	1004	寰	P.2114
1005	賓		1006	寂		1007	寖	
1008	審		1009	寐	P.2115	1010	寫	
1011	竈		1012	竊		1013	寶	
1014	竂		1014 A	窟	P.2116	1015	宮	P.2122
1016	呂	P.2126	1017	竉	P.2130	1018	罙	
1019	寮	P.2132	1020	空		1021	窵	P.2134
1022	窄		1023	窒		1024	窴	
1024 A	窖	P.2136	1024 B	寬	P.2137a	1025	穴	
1026	㾹		1027	瘒		1028	瘴	
1029	疾	P.2138	1029 A	瘨	P.2142a	1030	疕	

1031	瘵		1032	瘨	P.2143	1033	瘠	
1033A	瘖	P.2147	1033B	瘼	P.2148	1033C	癲	P.2148a
1033D	瘟	P.2148d	1034	冂	P.2149	1035	同	P.2151
1036	冑	P.2156	1036A	冒	P.2161a	1037	网	
1038	兩	P.2162	1039	㒼		1040	网	
1041	罨	P.2165	1042	罟		1043	罳	
1044	巾		1045	帥	P.2166	1046	常	
1047	幬		1048	幃		1049	帚	P.2168
1050	布		1051	帶		1051A	席	P.2169
1052	黼		1053	市	P.2170	1053A	幭	P.2175a
1054	帛	P.2176	1055	白	P.2178	1056	帛	
1057	黹	P.2192	1057A	黼	P.2196	1058	黻	P.2199

卷八(總2821—2844頁)

1059	人	P.2200	1060	保	P.2204	1061	仕	
1062	佩	P.2213	1063	伯		1064	仲	
1065	伊		1066	仜	P.2214	1067	儼	
1068	倗	P.2216	1069	俶		1069A	僟	P.2217a
1070	佗		1071	何		1072	備	P.2218
1073	位	P.2219	1074	儕	P.2221	1074A	儔	P.2222
1075	側	P.2223	1076	付	P.2224	1077	偭	
1078	敚	P.2225	1079	作	P.2233	1080	侵	
1081	儥	P.2238	1082	償		1083	儀	
1084	似		1084A	便	P.2240	1085	任	

1086	俗 P.2243	1087	俾	1088	億 P.2245
1089	使 P.2247	1090	伶 P.2248	1091	傳 P.2250
1092	仔	1093	佚 P.2251	1094	佃 P.2252
1095	伏	1096	伐 P.2253	1097	俘
1098	弔 P.2257	1099	佋	1099A	樊 P.2262a
1100	免	1101	侮	1102	侄 P.2263
1103	佞	1104	倘	1105	偺
1106	僎	1107	真	1107A	傐 P.2275
1107B	德 P.2266	1108	化	1109	仝 P.2267
1110	卓	1111	从	1112	從 P.2268
1124	幷 P.2261	1113	比 P.2265a	1114	北 P.2272
1115	冀 P.2275	1116	丘 P.2277	1117	眾 P.2278

1118.	堅	P.2281	1119	重	P.2283	1120	童	P.2285
1121	監	P.2288	1122	臨	P.2290	1123	身	P.2291
1124	殷	P.2292	1125	衣	P.2300	1126	衮	P.2305
1127	裏	P.2306	1127A	襍 褻	P.2308	1127B	[illegible]	P.2313a
1127C	襲	P.13/36	1128	裹	P.2413	1129	裔	
1130	褱	P.2317	1130A	被	P.2318	1131	褻	
1131A	裨	P.2319	1132	裕	P.2320	1133	卒	P.2321
1133A	褚	P.2321a	1134	褮	P.2322	1135	褮	
1136	裛		1136A	褒	P.2323a	1137	裘	P.2324
1138	老	P.2325	1139	耆	P.2327	1140	耇	P.2328
1141	壽	P.2330	1142	考	P.2333	1143	孝	P.2337
1144	毛	P.2342	1145	毳		1146	尸	

56

No.	Character	Page
1147	居	P.2345
1148	屖	P.2346
1149	屡	
1150	屈	P.2351
1150A	履	P.2352
1151	舟	P.2354
1152	俞	P.2355
1153	船	
1154	彤	
1155	朕	P.2356
1156	般	P.2367
1157	服	P.2371
1158	艏	
1158A	艕	P.2372
1159	方	P.2374
1160	兀	
1161	兒	P.2380
1162	允	P.2382
1163	兊	P.2385
1164	兄	P.2385
1165	兢	
1166	[illegible]	
1167	[illegible]	
1168	[illegible]	
1169	先	P.2392
1170	見	P.2395
1170A	觀	P.2400
1170B	[illegible]	P.2401
1171	覷	
1172	親	P.2404
1173	覬	P.2405
1174	覶	
1174A	覔	P.2408
1174B	覩	P.2411
1174C	覼	P.2412
1174D	睽	P.2414

1174E	覘	P.2414a	1175	欽		1176	吹	P.2415
1177	歌		1178	次	P.2416	1179	歎	
1180	杴		1181	歔		1181A	䟢	P.2417
1182	飲	P.2418	1182A	盜	P.2418a	1182B	琼	P.2418b
1182C	砢	P.2419						

卷九(總2845—3072頁)

1183	頁		1183A	頭	P.2421a	1183B	顏	P.2421b
1184	頌	P.2422	1185	領	P.2438	1186	碩	
1187	碩	P.2439	1188	顧	P.2440	1189	領	
1189A	順	P.2440a	1190	項		1191	頡	
1192	顯	P.2441	1193	頰		1194	首	P.2445
1195	頤	P.2446	1196	縣	P.2448	1197	須	P.2449
1198	彡		1199	文	P.2451	1200	辬	
1201	彥		1202	髟		1203	[illegible]	
1204	髮	P.2462	1205	后	P.24[illegible]	[illegible]	司	P.2473
1207	令	P.2481	1208	卲	P.2486	[illegible]	卬	

1210 卬 P.2489	1211 郈	1211A 邜 P.2510
1212 印	1213 卿 P.2512	1214 卯
1215 鄉	1216 辟 P.2516	1217 匍 P.2526
1218 匊	1219 匀 P.2530	1220 旬 P.2533
1221 匌	1222 匓	1222A 復 P.2534
1223 冢 P.2536	1224 匋	1225 錫
1226 苟 P.2539	1227 芍 P.2542	1228 鬼 P.2543
1229 魃	1230 魖	1231 魋
1232 由 P.2547	1233 畏 P.2548	1234 禺
1235 畯 P.2549a	1236 山 P.2550	1237 囷
1238 密	1239 嶅	1240 崍
1241 [illegible]	1242 [illegible]	1242A 客 P.2550a

1243	廬		1244	廎	P.2551	1245	庫	P.2554
1246	廏		1247	廣	P.2556	1247A	底	P.2557a
1248	庶	P.2558	1249	廙	P.2570	1249A	廢	P.2571
1250	廟	P.2572	1251	庎		1252	库	
1253	庠		1254	廚		1255	廬	
1256	广	P.2573	1257	廞		1258	廌	P.2576
1259	麻		1260	压	P.2578	1261	厭	
1262	层		1263	厦		1264	屄	
1265	屐	P.2580	1266	廄		1267	厝	
1268	厦		1268A	厲	P.2581	1269	石	P.2583
1270	長	P.2584	1271	肆		1272	勿	P.2587
1273	易	P.2595	1274	冉	P.2600	1275	而	P.2602

1276	豕	P.2603	1276A	豧	P.2604	1277	豪	P.?605
1278	豢		1278A	豬	P.2606	1278B	豨	P.2607
1279	[illegible]	P.2609	1279A	豯	P.2611	1279B	豲	P.2612
1280	豚	P.2613	1281	貙		1282	貘	P.2614
1283	貉	P.2616	1284	易	P.2617	1285	象	P.2628

卷十(總3073—3318頁)

1286	馬	P.2630	1287	駒	P.2632	1287A	騅	P.2639
1288	駱		1288A	騎	P.2639a	1289	駟	P.2640
1290	驫		1291	馮		1292	駺	
1293	鴈		1294	騄		1295	鵦	
1296	薦	P.2641	1297	灋	P.2644	1298	麀	
1299	麋		1300	麗	P.2653	1300A	麃	P.2654
1301	麤		1301A	麈	P.2655	1302	㲋	
1303	兔		1304	冤	P.2656	1305	逸	P.2658
1305A	萈	P.2658a	1306	犬	P.2659	1306A	獵	P.2660
1307	獲		1308	獻	P.2661	1309	狄	P.2662

1310	猷	P.2665	1311	狐		1312	猋	P.2667
1313	狇		1314	狴		1315	狽	
1316	狺		1317	狀		1318	猲	
1318A	樊	P.2670	1318B	猝	P.2671	1318C	猒	P.2673
1319	獄	P.2674	1320	獄		1320A	鼠	P.2677
1321	能	P.2678	1322	燓	P.2679b	1323	尞	
1324	然	P.2680	1324A	燔	P.2681	1325	羡	
1326	熬		1326A	煤	P.2682	1326B	燓 燓	P.2684
1327	焦		1327A	照	P.2685	1328	光	P.2687
1328A	爇 爇	P.2690a	1329	熙	P.2691	1330	發	
1331	腠	P.2692	1331A	煬	P.2692a	1332	炎	P.2692b
1333	燓		1334	粦	P.2693	1335	黑	P.2696

1335A	鑿	P.2698	1335B	鑿	P.2700	1335C	鑿	P.2703
1336	恩	P.2705	1337	赤	P.2707	1338	大	P.2709
1338A	奎	P.2716	1339	夾		1340	奄	P.2717
1341	夸		1341A	契	P.2718	1342	夷	P.2719
1343	奈		1344	奢		1345	柰	
1346	亦	P.2721	1347	夨	P.2722	1348	吳	P.2731
1349	夭		1350	喬	P.2734	1351	奔	P.2737
1352	交	P.2738	1352A	亢	P.2739	1353	壺	P.2743
1354	懿	P.2744	1354A	幸	P.2745	1355	執	P.2750
1355A	圉	P.2751	1356	盩	P.2753	1357	報	P.2756a
1358	奢		1359	幸	P.2757	1360	執	
1361	乔	P.2762	1362	奚	P.2765	1363	臭	P.2767

No.	字	P.	No.	字	P.	No.	字	P.
1364	翼		1365	奨		1366	夫	P.2769
1367	枯		1368	訣	P.2773	1369	立	P.2790
1369A	功	P.2794	1369B	連	P.2795	1369C	竝	P.2797
1369D	頊	P.2798	1370	並	P.2800	1371	普	P.2801
1372	迦		1373	鼠	P.2804	1373A	慮	P.2808
1374	心	P.2809	1374A	息	P.2810	1374B	志	P.2811
1375	患	P.2812	1376	應	P.2813	1377	慎	
1377A	念	P.2814	1378	念	P.2815	1379	憲	P.2816
1379A	懲	P.2820	1379B	慈	P.2821	1380	慶	P.2822
1381	誘		1382	惟	P.2824	1383	憙	
1384	慢		1384A	懼	P.2825	1385	恃	
1385A	忝	P.2826	1386	懋		1387	慕	P.2828

1387A	慷	P.2830	1388	忏		1389	怒	P.2832
1390	悸	P.2833	1391	念		1392	愉	
1392A	愚	P.2836	1393	惷		1393A	息	P.2837
1393B	忽	P.2839	1394	忘	P.2840	1394A	忨	P.2841
1395	從		1395A	惑	P.2843	1396	忌	P.2844
1396A	怒	P.2845	1396B	快	P.2846	1396C	惪	P.2847
1396D	憚	P.2848	1396E	恐	P.2849	1396F	忍	P.2850
1397	愓		1397A	寨	P.2852	1397B	慄	P.2854
1397C	悽	P.2855	1397D	怨	P.2856	1397E	忝	P.2857
1397F	靈	P.2857a						

卷十一(總3319—3460頁)

1398	水	P.2858	1399	河		1400	江	P.2859
1401	沱		1402	沮		1402A	沅	P.2860
1403	涇		1404	漾		1404A	漆	P.2860a
1405	洛	P.2861	1406	沇	P.2864	1407	漳	
1407A	湘	P.2867	1407B	深	P.2868	1408	潭	
1409	淮	P.2868	1409A	澧	P.2870	1410	濼	P.2871
1411	洹	P.2872	1411A	濁	P.2872a	1412	溉	
1412A	浸	P.2872b	1413	濕	P.2873	1413A	濟	P.2874
1414	沽	P.2875	1415	海		1416	汾	P.2876
1417	衍		1418	潮		1418A	派	P.2876a

No.	Char	Ref.	No.	Char	Ref.	No.	Char	Ref.
1419	淢	P.2877	1419A	潦	P.2877a	1420	汪	
1421	沖		1421A	淪	P.2877b	1422	浮	
1422A	湋	P.2877c	1422B	汋	P.2878	1423	淑	
1424	淵	P.2880	1424A	澹	P.2884	1424B	淺	P.2888a
1425	沙	P.2889	1425A	灘	P.2890	1425B	津	P.2892
1426	湛	P.2893	1427	沈	P.2895	1428	沼	
1428A	濱	P.2899	1429	濂	P.2901	1429A	渴	P.2903
1430	涇		1431	瀞		1432	湯	P.2904
1432A	澆	P.2904a	1433	湎		1434	濯	
1434A	涕	P.2905	1435	減		1436	瀘	P.2906
1437	沪		1438	泆		1439	渫	
1440	漿	P.2906a	1441	滌	P.2906b	1442	瀍	

1442A	河	P.2907	1442B	[illegible]	P.2908	1442C	汸	P.2910
1442D	灅	P.2911	1442E	潍	P.2912	1442F	濕	P.2914
1442G	洋	P.2915	1442H	海	P.2915a	1442I	流	P.2915b
1443	涉		1444	瀕	P.2916	1445	川	P.2918
1446	巠	P.2923	1447	巟		1448	邕	
1449	侃	P.2924	1450	州	P.2928	1450A	繁	P.2931
1451	原		1452	永	P.2934	1453	羕	P.2943
1454	𠂢		1455	谷	P.2944	1456	𧮰	
1457	仌		1458	冰	P.2945	1459	冬	P.2946
1460	雨	P.2949	1461	雷	P.2951	1462	電	
1462A	霰	P.2953	1463	靁	P.2954	1464	雩	P.2958
1465	雫		1466	雲		1466A	霙	P.2958a

1467	魚	P.2959	1468	盧	P.2960	1469	鯀	P.2961
1470	鰥	P.2965	1471	鮮	P.2967	1472	鮑	
1473	鱻		1474	黑		1475	漁	P.2968
1476	龍	P.2969	1477	龕	P.2970	1478	龔	P.2973
1479	非	P.2974	1480	卂				

卷十二(總3461—3776頁)

1481	孔	P.2975	1482	不	P.2976	1483	否	P.2985
1484	孫		1485	至	P.2988	1486	經	P.2990
1487	西	P.2993.	1488	囪		1489	齲	
1489A	戶	P.2999a	1490	危		1491	庫	
1492	序		1493	門	P.3000	1494	閈	P.3001
1495	閩		1496	闢	P.3003	1497	間	P.3005
1498	闌	P.3007	1499	閑		1500	閑	P.3012
1501	閘	P.3014	1501A	闠	P.3015	1501B	閔	P.3016
1502	閱		1503	闢		1503A	闌	P.3017
1504	耳		1505	耿		1506	聖	P.3018

No.	字	頁
1507	聽	P.3021
1508	職	
1509	聞	P.3022
1509A	聘	P.3027a
1510	聾	
1511	職	P.3028
1512	臣	
1513	巸	P.3030
1514	手	P.3031
1515	拜	P.3032
1516	扶	
1517	持	
1518	搏	
1519	擇	
1520	承	
1521	招	P.3037
1522	揚	P.3038
1522A	抯	P.3040
1523	播	P.3044
1524	撲	
1524A	捷	P.3045
1525	拍	
1526	女	P.3046
1527	姓	
1528	姜	P.3050
1529	姬	P.3051
1530	姞	P.3054
1531	嬴	P.3055
1532	嬀	P.3056
1533	妘	
1534	婚	P.3057
1535	婦	P.3059
1536	妃	P.3062
1537	姻	P.3063
1538	婜	
1539	母	P.3064

1539A	姁	P.3065b	1540	姑|	P.3066	1541	威	P.3067
1542	娍		1543	妹	P.3069	1544	姪	
1544A	姆|	P.3073	1545	婧	P.3074	1546	奴	P.3075
1547	犹|	P.3078	1548	婟|		1549	妃	
1550	始	P.3079	1551	好	P.3080	1551A	婜	P.3081
1552	媓		1553	婜		1554	妝	
1555	嬰		1556	妄		1557	婼	P.3082a
1558	嫖		1558A	婁	P.3082b	1559	媿|	
1560	妏		1561	姦		1562	妥	P.3083
1563	妄	P.3086	1564	奴		1565	妶	
1566	奴		1567	媎		1568	姛	P.3087
1569	婁	P.3091a	1570	婀	P.3092	1571	婺	P.3093

No.	Char	Ref	No.	Char	Ref	No.	Char	Ref
1572	婞		1573	嬰		1574	[illegible]	
1575	[illegible]		1576	要		1577	[illegible]	
1578	嫂		1579	嫁	P.3095	1580	[illegible]	
1581	嗷		1582	[illegible]		1583	嫛	
1584	[illegible]	P.3096	1585	嫌		1586	㩋	
1587	㛶		1588	嬦		1589	婺	
1590	嬻	P.3097	1591	嬙		1591A	婊	P.3098
1591B	娃	P.3099	1592	毋	P.3100	1593	民	P.3102
1594	弗	P.3103	1595	弋	P.3107	1596	也	P.3113a
1597	氏丨	P.3114	1598	乑	P.3122	1598A	氐	P.3127a
1599	戈	P.3128	1600	肇	P.3130	1601	戎	P.3132
1602	戟	P.3133a	1603	賊		1604	戍	P.3134

1605	戰	P.3136	1606	戲	P.3137	1607	或	P.3140
1607A	戮	P.3144	1608	戈	P.3146	1609	武	P.3148
1610	截	P.3151	1611	戒		1612	戟	
1613	戟		1614	我		1615	戍	P.3159
1616	戚		1617	我	P.3162	1618	義	P.3166
1618A	直	P.3171a	1619	亡	P.3172	1620	乍	P.3175
1621	望	P.3192	1622	無		1623	匃	P.3193
1624	區	P.3198	1625	匿		1626	匽	P.3199
1627	匹	P.3206	1628	匧		1629	匚	
1630	匡	P.3208	1631	匜	P.3210	1631A	柩	P.3211
1631B	匫	P.3212a	1632	曲		1633	甾	
1634	畚		1635	盧	P.3213	1636	甗	

No.	字	頁	No.	字	頁	No.	字	頁
1637	弓	P.3215	1638	弭	P.3216	1638A	弨	P.3216a
1639	彊	P.3217	1640	弘	P.3219	1641	彌	P.3226
1641A	發	P.3228a	1642	[illegible]		1642A	弥	P.3229
1643	弜	P.3231	1644	弼		1644A	盭	P.3233
1645	系		1646	孫		1647	緜	P.3246
1647A	由	P.3249						

卷十三([illegible]3777—3966頁)

1648	系		1649	純	P.3250	1650	經	
1651	織	P.3251	1652	紀		1653	納	
1653A	絶	P.3252	1654	繼		1654A	續 賡	P.3253
1655	紹		1656	縕	P.3257	1657	絅	
1658	終	P.3257	1659	纁		1660	綰	P.3258
1661	繐		1661A	緇	P.3261	1661B	綬	P.3263
1662	組		1663	緟	P.3265	1664	紫	
1664A	絢	P.3271	1665	絨		1666	縢	
1667	維		1668	緐	P.3275	1669	綦	
1670	績		1671	綏		1672	纂	P.3278

1672A	蛇	P.3291	1672B	素	P.3291a	1673	鞢	P.3292
1674	繂	P.3293	1675	絲		1676	轡	P.3294
1677	率	P.3295	1678	虫		1679	雖	P.3298
1680	蠆		1680A	蜀	P.3299	1681	蚩	P.3299c
1682	螢		1683	蚘	P.3300	1684	蜜	P.3301
1685	蟰	P.3302	1685A	蛩	P.3303	1686	蝕	
1687	蝨	P.3304	1688	它	P.3305	1689	龜	P.3307
1689A	黽	P.3308	1690	鼂		1691	龜	
1692	黽		1693	二	P.3311	1694	亟	P.3313
1695	恆	P.3321	1695A	竺	P.3322	1696	凡	P.3323
1697	土	P.3333	1697A	地	P.3337	1698	堣	
1698A	坡	P.3339	1699	坪	P.3340	1700	均	P.3341

1701	睦		1702	基		1702A	垣	P.3342
1703	堵		1703A	堂	P.3344	1704	在	P.3346
1705	坒		1706	封	P.3350	1706A	型	P.3350a
1707	城	P.3351	1707A	壘	P.3351e	1708	垂	P.3351f
1708A	毀	P.3352	1708B	壞	P.3352a	1708C	垺	P.3353
1709	坏	P.3355	1710	堋		1711	圭	P.3358
1712	圣		1713	圼		1714	堂	P.3361a
1714A	坂	P.3361b	1715	堇	P.3362	1716	艱	P.3365
1717	里	P.3368	1718	釐	P.3371	1719	野	P.3375
1720	田	P.3377	1721	畮		1722	甸	
1723	畯	P.3378	1724	留	P.3384	1725	畜	P.3387
1726	畱	P.3388	1727	猫		1728	細	P.3390

1729	畕		1730	畺	P.3392	1731	黃	P.3394
1732	難		1733	男		1734	力	P.3408
1734A	勳	P.3409	1735	動		1735A	勞	P.3410
1736	勤	P.3412	1737	加		1737A	勇	P.3412a
1738	勅		1739	助	P.3413	1740	劦	

卷十四(總3967—4352頁)

編號	字	出處	編號	字	出處	編號	字	出處
1741	金	P.3414	1742	錫	P.3420	1743	鍪	P.3421
1744	銅		1745	鑄	P.3422	1746	鉼	P.3425a
1747	鍾	P.3425b	1748	鑑		1749	鐈	
1749A	鑊	P.3425h	1750	鎬	P.3426	1751	鑪	P.3431
1752	鈦	P.3432	1753	鋸		1754	鋝	
1755	鈞	P.3433	1756	鈴		1757	鉦	
1758	鐸	P.3434	1759	鏄		1760	鐘	P.3435
1761	鎛		1762	鎗		1763	鍠	
1764	鉈		1765	錞		1766	鏐	P.3436
1767	鑾		1767A	鍚	P.3436a	1768	鋪	

1769	銘	P.3437	1770	釛		1771	銑	
1772	鉘		1773	鉄		1774	鍨	
1775	鐵		1776	鑺		1777	鑙	
1778	鎮		1778A	鎡	P.3438	1778B	錡	P.3438a
1778C	鈌	P.3438b	1778D	鑲	P.3438c	1778E	尻	P.3439
1779	處	P.3441	1780	且	P.3443	1780A	俎	P.3449
1781	斤	P.3459	1782	斧	P.3460	1783	斨	
1783A	斪	P.3461a	1783B	斪	P.3461b	1784	所	P.3462
1785	斯		1786	斷		1787	新	P.3465
1788	斲		1789	斗	P.3467	1789A	斛	P.3467a
1790	料		1791	斞		1792	料	P.3467b
1793	升	P.3468	1794	車	P.3470	1795	較	P.3471

No.	字	Ref.	No.	字	Ref.	No.	字	Ref.
1796	軫		1797	轙	P.3471a	1797A	軏	P.3471b
1798	輗		1799	載	P.3472	1800	軍	P.3474
1801	轉		1801A	軌	P.3475	1802	輦	
1803	輔	P.3477	1804	輋		1805	較	
1805A	轢	P.3478	1805B	歔	P.3479	1806	𠂤	P.3480
1807	官	P.3490	1808	[illegible]	P.3493	1809	陵	P.3496
1810	陰	P.3496a	1811	陽	P.3497	1812	陸	
1813	阿	P.3498	1814	限		1815	隆	
1815A	隥	P.3499a	1816	陟	P.3500	1817	隊	
1818	降	P.3501	1818A	隕	P.3504	1818B	阤	P.3505
1819	𨸏	P.3507	1820	陭		1821	陳	P.3508
1822	陶	P.3509a	1823	[illegible]		1824	陝	P.3510

No.	Character	Page
1825	陪	
1826	陝	
1827	隣	
1828	傳	
1829	慢	
1830	徽	P.3511
1830A	阪	P.3512
1830B	陵	P.3520
1831	囬	P.3521
1832	宁	P.3525
1833	亞	P.3527
1834	王	P.3538
1835	六	P.3547
1836	七	P.3551
1837	九	P.3553
1838	金	
1839	萬	P.3557
1840	禹	
1841	善	P.3563
1842	歡	P.3566
1843	甲	P.3567
1844	乙	P.3578
1845	尤	P.3584
1846	丙	P.3588
1847	丁	P.3589
1848	戊	P.3591
1849	戌	P.3592
1850	己	P.3597
1851	異	P.3600
1852	庚	P.3601
1852A	唐	P.3608
1853	康	P.3613
1854	辛	P.3619
1854A	皋	P.3624
1854B	辜	P.3625
1855	辭	P.3626

1856	辟		1857	辭	P.3629	1858	壬	P.3654
1859	癸	P.3636	1860	子	P.3640	1861	字	P.3656
1862	穀	P.3658	1863	季	P.3660	1864	孟	P.3661
1865	孳		1866	疑		1867	孛	
1867A	孖	P.3663	1867B	孨	P.3664	1867C	孱	P.3664a
1868	𠫓		1869	育 毓	P.3665	1870	丑	P.3668
1871	羞	P.3669	1872	寅	P.3670	1873	卯	P.3676
1874	辰	P.3681	1875	巳	P.3691	1876	以	P.3674
1877	午	P.3700	1878	未	P.3704	1879	申	P.3706
1879A	臾	P.3712	1880	酉	P.3715	1881	酒	
1882	醴	P.3717	1883	配	P.3718	1883A 酌 P.3720a	1884	酢
1884A	醬	P.3721	1885	酓	P.3723	1886	[illegible]	P.3724

1887 酌　1888 酨　1889 醆 P.3726
1890 醙 P.3728　1891 酓 P.3729　1891A 醒 P.3730
1891B [illegible] P.3732　1891C 醬 P.3732、1892 尊 P.3733
1893 戌 P.3740　1894 亥 P.3743

凡自錄中每字下之頁碼，均指每頁下方正中之頁碼，與下方左右角之總頁碼無關。凡字下有頁碼者，為金文詁林補所收，無頁碼者，不見於金文詁林補，而見於金文詁林。字號後有大寫英文字母者，不見於金文詁林，而為金文詁林補所補。

金文詁林補一

周法高學

a

我彝 〈0647〉

一車= 鄂君啟節車節 一車二字合文 (23)

一𦨶= 鄂君啟節舟節 一𦨶二字合文 (22)

郭鼎堂曰：「一車二字合書，車下也有合文符，這些都不能作為重文，殷羅兩先生都把它們讀為重文，那是錯了。」（文史論集三三九頁關于鄂君啟節的研究(23)）法高按：殷、羅兩先生指殷滌非、羅長銘合著壽縣出土的鄂君啟金節見文物參考資料一九五八年第四期。

郭鼎堂曰：「一𦨶」下有重文符，乃表示一𦨶二字合書，古重文符之用有二：一表示重文，如上台王命命集尹，另一則表示二字

合書如此節之「一䑸」和乙節之「一車」，兩見與廿二十合書表示

合書之例，古璽中多見。又如秦詔權量「卿大夫」作「卿夫二」，蓋以

夫字中含有大字，故作「大夫」二字之合文（文史論集三三六

頁《關于鄂君啟節的研究》）〈又2〉

「屯三舟為一△䑸」〈又3〉「屯十台以堂（當）一△車」「屯廿=檐台以〈又2〉堂（當）一△車」〈又98〉「錫汝鬯一△卣」〈又135〉「廿一△年寺工獻上造但」〈又136〉「廿五年照吏，一△斗八升」〈又183〉「右角酒廿一△」〈又243〉「廿一△年莫命鄭□司寇吳裕左庫工師吉忘冶鉄」〈又244〉「卅一△年莫命梠潘司寇肖它坐庫工師皮耴冶肴尹启」、〈又288〉「家重一△石三百卅=三十九刀象=之重」〈又289〉「亓其一△人」〈又289〉「亓其一△痛藏厝府」「彤弓一△」〈又298〉「事余一△人」〈又298〉「鹽孫子一△飼皇辟歡懿德」〈又304〉「易鎔一△」〈又336〉「柰貢鈴一△」〈又338〉「朏帛白金一△反鈑」〈又368〉「一△

棓飤之」〈R395〉「十一年十一月乙己朔」〈R395〉「十一年十一月乙

己朔」〈R395〉「容一斛」〈R397〉「廿一年寺工獻工上造但」〈R400〉「一

斗八升」〈R636〉「廿一年啟封埨令（癰）工（師）金冶者」〈R668〉「一益（鎰）

十釿半釿四分釿之冢重」



a

高景成云乃元字初文与



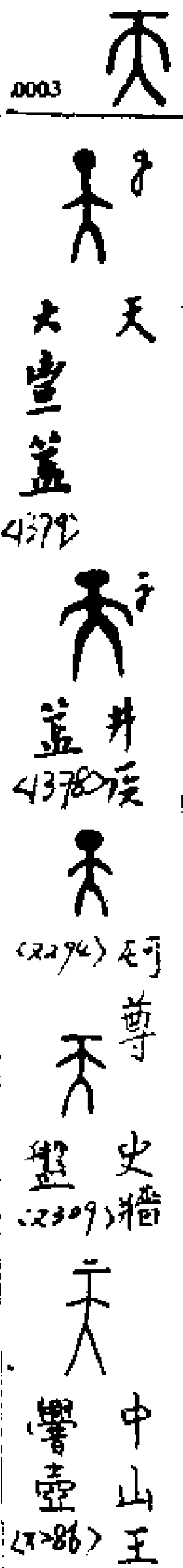
〈0679〉当釆

兀为一字、兀作父戊卣〈2649〉

〈文21〉「隹(惟)王元年四月既生霸」〈文70〉「□戊(越)王丌北自乍(作)元用之僉劍」〈文71〉「周王叚之元用戈」〈文81〉「自作元用」〈文90〉「虢大子元徒戈」〈文96甲〉「宮氏白(伯)子元相戈」〈文97甲〉「元」〈文113〉「唯王元年」〈文248〉「元年奠(鄭)倫楷潘司寇芋庚坒庫工币(師)皮耴冶君貞造」〈文452〉「攻敔王夫差自乍(作)其元用」〈文453〉「攻吾王夫差自乍(作)其元用」〈文466〉「元阿左造徒戈」〈文512〉「臧臧元武元用戈」〈文517〉「臧臧元武元用戈」〈文625〉「自乍(作)元鈠永寶用之」〈文713〉「元」〈文714〉「元」〈文721〉「虎台丘君豫止元用」

天

0003



白川靜曰天子謂作器者之主君也天子與王一般用為同義

語文中多有王與天子互用之例、

彔伯㦰𣪘　王若曰：……彔白㦰敢拜手稽首對天子不顯休

靜𣪘　王易靜鞞剢靜拜稽首對揚天子不顯休

然兩者在周義上本來有所區別天子者乃稱其主君之語

獻彝　獻白于遘王休亡尤朕辟天子獻白令厥臣獻金車對朕辟休乍朕文考光父乙十枻不諲獻身在畢公家受天子休　五五頁。

在此銘中王為周王天子則為獻之主君朕辟天子獻白獻為

畢公家之獻白之臣受天子休者乃得獻白之寵顧之語作為王的直接之臣時則王與天子之稱所指相同然如獻彝之作器者乃王之陪臣時則稱其直接之君為天子天子乃含有王从関係之意之語他器中亦有如大克鼎銘永念于厥孫辟天子之例王則从無加上朕辟之用法本器之情形以王與天子為一人或非一人則其関係各異然焚與内史受王之册命賜與受命佐井侯之服職者也故並非服事于井侯者即非陪臣之関係者也乃以王臣之身分而受命輔佐井侯因而本銘之王與天子應視為一人〔金文通釋第十一輯六〇〇頁五九焚

殷林潔明譯 <1378>

唐蘭曰天是天室詩經下武說三后在天就指天室大豐簋說王祀于天室降天亡尤降天就指从天室下來（文物一九七六年

（一期六三頁𤔲尊銘文解釋「禩福自天」）(2.394)

9. 白川靜曰：「天室，容齋隨稿曰：「天室即太室之稱，以為即太室也。餘論則以據古之釋作昊室為非，曰：

天舊釋為昊，今審當為大之變體，大室金文習見，若作昊室則不可通。

以字直接釋為大字，然在此銘中大與天二者寫法有別，故不能釋天為大也。郭沫若氏釋天室曰：

亦謂天亡之室，猶庚贏卣云王逘于庚贏宮，豆閉殷言王各于師戲大室也。

以為乃下文之天亡之室，然殷銘乃述先王之衣祀者也，故燕

以此為與冊命之時相同于匡下之家廟行之之理因此楊樹達氏以為此與逸周書度邑解之「定天保依天室之天室」又漢書律曆志所引書武成「武王燎于周廟翌日辛亥祀于天位」之天位相同解為乃衣祀舉行之處也其說从古中已詳論之陳夢家氏又以為逸周書世俘解所見之天位呂氏春秋孟冬紀及月令所見之天宗禮記明堂位之「明堂」之位等其實皆一以為天室者本為祀天之場所即明堂也孫作雲氏之解亦承陳氏說以為大池辟雍明堂靈台皆一事故天室者不外明堂靈台之謂也

在殷代衣祀多在天邑商舉行如

乙丑卜貞在獄天邑商公宮衣茲夕亡尤寧　前二.三.七

癸巳卜在獄天邑商公宮衣茲夕亡尤寧　菁九.一　林一.二七.八

衣祀有在天邑商公宮舉行之例天邑商為殷之神聖之都止

相當於周之莽京尤其是器銘下文曰「衣祀於王衣祀雖非在

天室舉行然衣祀前之祀典乃在天室舉行者也」（金文通釋第

一輯十四—十五頁一大豐毀林潔明譯

白川靜曰天亡又王一句據古釋作「吳亡又王」餘論以為與上

文之降連讀作降「大廷以天為大又以亡為廷之省文也降大

廷者與立廷相同蓋以為祭禮以此開始也」郭氏釋作天亡尤

王然其後改从劉心源之說曰

劉云天亡據文義決是作器者名亡與無通古今人表實須

亡費亡極左傳並作無姓考天黃帝臣天老之後則此銘為

天姓亡名

積微居中亦以天亡為其姓氏曰

周初臣工未見有名天亡者天顛古本一字余疑即君奭篇泰顛也。堯臣有四岳人尊之曰太岳天亡蓋亦由人尊之同泰顛與太岳例同矣

然聞一多氏雖没有清楚說明然已舉出殷金文中多有稱作天某之人名故知當時有以天為氏號之事然聞氏以天亡為周之同姓从殷金文中所見天姓之例觀之亦有疑問又孫作雲氏謂亡與佚通天亡蓋即周初之史佚也然亦不過推測之言也（金文通釋第一輯十六頁一大豐段林潔明譯 <4379>）

張政烺曰天子，指周王。古者同姓稱天子，觀其威信如此之大，知中山必姬姓國，非狄也。（古文字研究第二一九頁「中山王嚳壺及鼎銘考釋」壺銘「天子不忘其有勳」）

周法高曰[10]「天字上中山王譽壺多一小橫，」屭羌鐘‹00412›、蔡侯鐘‹10156›、蔡侯盤‹10162›皆如此作，乃東周字體[11]。

于省吾曰[12]：第一期早期𠂤組甲骨文，有「弗疒朕天」（乙九〇六七）之貞，天字作[字形]。此外，第一期甲骨文从天的字，如子𡚁世譜的𡨦字（影印拓本，也見庫一五〇六），右从天作[字形]。又奚字（乙三八四三）下从天作[字形]。第一期晚期的天字也有作[字形]或[字形]者。甲骨文晚期天字習見，均作[字形]，為了便于鍥刻，故上部化圓為方。商代金文天字，一般作[字形]。天字構形的起源，是一個懸而未決的問題。說文：「天，顛也，至高無上，从一大。」後世說文學家和近年來古文字學家對天字的說法，聚訟分歧，甚至在六書歸屬問題上，也有指事會意象形之不同。令人困惑莫解。說文據已

譌的小篆，而又割裂一與大為二字，其荒謬自不待言。又說文既訓天為顛，又訓顛為頂。按顛頂雙聲，真耕通諧，但以聲為訓，也解決不了它的造字本義。甲骨文早期的天字不多見，天形下部作夫，夫與大古通用，故甲骨文大甲也作夫甲。天字上部作○或●，即古丁字，也即人之顛頂之頂字的初文。前文的弗疒朕天，是占卜人之顛頂之有無疾病。天本為獨體象形字，由于天體高廣，無以為象，故用人之顛頂以表示至上之義，但天字上部以丁為頂，也表示着天字的音讀。（甲骨文字釋林卷下第四三九—四四〇頁釋具有部分表音的獨體象形字）

孫稚雛曰：「天室」是大徵。孫詒讓、劉心源均以為「太室」。孫氏曰：「大……當為大之變體」（古籀餘論）于省吾謂「天太古通」，柯昌濟曰：「天

室當係祀天之室，或祭室之代稱，蓋古禮載祀天於圜丘，未聞有天室之制也。周禮大宗伯以禋祀祀昊天上帝，此器云，祀于天室，殆即古郊禋祭天之事」（韓華閣九頁）楊樹達：「天，大（太）古雖可通，然從本銘看，天室、天亡之「天」與大豐、大宜之大，區別分明並不混用，故不能以為天室即太室。天室當為祀天之室，徐同柏、楊樹達皆謂即逸周書·度邑篇、史記·周本紀「定天保，依天室的天室，徐氏且據尚書·洛誥鄭說「文祖」為明堂推之，謂天室「當亦明堂之謂」陳夢家也說「天室……是祀天的明堂」，乃是「辟雍內水中丘上的建築」（斷代一、一五二頁）史記·封禪書：「天子曰明堂辟雍，諸侯曰泮宮。周公既相成王，郊祀后稷以配天，宗祀文王於明堂以配上帝」郭鼎堂則以為「天室」為天亡之室，似未妥。

（古文字研究第三輯一七一頁天亡毀銘文滙釋〈1379〉即大豐毀

孫稚雛曰：「天亡，劉心源曰：『據文義決是作器者名』，以為『天』姓『亡』名」。又王讀佑王，謂助祭也」。（奇觚室）聞一多曰：「天亡蓋一字一名，……室猶廟也，王於天室衣祀文王，是天亡當與周同姓，且為宗子也」。（大豐段考釋）陳夢家曰：「天亡或稱亡，猶令方彝矢令或稱矢或稱令，故可以名字合稱也，可以分稱」。（斷代一、一五一頁）楊樹達曰：「周初臣工未見有名天亡者，天顛古本一字，余疑即書君奭篇之泰顛也」。（積微居 二五八頁）孫作云從天亡是大祭的主要襄助人，而古代史官也管祭祀禱告及書記之事，天亡所習見音正與之合，亡又與佚同訓，故懷疑天亡乃史佚。（再論天亡段二三事）于省吾則以為「天亡」即「大亡」，依經傳讀法則作「太亡」即「太望」也，就是「輔周伐紂，國男元勳」的「太公望」（關于天亡簋銘文的幾點論證）。

祖離按：疑「天」爲其職（與祀天有關），之乃其名。師旂鼎銘前稱師旂，後稱旂。師爲其職（與軍事有關），旂乃其名，與此例同。孫常敘亦謂，其職事爲天，而其名爲之。（古文字研究第三輯一七二頁天亡簋銘文滙釋）（1979）即大豐𣪘

〈又14〉「師[illegible]拜稽首敢對揚天子休」〈又5〉「[illegible]稽首對揚天子休令命」〈又21〉「[illegible]拜稽首敢對揚天子丕顯魯休命」〈又52〉「敢對揚天子不顯休」〈又98〉「克敢對揚天子丕顯魯休」〈又151〉「山敢對

[illegible]揚天子休令命」〈又197〉「[illegible]公內即命于天子」「永拜稽首對

[illegible]天子休命」〈又284〉「衛敢對揚天子丕顯休」〈又286〉「天不臭斁其

有忼」〈又286〉「外之則洒將速便宐上勤覲於天子之廟廟」〈又286〉則

[illegible]上逆於天」〈又286〉「天子不忘其有勛」〈又287〉「聞於天下之勿剌」

〈又281〉「爲天下殄戮」〈又287〉「天隆降休命于朕邦」〈又287〉「以，不逯李

启吏敬悊順天惠德」<0287>「智知天若否」<0287>「天其有猷于繇
畢华厥邦」<0290>「用配皇天」<0294>「禘福自天」<0294>「則延告于
天」<0294>「有𡨦勞于天」<0294>「叀唯王龏恭德谷裕天」<0295>「天
君事使𢓊事使鼎」<0278>「天子亦弗謹忘公上父胡德」<0298>「天

子禡萬年寶𩛥」<0298>「臣保天子」<0300>「即敢對揚天子不丕顯
休」<0301>「敢對揚天子休」<0304>「馬四匹見工敢對揚天子休」
天子𦣞周餐纘文武長剌烈」<0309>「緟盛天子」<0304>「天
子𦣞眉無句害」<0309>「上帝司夏尤保受天子綰命」

<0309>「對𩁹揚天子不丕顯休令命」<0321>「敢對揚天子休」<0326>「
拜稽首敢對揚天子休」<0335>「𣪕敢對𩁹揚天子不丕顯」<0339>「
𣪕敢𩁹揚天尹丕顯休令」<0340>「𣪕敢對𩁹揚天子不丕顯休令
命」<0340>「毗畯臣天子霝令冬終」<0349>「畢厥復享于天子」

〈又349〉「唯甲敢吏使乃三式蔑兵辟尹天△子」〈又369〉「敢對揚天△子休

」〈又472〉「天△父乙」〈又476〉「我先祖受天△命」〈又476〉「卲合皇天△」〈又484〉「

□□拜稽首敢對揚天△子休」〈又541〉「不敢顯天△子對揚休」〈又546〉

「余豈敢對揚天△子之休」〈又560〉」「天△父己册」〈又642〉「天△后[illegible]」

〈又685〉「天△」●





丕 不廿一

頌鼎 不字重見 <0679>



史牆盤 <X309>

「<X21>」

「旋拜稽首敢對揚天子丕顯魯休命」 <X98>

「丕顯文武」

克敢對揚天子丕顯魯休」 <X226>

「奉偉祼丕皆易貝十朋」

丕皆拜稽首敢揚王休」 <X284>

「衛敢對揚天子丕顯休」



吏 吏与事为一字

盂鼎（0096） 事字重見



（2249）利簋



秦公鐘（2476）

唐蘭曰「正吏的正有長的意義，爾雅釋詁「正，長也」，吏是官吏，左傳成公二年「王使委於三吏」注「三吏，三公也」，周書大匡「三吏大夫」注「三卿也」，詩雨無正作「三事大夫」，吏和事是一個字。雨無正上文還說「正大夫離居，莫知我勤」，陳奐詩毛氏傳疏認為正大夫就是三事大夫，是對的，那麼正吏就是正卿，左傳莊公二十二年「並於正卿」，國語晉語八「晉為諸侯盟主，子為正卿」，可見諸侯是有正卿的。」（古文字研究第二輯，六三頁，論周昭王時代的青銅器銘刻上編二八麥方彝「光氏正吏」）

參卷三0368事字條、卷八（08）使字條。

〈X308〉「易錫又右吏。物利金」〈X337〉「吏使厲誓」〈X358〉「冒歔𢿃者朕

為吏。使」〈X339〉「鐘五金用吏。事」〈X348〉「王助姜吏。內史友員易錫

𢦏玄衣」〈X349〉「王用肇吏。使乃子𢦏達率虎臣御𤔲淮戎」

「唯平厥吏。使乃子𢦏萬年辟事天子」〈X341〉「白伯𫯩揚父迺乃〈X349〉

或又吏。使敘乍誓曰」〈X341〉「乃呂以告吏。𫁍吏。𢇋留于會」〈X341〉「

乃呂以告吏。𫁍𢇋留于會」

二a 上　井侯簋〈1378〉　鄂君啟節舟節　史牆

大豐簋〈4379〉n　〓　上下二字合文　𨑔　逾沽湖让上灘漢〈22〉　二　盤〈2309〉

n 白川靜曰上下帝三字合文麻朔釋字為三帝曰

三帝者文武成三帝也則為康王時器尤為顯證此與小盂

鼎云用牲禘周王□王成王者意正相同小盂鼎即康王廿

五祀器也下武之詩云成王之孚下土之式……永言孝思

昭哉嗣服為成王之嗣服則亦康王時詩也而云三后在天

三后與此彝銘云三帝同義亦謂文武成也

內藤博士亦釋字為三字以為三帝謂虞夏商之帝三恪之祖

所自出引禮記祭法之三代禘祀之說

字四畫之上下畫短乃上下之合文在周代並無稱先王為帝

者如先王其嚴在帝左右正將兩者區別出來郭氏以為上帝

PDF 文件使用 "pdfFactory Pro" 试用版本创建 www.fineprint.cn

指天神下帝指人王其義亦不確
于省吾氏於上下為讀以帝字屬下句其說曰
周人無稱王為帝者按此應讀克奔走上下句帝無終命于
有周句詩清廟駿奔走在廟盂鼎享奔走畏天畏敎自敎不
敢不萬年奔走揚公休又書君奭大弗克恭上下召誥毖祀
于上下與此克奔走上下句例略同
陳氏亦以于氏之句讀為是而加上毛公鼎上下四方等語例
上下之語卜辭習見上下亦作下上
王征𢀛方下上若我受又　勿征𢀛方下上弗若不我其受
又　識二四四一
亡又　自上下受又　前四三七四
上下下上又或稱作帝

勿伐邑帝不我其受又 前六.五八.四

因上下下上與帝同義故合而作上下帝文獻中則作上下神示周禮小宗伯禱祠于上下神示論語述而禱爾于上下神祇等是其例也皆指神祇之義非指人王之語也上下帝三字應連讀也于氏以帝字屬下句解為該句之主語曰

言帝對有周之命永無終極也楚辭天問何親就上帝罰殷之命以不救書召誥天既遐終大邦殷之命多士殷命終于帝此與帝無終命于有周意有正反句有倒正耳

陳氏亦取其說以為上述之語是井侯嘉美天子之辭以為乃井侯贊頌天子之嘏辭

此種說法已見於內藤博士之說博士以三帝無終令于有周為句述之如次

無終者天命不能竟也論語堯曰天祿永終皇侃疏永長也終猶卒竟也若內正中國外被四海則天祚祿位長卒竟汝身也正與此終字同義閻氏若璩謂魏晉以後解永終為永絕不應古義猶信要之三帝無終者猶書多士多方立政諸篇夏商周三代迭興之說也

其說以銘文之意乃祈周室之命永遠無終者也于陳之解要亦相同

余意銘文乃由三節組成：

1. 隹三月至享人述受王命得賜賞之事
2. 自拜稽首至朕臣天子乃對揚自誓之語言永為奉事周室之臣
3. 自周冊以下乃結語述作器之事

以此言之，則2節乃作器者希望其家永終而受周室之恩寵之辭也。奔走追孝皆作器者為其家而言之語，並非直接言周室之事之語也。于氏所引之書多士「殷命終于帝」者，乃殷王朝之命運因帝之旨意而終極之意也。故此銘之「無終命於有周」者，乃願其家之命運在周室永無終極之意也。殷之命依于帝之意，作器者之家之命則繫於是否得周室之眷寵，語例相同。然其繫命之處則異，从而帝應與上句連讀作上下帝，以帝為此句之主語時，文意固不同也。」（金文通釋第十一輯六〇一—六〇四頁五九焚毀林潔明譯）<1378>

董、冢祥曰：「上帝二字連文，金文屢見，甲骨文亦已出現。（師大校刊一九七八年第六三頁墻盤銘文通釋」上帝降懿德大甹（粤）由

〈2309〉

戴家祥曰：「上下泛言君臣尊卑、天地。金文多指天地。番生𣪘「丕顯皇祖考穆穆克哲嚴在上，广啓厥孫子于下」。書盨「庚申，女次何生在上」。西伯戡黎「我生不有命在天」，在上，亦謂在天也。易繫辭下傳「上下無常」，虞翻注「入地為下」。」（師大校刊一九七八年第六五頁墻盤銘文通釋、[illegible]有上下）〈2309〉

李學勤曰：「上下指君臣，本句是上下優睘的倒文。」（考古學報一九七八年第二期一五三頁論史牆盤及其意義、緐祁上下）〈2309〉

商承祚曰：「迮，是溯流而上。」（文物精華第三集五三頁鄂君啟節考）〈227〉

于省吾曰舟節在稱庚之外又稱逾辻入均指水行言之——其稱辻者有三一稱上漢兩稱上江辻即上从辵表示行動之義凡稱辻者既專指干流的江漢又為逆流而上（考古一九六三第八期四四五頁鄂君啟節考釋）

〈Q2〉「辻上灘漢」「辻△上江」「辻△上江」〈Q74〉「王六年上○郡守疾之造戟」〈Q135〉「廿一年寺工獻工上△造但」〈Q184〉「三年上△郡守口造」〈Q185〉「廿七年上△守趙造」〈Q186〉「卅年上△郡守起口造」〈Q187〉「王六年上△郡守疾之造」〈Q208〉「閼遺山谷至于上△侯」「澆川上△，君从征董不𦫿」〈Q219〉「在淯水上△」〈Q226〉「王才在上○戾屋居」〈Q228〉「前文人其嚴在上△」〈Q286〉「以鄉饗上○帝」〈Q286〉「上○下之體」〈Q288〉「湯敗上○子之」〈Q298〉「天子亦弗望忘，公上○父默德」〈Q298〉「乍作公上○父障于與朕考𩰫季易父教宗」〈Q309〉「上○帝降懿德大甹

考，剫數有上下，迨受萬邦」〈X309〉「竊豢祁示上下」〈X309〉「上帝司
嗣夏允唯保受授天子綰命」〈X331〉「上帝降懿德大甹」〈X333〉「
弋皇且考高對剌嚴才在上」〈X341〉「王才在葊上宮」〈X341〉「女汝
上卬代先誓」〈X365〉「上黃疾」〈X397〉「廿一寺工獻工上造但」〈X476〉
「剌邵文公、靜公、憲公不㒸于上」〈X500〉「用正五十人以上」〈X668〉
「單父上官勺庖宰嗇所受坪安君者也」〈X668〉「單父上官勺
庖宰嗇所受坪安君者也」



[a] 帝

井侯簋<1378>之 

上帝二字合文 叩卣<2770>

 㝬簋<2290>

 中山王譽壺<2286>

白川靜曰帝諦也疊韻之訓白虎通號篇曰帝者諦也象可承也又獨斷上曰帝者諦也能行天道事天審諦乃當時盛行之聲義之訓詁也左傳僖廿五年曰今之王古之帝也以為乃古今之號然其名號說文以歸往審諦之聲訓說明之王天下之號也繫傳作王天下之號無也字又亏以下諸字中作亏言示等加上言字段注曰如帝字辛言因乃包含于其系列之內之字故言為衍文也云然徐鍇則曰至於言童龍音章等皆从辛之聲从其文義觀之則言字當有者也

大徐以字為形聲以為从上朿聲繫傳通論以為於文二朿為帝二古上也朿聲也朿者刺也審諦之物也以朿亦為義而加

上亦聲之解讀會則以為从上朿會意然朿聲與帝聲蓋非一致也字乃如后所述乃象形也非从朿聲之字釋例曰中直不上出對說文所云字形有所懷疑也

古文諸上字皆从一篆文皆从二二古文上字辛示辰龍童音章皆从古文上以上乃說古文之形从古文二也段注曰古文从一小篆从古文者古今體異必云二古文上者明非二字也古文上字兩畫上短下長一二之二則上下相同此為異也云桂馥義證以為古文諸上字以下為後人附加又句讀則以為辛示以下之語乃竄入者皆於說文之體例上有可疑之處且亦非必要之說解之文也

對於字形之疑問則早見於鄭樵之六書略以字為象形而屬之草木之部以為華蒂之象也用為帝之義者假借義也云徐

箋論其說曰說殊新異然許云束聲實於篆體小有未合也云尚以為有疑問吳錦章讀篆臆存雜說中以帝為端拱垂帶之象然不過臆斷耳然亦對說文之說解提出疑問之說者也關於帝字之說解至吳大澂字說說帝字始以金文為資料而追近字之初形脫出說文家之藩籬吳氏首以帝諦也之訓乃據後起之字而釋其初義者也帝之名無从審諦之義而生之理譚帝之初形與鄂不之不相似乃从華蒂之形象生出者也云吳氏注意到潘祖蔭所藏之卣銘金文集七。及毛子靜所藏之鼎銘中在且丁父癸之上有▽乙之名▽為列於父祖之上之親等之名故以為此即為帝之初文也以為此為華蒂落而結果之象曰即草木之所由生枝葉之所由發生物之始與天合德故帝足以配天即表示生命力之根源也故王室祀嫡祖曰禘嫡

字又从此形也帝為果及有果蒂之象然其後忘帝之初義而作萼蔕柢等字萼謂脫華之處蒂為花本果實柢又與蒂蔕同音皆帝之孳生字也亦即以帝之初文為象徵萬物生成之根源象徵生命力者也因而以秩序之根源者稱為帝也

此一帝字為花蒂之象形之說作為以金文資料為基本而一改說文之舊解備受學界之注意王國維之釋天觀堂集林卷六郭沫若氏之釋祖妣甲骨文字研究等文加以強力支持郭氏承吳氏之說更演進之以為古代之生殖崇拜觀念為其背景也曰

知帝為蒂之初字則帝之用為天帝義者亦生殖崇拜之一例也帝之興必在漁獵牧畜已進展於農業種植以後蓋其所崇祀之生殖已由人身或動物性之物而轉化為植物古人固不知有所謂雄雌蕊然觀花落蒂存蒂熟而為果果多

碩大無朋，人畜多賴之以為生，其復含子子之一粒，復可化而為億萬無窮之子孫，所謂韡韡鄂不，所謂綿綿瓜瓞，天下之神奇，更無有過於此者矣。此必至神者之所寄，故宇宙之真宰即以帝為尊號也。人王迺天帝之替代，因而帝號遂通攝天人矣。

雖為郭氏本色之考說，然作為字釋，殆不出吳說也。此兩說以字為花蒂之象形，實誤也。不管其立說巧妙，仍為難於成立者也。

對於此，葉玉森早唱異說，葉氏先論吳氏釋▽為帝之不當，曰

卜辭于父之上稱祖或示，如示丁示壬示癸是示神也。（前編集釋第一八二頁）

又以帝之字形乃與卜辭所見之上帝諸神之祭祀之賁祭之

※相關之結構也※為以火燎積薪之象帝字之所以所謂束聲者不外此形帝亦積薪之象云而燔帝皆為祭天之禮也相當於其後之禘祀曰

舊唐書引禮盧注禘帝也卜辭之帝亦多假作禘禮大傳不王不禘是惟王者宜禘禘與燔並祭天之禮禘必用燔故帝从燔帝為王者宜燔祭天故帝从一或从二並象天也……觀此許書从一朿聲之說並未嘗（鈞沈五葉）

正如葉氏指出燔與帝之字形有類似之點然其形象之意並不相同且从一二解為天等作為字釋毋寧是後退者也燔為燒積薪之象下部亦有加上火形者然帝字無从火之形而有加載書之口形於其下之形帝為祭壇之臺几之象也惟燔祀其祭祀之對象為殷之神話中之祖神夔或王亥及祭祀其

他土日月風旬河岳東母西母蚰等自然神之祭禮陳夢家氏之殷虛卜辭綜述十七章 亦注意到此等諸神亦為帝祀之對象奧祀與帝祀有相同之祭祀對象之事然因為此等諸神乃屬於祓稱為帝之超越的諸神系統故也然其祭禮之形式本有異奧與帝之字形聲義並無異之字也

陳夢家氏將卜辭中所見之祭祀對象分為三種以上帝為首之日東母西母雲風雨雷等天神之系列社四方四戈四巫山川等地示之系列及先王先公先妣諸子諸母舊臣等人鬼之系列三種帝之機能為支配天象支配禍福支配豐凶者也即為強力之自然神之性格者然此等機能乃由帝之臣屬之諸神所施行者即在帝之世界中亦有對應於現實之秩序之關係帝作為其最高之主宰之神亦稱之為上帝卜辭中上帝之

例數見金文則有大豐毁之丕顯考文王事喜上帝燮毁有克奔走上下帝宗周鐘銘隹皇上帝百神保余小子等語祖神之靈皆作為賓客而招之于上帝之所因王配祀祖神于帝而掌最高之祭祀權从而保持其神聖之權威其後之文獻中稱為禘之祭祀即此也其字于卜文則在帝之中央加口金文則於帝之前加上祝冊之口以為區別作為表示帝祀之動詞之字形也高鴻縉氏之中國字例中以帝祀為祀其根蒂之所由者不過將帝字花蒂說如實摘用之者也祀帝者為其直系者當字即嫡字之所从也漸至於稱行帝祀之王為帝殷王中有帝甲文武帝帝乙帝辛等稱諦審之義本為其後之轉義也

字為象形祭壇之臺几之象蓋或為神之所憑也魏石經尚存其字形帝之聲義與其是諦字毋寧說是嫡適系之字保存其

字之初義文子道德有帝者天下之適也者以為王適之意者也與王者天下之往也為對文然帝與嫡為一系之字其聲義有相關之處（說文新義卷一二三一二八頁林潔明譯

加藤常賢曰帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝（契文） 帝 帝 帝 帝（金文） 帝（篆文） 帝（古文說文）

字形自古鄭樵六書略曰象華蒂之形假為帝王字周伯琦說文字原亦以為乃華蒂之象形字在清朝廷鶴壽曰柰帝華蒂也……蒂之作帝皆非借為帝王字（王鳴盛蛾術編注）逮近吳大澂亦曰

作栾作帝皆▽之繁文……蒂落而成果即艸木之所由生枝葉之所由發生物之始與天合德故帝足以配天（字說）

因多數學者採用此說故詳引之然余以為並不妥適因不見其為果蒂之形也

余以字形為與丁(示)字相關而考之即分之為丁與米丁為几之大者也在祭天時與在宗廟內之几不同而在郊外建設大几以安置天尸而祭丁為其形象也ㄨ則為固丁大而樹立之斜向支柱一則為使丁不倒下而設架橫木于兩柱正在中央之部位之支持構造也要之爾雅釋天有禘大祭也米為祭天時之大示即大几之形象也

字音都計切此音乃从大示之大而來故用為帝王之帝者全是借用又用作指天帝者乃从天祭中之神示而來之名也(漢字之起源七一一頁林潔明譯

元赤塚忠曰案董作賓氏解為上下帝非也二上也其下之一點應屬柔—帝字者也

在殷代宗教中至高之神為上帝帝與殷王朝之征伐以祐助又為支配現實之降禍之神惟帝同時亦支配氣候降雨為其最顯著之權能例如卜辭有

帝令雨正年（前一五〇二）

當時之主要生產之農耕依存于天雨至上神被相信為其擁護者也在我之解釋中殷王朝之最大祀典為祈年祭可是卜辭中直接向帝祈求穀物之稔熟者幾無其例又亦無卜問對帝供牲之例此皆成為多數學者之疑問我之解釋是在祈年祭中向最後來降之主祭者之主宣託豐凶者即帝是也詳見

拙稿殷代祈年祭典之復元而此一金文偶然曰釐于皋田明為祈年祭行事之一環明記當時行舊禮以招格上帝之事者也甲骨卜辭不一定將殷代文化巨細無遺地說明而應據殷金文以補之者亦屬不少在此一意義上此一金文乃貴重之殷文化之史料也 又殷代之祈年祭多於年終及年初行之卜辭中卜一月受年之例有前三三〇三續二二九六燕九一同一三一乙七七五〇等是也（殷金文考釋第一三一—一四頁切其卣第二林潔明譯 <2720>

張政烺曰師訇簋銉皇帝亾斁臨保我有周（大系一三九頁）毛公鼎作「銉皇天亾斁」知皇帝即皇天高即宗周鐘之皇上帝與秦始皇所定皇帝之稱（史記秦始皇本紀二十六年條）不同（周厲王胡簋釋文」讀編 纁）

周皇帝大魯 旅令 命）<2210>

旅〈X286〉「以鄉饗上帝」〈X290〉「其瀕類才在帝廷陟降」〈X290〉「帝大魯

令命，鐇纏圝同皇」〈X309〉「上帝降懿德大甹甹匍數有上下迨

受萬邦」〈X309〉「上帝司嗣夒九祀保受授天子綰命」〈X310〉「帝

佑賞庚姬貝卅朋」〈X331〉「上帝降懿德大甹」

二 下

虢石鐘〈0057〉 下 中山王譽鼎〈2287〉 下 曾侯乙編鐘 下

張政烺曰「下與上對言，上指天上，下指人間。番生簋「丕顯皇祖考穆穆克哲厥德，嚴在上，廣啟厥孫子于下，勵于大服」。服是職位。番生是小臣，希望提拔到高的職位。缺是周王，言作疐在下，皆指人間世界之活動。若秦公簋言「畯疐在天」，則義不可通，故知天字是立位之誤。」（周厲王胡簋釋文）乍作疐氏才在下〈2290〉

張政烺曰「下土對上天言，金文中之上下率如此，如周厲王胡簋「毗才立，乍疐才下」。（文物一九七九年第四期九十頁）

番生簋「丕顯皇且考々嚴才上，廣啓卑孫子于下，勵于大服

(大系一三三頁)

秦公鐘「丕顯朕皇且受天命竈又下國，十又二公，不家才上，

(大系二五〇頁)

下字皆指人世言。下土一詞在毛詩中(邶風日月、小雅小旻、小明、大雅下武、雲漢、魯頌閟宮等篇)凡六、七見，和一般說天下或中國相似，如：

小旻「旻天疾威，敷于下土」(鄭玄箋「旻天之德，疾王者以刑罰威恐萬民，其政教乃布于下土，言天下徧知」)

尸于下土，按金文慣例理解就是執掌天下，或主宰人間。這和哀成叔的身分極不相稱，何況這時哀成叔已死，早離開了人間啊，因此推測這裏的下土是另一個含義，乃指兆域即地下宮室言。禮記檀弓下「陳子車死于衛，其妻與其家大夫謀以殉

葬定而後，陳子亢至，以告曰，夫子疾，莫養于下，（鄭玄注：下，地下）請以殉葬，子亢曰，以殉葬非禮也，雖然，則彼疾當養者孰若妻與宰，得已則吾欲已，不得已則吾欲以二子者之為之也，于是弗果用，「莫養于下」是在下土無人照管，哀成叔生事康公，死後也還可以主管康公冥府的事，故言尸于下土，其或即殉葬而死，亦未可知。（古文字研究第五輯三十二頁哀成叔鼎釋文，「死于下土」）

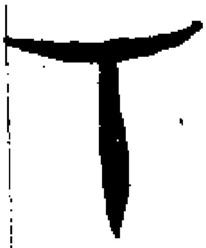
〈又3〉「庚下都蔡」〈又54〉「□下保藏」〈又286〉「下不忠順於人施也」

〈又286〉「上下之體」〈又287〉「開於天下之勿糾」〈又287〉「為天下[illegible]戮」

〈又290〉「作作寷氏才杜下」〈又309〉「上帝降懿德大甹甹匍敷有上下」

迨受萬邦」〈又309〉「[illegible]事祁亓上下」〈又338〉「蔑顏下友二」〈又516〉「盂

曰王倗下。不丕其基



示 錢父

示 鼎  壺 <28>

張秉權曰丫（圖版參肆）銘為陰文，在足部內，字當釋示，應無可疑。甲骨文示作丫、（乙編[illegible]）亍、（乙編[illegible]）前者與此字完全相同，武丁時代的卜辭中有示侯，例如

乙未卜，令冓示侯（甲編）

示有地名曰示，例如

☑方征于我示☑（菁）

王固曰：㞢希，其㞢來嬉，三至七日乙巳允㞢來嬉自西，𢦏双角告曰：𢀛方出敂我示𧂭田，七十五人（菁）

□□卜在示（貞）☑步☑亡巛（前）

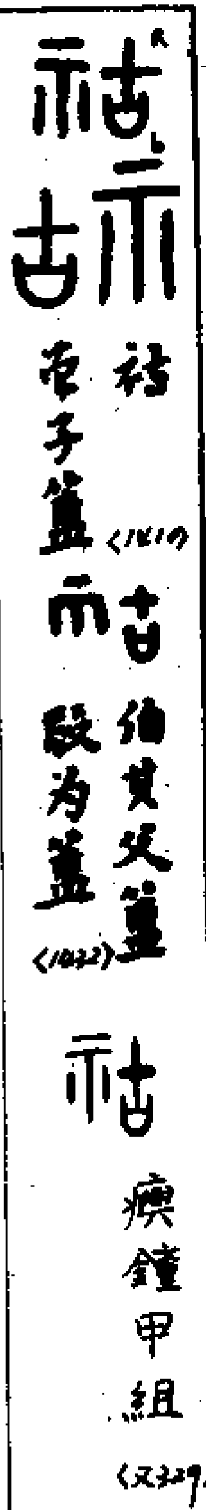
是第五期帝辛時代的卜辭，可知示地之名，至殷代前

末期還存在的這個觚上的示字當是作器者之名（殷虛出土青銅爵形器之研究一〇一頁觚爵兩形銅器銘文考釋二觚形器示觚）

參附錄下3062號

〈28〉

「易錫幾父示䵼大」



「周法高曰」文物一九七八年第三期七頁陝西扶風莊白一號西周青銅器窖藏發掘簡報釋瘐鐘甲組「大神其陟降嚴祜㙯」「祜乃『祜』之誤」白川靜金文通釋第五十輯三八八頁「嚴祜㙯」為句今據古文字類編一七五頁祜字條收此字」

〈又229〉「大神其陟降嚴祜㙯」



禮或从口豊聲。

中山王嚳壺<X2286>



<X2294>何尊

禮 上部

字戰

張政烺曰「䁾从口，豊聲，禮之異體。」（古文字研究第二一八頁中山王嚳壺及鼎銘考釋壺銘「新君子之，不用䁾禮宜（義）」）<X2286>

周法高曰「古文字字形表四·五頁禮字下收何尊、中山王壺上部字戰，今據補。」

<X2286>「不用䁾禮宜義」

<X2286>「於故辭禮敬則賢人至」

a. 福 不从示 士父鐘 畐字重見 (0046)

b. 士父鐘 亦士父鐘 (0046)

癲鐘 甲組 (2329)

(2290) 㝬簋

㦵方鼎二 (2349)

秦公鐘 (2476)

王孫誥鐘

中山王嚳壺 (2286)

白川靜曰其子子孫孫永福福字宋刻釋作寶然積古中釋作福取吳東發之說曰

吳侃叔云即福字古文福亦作富祭統云賢者之祭也必受其福非世所謂福也福者備也百順之名也故作祭器持以示子孫焉

……福字邾大宰編鐘眉壽多福之福亦與此字同从宀明為福之異文然郭氏於此銘則以為乃寶之假借曰

此假為寶古音輕重脣無別福寶為雙聲而之部與幽部聲

亦相近故可通假

然不見有福寶通假之例，即如字亦可通者也。叔夷鐘銘「不顯皇且其下福元孫其萬福屯魯」同為嘏辭可也（金文通釋第十七輯一九七頁九○，段醰附賀自林潔明譯〈大13〉）。

周法高曰：古文字字形表五．六頁福字下收何尊、瘐鐘、𫓧簋、𢦏鼎、秦公鐘、王孫誥鐘、中山王壺，今據補。

〈又44〉「征武王福」〈又64〉「朕皇考叔旅魚父寶寶降多福無」〈又208〉「用匄魯福，用夙夜事」〈又228〉「數數𩓣，降余厚多福」（以上鈕

閶銘文：「無疆」〈又286〉「佳（惟）忠（順）生福」〈又290〉「陟（陟）也降余多福」〈又309〉「厚福豐年」〈又309〉「福」「褱（懷）猷（被）录（祿）」〈又320〉「大神妥多福」〈又329〉「妥厚多福」〈又332〉「𩐄妥厚多福」〈又332〉「褱受余爾𪗄福霝冬」〈又332〉「顯福」〈又333〉「𩐄受厚多福」〈又333〉「褱受余爾𪗄福」〈又333〉「顯福」

〈0349〉「用穆穆夙夜𫏒尊高享孝妥綏福△」〈0235〉「對揚文母福△

剌（烈）」〈0476〉「以受多福△」〈0476〉「以受大福△」〈0669〉「永受其福△」


禪 說文所無

德方鼎〈[illegible]44〉


𢓊尊〈[illegible]〉

白川靜曰武下一字郭氏釋為福然金文中所見之福字皆不从兩手又器口並無作開口形者此字卜辭及金文皆有卜辭用如

甲申卜貞王賓大甲禪亡尤　前一．五．一

庚辰卜行貞王賓夕禪亡囚　後下二五．四

乃祭禮之名因乃用酒醴者蓋指修祓而祼之禮之意應釋作禪並非福字器銘中用如

𢓊鼎　遺禪二口貝五朋　五一八頁

𦾔卣　王在廙降令曰歸禪于我多高　九二六頁

其上皆有遣歸之語祉鼎中作為賞賜而以此賜之答卣中則
命之行其事于多高郭氏釋字為福即胙酒肉之義也曰
福者胙也祭祀之酒肉也古者祭後分送其酒肉曰致福或
歸福周禮天官膳夫凡祭祀之致福者國語晉語必速祠而
歸福肉易腐化酒較能保持故福字金文或作畐从示从酉
酉者酒器也想見古人致福或歸福乃以酒盛為主肉經醃
制亦可保存然道遠處恐不易立致
今者以右述之解以釋器銘則是德于鎬京行武王之祭祀以
其胙之酒肉致在成周之王然王在成周者乃請賜賞之時王
在成周也故並非謂王不與於武之禘禮也德从王行該禮而
从蒿來成周既終而受王之賜賞者也故以上可視為乃述其
為王之祭祀而服事之語文意非單謂致送胙肉也貝廿朋為

厚賜器銘之禪即卜文王賞大甲禪之禪作器者參與該禮且受賜賞者也「武禪者王賞武王禪之省略語法馬承源氏之德」方鼎文管見「文物一九六三十一」一文中亦以禪為祭名（金文通釋第十輯五六八︱五六九頁五四德方鼎林潔明譯」〈X44〉

郭沫堂曰「福字作福，當是福之初字。卜辭中多有之，我鼎云遣福二作福，祖丁卣云王在廙降令曰歸福于我多高□作禮福者胙也，祭祀之酒肉也，古者祭後分送其酒□曰致福或歸饋福。周禮天官膳夫凡祭祀之致福者，國語晉語必速祠而歸福，肉易腐化，酒較能保持，故福字金文或作福，从示从酉，酉者酒器也，想見古人致福或歸福乃以酒爲主，肉經醃製亦可保存，然道遠處，恐不易立致」（文物一九五九年第七期一頁由周初四德器的考釋談到殷代已在進行文字簡化，德方鼎）〈X44〉

唐蘭曰「此字卜辭和金文均常見，象用手捧有流的酒尊在示前灌祭的形狀」（文物一九七六年一期六三頁𤔲尊銘文解釋）「福自天」〈294〉

周法高曰「參附錄下四〇三號引籀且丁卣〈478〉與此當為一字。郭氏及李孝定均以為即福字，唐蘭讀𤔲尊「福自天」之福為福字是也，白川靜亦釋𤔲尊此字為福，通釋四八．一七三頁補釋篇一．𤔲尊而獨疑德方鼎福字非福字，何耶」〈244〉

「征武王福自蒿鎬」〈304〉「福福自天」



祇 史牆盤〈2347〉



〈2332〉𤼴鐘丁組



中山王譽壺〈2286〉



中山王譽鼎〈2287〉

張政烺曰「祇原作𩰫，乃由𤔲(見召公簋)演變而來，本象兩甾以底相抵。(參考《金文叢考·釋𫬤》)，字形詭異不可隸定，今據《金文編》逕釋為祇。《廣雅·釋訓》：「祇祇，敬也。」」(古文字研究第二一一頁)中山王譽壺及鼎銘考釋壺銘「祇祇翼卲告後嗣」〈2286〉

張政烺曰「《尚書·康誥》：「今民將在祇，遹乃文考，紹聞衣德言」，吳汝綸等皆在祇下斷句，與此句法同。」(古文字研究第二二六頁)中山王譽壺及鼎銘考釋鼎銘「氏厥業才(在)祇」〈2287〉

張政烺曰「祇，原作𩰫，又見譽壺，乃由𤔲(見召伯簋)演變而來，本象兩甾以底相抵(參考《金文叢考·釋𫬤》)，字形詭異不可隸定，

令據《金文編》選釋為祗，其義為恭敬。蔡侯盤「祗盟嘗禘」，鄦侯簋「祗敬禘祀」，用法與此同。」（古文字研究第二四五頁中山國銘好蚉壺釋文」器：「寡，祗承承祀」）〈9288〉

C 蔡侯鐘「鎬命祗祗」（參卷三五）為字條于省吾說

唐蘭曰「祟即崇字，叔弓鎛作㱾，三體石經書君奭借為祗字，古文、金文也都借為祗敬字」（文物一九七八年第三期二三頁略論西周微史家族窖藏銅器群的重要意義）。史墻盤「祟祗覭顥穆王」）〈9309〉

徐中舒曰「祟同祗，尚書君奭『祗若茲』之祗，三字石經古文作祟，與此形同。祗，地神也，天曰神，地曰祗，對言則別，單言祗亦神也。

……竹書紀年「穆王元年冬十月，築祇宮于南鄭」左傳昭公十二年亦謂「穆王是以獲沒于祇宮」穆王居祇宮，故周人即以神明的穆王稱之（考古學報一九七八年第二期一四二頁西周墻盤銘文箋釋「肅覲穆王」）〈X309〉

戴家祥曰「第一字見石鼓文作遙，召伯虎毀、蔡侯鐘、鄦侯庫毀諸器銘，魏三體石經君奭，祇若茲，古文以肅為祇，強運開謂即㽎缶之㽎，象顛倒二甶，甶非祇之本字（說文古籀三補卷十二）郭謂兩缶相抵……當即抵或底之本字（文史論叢三〇〇頁）唐蘭釋㽎，強說近似（師大校刊一九七八年第六九頁墻盤銘文通釋「祇覲穆王」）〈X309〉

李學勤曰「當據正始石經係古文祇字，祇易繫辭下注大也」（考古學報一九七八年第二期一五二頁論史墻盤及其意義）

覞穆王」〈Ω309〉

〈Ω286〉「祇祇翼即告從後嗣」〈Ω287〉「早厥業業才在祇」〈Ω285〉「思寅

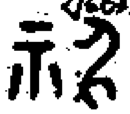
祇敉永祀」〈Ω309〉肅祇覞顯穆王」

 a

神不从示 克鼎〈0675〉中字重见

 b

宰蒦〈0685〉

 c

伯冢 益〈0313〉

 d

欻钟〈0061〉

〈0320〉「大神安多福」〈0320〉「其盬祀大神」〈0329〉「大神其陟降嚴祜釐」〈0329〉「盬祀郘各樂大神」〈0332〉「義文神無疆」〈0333〉「義文神無疆」

15



a



齋

蔡侯盤 <2973>

a 于省吾曰「禴」即古「齋」字，典籍「齋」字多通作「齊」。《詩·思齊》的「思齊大任」，毛傳訓「齊」為「莊」。《詩·采蘋》的「有齊季女」，毛傳訓「齊」為「敬」，典籍中「齊」讀「齋」訓「莊」或「敬」者習見。（古文字研究第四四頁「壽縣蔡侯墓銅器銘文考釋」蔡侯盤「禴」部整論）<2973>

0016 禋

a 禋

蔡侯盤〈2923〉

史墻盤〈2839〉

哀成叔鼎

唐蘭曰「𥜏就是說文禋字籀文𥜏字，但是旁不从土而从火，略異。煙字籀文作䃚，禋用煙氣，所以从火。書洛誥『則禋于文王武王』。」（文物一九七八年第三期二四頁略論西周微史家族窖藏銅器群的重要意義，史墻盤「義宜其𥜏禋祀」〈2839〉）

李學勤曰「說文禋字籀文作𥜏。禋祀常見于古書，周禮大祀注『祭天神也』。」（考古學報一九七八年第二期一五五頁論史墻盤及其意義，「義其𥜏祀」〈2839〉）

戴家祥曰「說文『禋』籀文作𥜏，祭祀名。書洛誥『則禋于文王武王』。周禮大宗伯『以禋祀祀昊天上帝』，鄭玄注『禋之言煙，周人尚臭

煙氣之臭聞也」周禮・大宗伯又云「以實柴祀日月星辰」鄭注「積柴實牲體，有玉帛，燔燎而升煙，所以報陽也」「宜其禋祀」猶大雅生民「克禋克祀」也（師大校刊一九七八年第七六頁墻盤銘文通釋「義宜其禋祀」（2309）

徐中舒曰「禋當釋為禋，國語・周語「精意以享禋也」比字从囟象囟形，从火，象以火溫酒之形，籀文禋作𩕾與此形同，惟訛囟為西，易火為土，略異，義同，儀儀為禮儀，此作動詞用，言主持其禋祀的禮儀」（考古學報一九七八年第二期一四五頁西周墻盤銘文箋釋「義儀其禋祀」）（2309）

張政烺曰「說文示部：『禋，潔祀也。一曰：精意以享為禋。从示，垔聲。𡨕，籀文从宀。』（古文字研究第五輯三十一頁，哀成叔鼎

釋文「永用禋祀」

周法高曰：古文字字形表三九三頁煙字下收牆盤及說文籀文說文古文與徐中舒西周墻盤銘文箋釋釋為禋略異。

（2309）「義宜其[illegible]（禋）祀」

a 祭 史喜鼎〈1519〉

b 又楚之 尚〈4433〉

c 邾王又 走尚〈4435〉

d 邾公華鐘〈0245〉

中山王譽壺〈X286〉

〈X286〉「之其先王之祭祀」

〈4435〉「者祀考祭」

祀a 卯祀卣〈2720〉

祀b 作冊般卣〈2711〉

祀 師覩鼎〈2298〉

祀 秦公鎛〈2076〉

祀 祀 中山王譽壺〈2286〉

加藤常賢曰：祀 祀 祀（契文） 祀 祀 祀（金文）

祀（篆文） 禩（古文）

字形一如說文曰从示（意符）巳聲（聲符）形聲字也。篆文之巳字與契文金文比較則乃訛形而非正確之形也。此處用為聲符故字形不成問題，然巳字與它字同為蛇之象形，故一般見篆文時必須注意也。

古文之禩字說文不曰古文，然見于周禮大宗伯、小祝各篇由故書（古文）。此字在說文之多數注釋家並不引起問題，然在考察祀之意義上則甚為重要也。此異字單是聲符或是

意符是非常重要余以為異為意符同時亦表其音字音詳里切已及異表示此音異亦又讀作詳里切此一已異之音究表示何意不得不考察也首先關于已字多數注釋家之說幾乎全部不出說文之祭之無已也之解釋已字釋作終也一步不出此訓所謂不停地祭之意難以認為是祀之字義也故作為參考之字有改字在改字殺字中已字之音乃表示鬼魅精靈據此用於解釋祀字之已時从祀本來為祭祀之意觀之則益不誤也証明此說為正確者則為異字詳見該字下(四〇項)然在

天異臨子灋保先王(大盂鼎)

皇考嚴在上異在下(虢叔大林鐘同編鐘)

之二異字特別是天異以之為與天鬼(墨子天志中篇)為同語

不誤也。又異在下，因與嚴在上相對，釋異為鬼，嚴為魂，蓋不誤也。若如是，則一般之以異解作神鬼，蓋亦不誤也（詩經大月作有嚴有翼）。

字義安置鬼而呼魂降之以食物供置之之意也」（漢字之起源一五〇——一五一頁林潔明譯）

張政烺曰：「年稱祀繫于文末，見殷代晚期銅器銘文及帝乙帝辛卜辭，參考殷虛卜辭綜述（二三三——二三五頁），西周重器或沿其式，如盂鼎、小盂鼎，見大系三四·三五頁。東遷以後則不見」（周厲王胡簋釋文「隹（惟）王十又二祀」〈文1〇〉）

唐蘭曰：「周禮大宗伯『以實柴祀日月星辰』，其中就包括祀月。禮記祭法『王宮祭日也，夜明祭月也』，注『王宮，日壇……夜明亦謂月

壇也」又祭義「祭日以壇，祭月以坎，以別幽明，以制上下，祭日於東，祭月以西，以別外內，以端其位」國語魯語「天子大采朝日……小采夕月」注「禮天子以春分朝日，以秋分夕月」又說「夕月以秋分」大戴禮保傅「三代之禮天子春朝朝日，秋暮夕月」據管子輕重己說「冬至後四十六天，冬盡而春始「天子東出其國四十六里而壇，祭日犧牲以魚」又從夏至起九十二天是秋至「天子西出其國百三十八里而壇，祭月犧牲以彘」那麼祀月的地點，離宗周應該不很遠，並應在宗周之西。（古文字研究第二輯，六〇—六一頁論周昭王時代的青銅器銘刻上編二七作冊麥尊「己月」）〈六1〉

〈25〉「唯王十又七祀」〈0286〉「以祀先王」〈0286〉「乏其先王之祭祀」

〈0288〉「卿饗祀先王」〈0288〉「器奠祗承祀」〈0290〉「隹惟王十又

二祀」〈又294〉「隹唯王五祀」〈又298〉「唯王八祀正月」〈又309〉「義宜其蘇

禋祀」〈又314〉「揚王休唯王十又九祀」〈又320〉「其饙祀」大神」〈又329〉「

盞祀」郘各樂大神」〈又337〉「隹唯王五祀」〈又435〉「孝祀孝祭」〈又476〉「

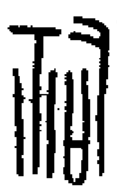
余夙夕虔敬朕祀」〈又493〉「隹唯王五十又六祀」〈又664〉「月祀皇祖

」〈又669〉「敬乎盟祀」

中山王嚳壺「佳朕皇祖文武桓祖成考」〈X286〉

中山王嚳鼎「昔者虞先祖桓王」〈X287〉

〈X21〉「用作朕文祖益仲尊毀簋」〈X98〉「則誨惟乃先祖考」「余惟堊厥先祖考」「乃令汝嬰乃祖考」〈X201〉「用高孝皇祖文考」〈X286〉「佳唯朕皇祖文武」〈X286〉「桓祖成考」〈X287〉「虞吾先禩祖桓王」〈X304〉「用作朕皇祖雁侯大酱鐘」〈X309〉「刺烈祖文考卞叔簋朕」〈X435〉「井姬歸亦列祖考麥公宗室口」〈X437〉「鮑乍祖乙寶障彝」〈X476〉「我先祖受天命」〈X664〉「吕祀皇祖」



祠 卲邢王壺〈2820〉

(9288)

「雨雩祠凡王」



胤嗣 盗壺〈9288〉妾子

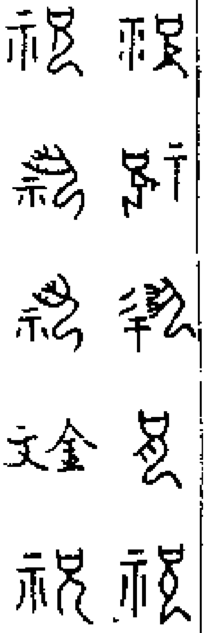
啻[a] 禘 不从示啻或从口作啻

剌朕禘卲王 啻字重見 #120 <0653>

白川靜曰周王□武王成王當獻馘告捷之時行三王之禘祀也禘祀有周姓之事如剌鼎 唯五月王才□辰才丁卯王禘用牡于大室禘卲王之例禘爲祫禘或解爲時祭之一種然固非一定者也蓋在國有大事大慶典之時行之本器即爲在獻馘之際行禘祀之例者也[a](金文通釋第十二輯七〇三—七〇四頁六二小盂鼎林潔明譯 <0677>



加藤常賢曰祝



說文曰从示从儿口一曰从兑省易曰兑為口為巫關於[兄]之字形迄今有二說其一為

案殷虛卜辭祝作[兄]作[示兄]大祝禽鼎作祝皆象人跪事神之形古禱祝二字同誼同聲疑本一字也(王國維史籀篇疏證

另一說曰

甲文之兄象人之仰首開口呼求之狀兄从兄口之上吐氣與祝同字也故說文一曰之說不誤(陳夢家古文字中之

以口為口採說文之說余前採用前說(支那古代家族制度研究二八四頁)然其後考究之結果悟出祝以口為口祝字之兄(兄為兄之省略形也)許慎引易說卦傳之兌為口為巫者乃說明祝字之偏旁之兄之口及人者也(故閱殷虛文字類編

从示者殆从丁从川川象灌酒於神前……从兄象手下拜形)

(羅振玉)

祚案又省作兄其作祝者殆亦祝之變體象跪于神前而灌酒也 (商承祚)

一望並以為是也然此乃以會意說明契文之第一字者也於第二字不適用又兄亦單獨成字(第四字)此亦以為乃祝之省略形而解決之然無示之偏旁而讀為祝則此字兄本身必須

為祝音也。是則祝字不可說是跪于神前灌酒之象形字也。又商承祚以祝為祝之變體，然此字在契文中不僅是單獨存在，且在鳳(風)字中與夕之聲符相合而存在，此字即篆文之丮厈之原形也。丮字說文曰讀若戟，厈為居玉切，連言則為戟揭，如此看來則祝並非兄之譌變。

故首先兄字之意，觀前引諸說，乃為跪于示(神)几之前之形是也。然正如前述，兄字亦單獨存在，故兄字本身須有祝之音余。前將此字分為口與卩，故此字乃身體佝僂之巫祝，以口呼天以求神靈之意也。正如字形所示，乃字為身體句曲之形，故此字為从示从口从乃，乃聲之字也。若不強調其佝僂之意，則為从示从口，乃聲之字也，其義則如王國維所言，與禱同字，乃向神呼求之意。然事實上神與人之間之中介為被視為神聖之

佝僂人故余取前說
字音之六切以表示此音此音表示佝僂之人之意
字義說文曰祭主贊詞者一望似採取名詞起原說然實為以
主音說明祝字也主詞或即籀字也又前述王國維之以祝與
禱為一字孫海波解作祈禱等說（古文聲系幽部）則為動詞起
原說以巫祝祝史等用為名詞通行以後言之亦可以為乃名
詞起源然以字形言則當是動詞起源也是則此字乃佝僂人
之巫呼神之意也（漢字之起源五七一|五七二頁林潔明譯
白川靜曰祝祭至見于易震卦彖傳贊詞者則為詩小雅楚茨
工祝致告之義也以字形為从示从人口三字會意口段注曰
从人口交神也又文源曰口哆於上以表祝之意淵源則曰用
口舌贊祝皆以人口解之然曰為表示載書祝冊之象者也字

當為示兄會意一曰从兌省者指字形之別說也因為示兄會意之字故有以為从兌省之說而以易說卦兌為口為巫為證兌下八作从儿从八口字形與兄之構造不同也字蓋為从示兄之字也周初伯禽受封以前之器有大祝禽鼎字从兄卜文中亦有示覆袖之字形呪悅等字皆从兌兌亦巫祝為神之所憑依示惱悅之象也祝為行冊祝者書洛誥有祝冊金縢有冊祝之語曰表示其祝告之詞之容器以此置於人頭者與見望聞之初文書耳目之象於人之上者相同兄本為兄弟之字然在古代兄為祭主祀家廟者也故祝之字亦从兄也與以長女或季女為巫兒漢書地理志也而奉事于家廟者為相同之古俗蓋曾行於當時也

祝在古代與保史並為最高之聖職者隨著祭政形態之衰頹

其地位漸降周禮春官之大祝不過為下大夫儀禮中夏祝商祝乃从事死喪之賤禮者如佰禽大祝以神祇之官出自貴族之古俗在西周中期以後似已開始消失也（說文新義第一卷五七—五八頁林潔明譯）

a ⿸㫃⿰單斤 旂 从㫃⿰單斤声 頌鼎 旂匄康𧻚屯右 枕詩行第八 旂黃耇也〈0674〉

⿸㫃⿰單斤 卓林父簋〈4018〉

⿸㫃⿰單斤 善夫山鼎〈2.151〉

加藤常賢曰：旂 ⿸㫃⿰單斤 ⿸㫃⿰單斤 金文 旂 篆文

字形：關於金文之第一及第二字，羅振玉曰「从㫃从單，蓋戰時禱于軍旂之下，會意也」（金文編卷一引）。然此一解釋非是也。郭沫若謂此字从⿸㫃單斤聲（金文餘釋之餘壴(卣)）是也。然⿸㫃單字之解則誤。此字實為旃之別體字，故旃字說文

解作：

「旃，旗之曲柄也，所以旃表士眾，从㫃丹聲。周禮曰：通帛為旃。

旜，旃或从亶。」

說文以此旃字一字有二義。二義何者為是不明也。因為單丹

之聲符故曲柄之解釋亦不誤也㫃殫為曲柄之旗也要之此字作旂作旛亦同从與殫並為意符斤為聲符此字為形聲字也旂旛亦同意乃畫交龍于帛斿端繫鈴之旗之意从而用為祈之意之金文乃借用也

祈為从示（意符）斤聲（聲符）（說文）之形聲字也

字音渠稀切斤表示此音斤音轉為渠稀切者也渠稀切之音所表示之意義為

求福也（說文）

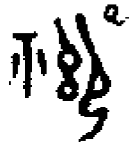
祈叫也郭璞曰祈祭者叫求而請事也（爾雅釋言）

表示求之意也

字義求福於神之意也（漢字之起源二四六－二四七頁林潔明譯）

趙世綱、劉笑春曰𦏺疑即𠭯字，金文中同樣語句多寫作𠭯𠭯即祈（文物一九八〇年第十期二〇頁王子午鼎銘文試釋）用𦏺𦏺（𠭯壽）

祈〈Ⅹ25〉「䜌旂攸勒」〈Ⅹ53〉「用祈眉壽」〈Ⅹ141〉「用祈眉壽」〈Ⅹ151〉「用𠭯匃𦏺眉壽綽綰」〈Ⅹ216〉「祈𦏺眉壽萬年」〈Ⅹ299〉「用𠭯祈乇純魯永令命」〈Ⅹ511〉「用𠭯祈𦏺眉壽萬年無疆」〈Ⅹ669〉「用祈眉壽」

 a

禦〈0647〉 我来

 b

禦父辛觶〈0417〉

 鈇毁〈2290〉

a 赤塚忠曰：禦 廪辛康丁時期之卜辭有

甲戌卜王馬尋駅（馬骨）其禦于父甲亞（文錄三一二）

又禦字通常作御（禦）用如

貞其禦于父丁其十五小宰（粹二〇）

貞御于河羌三十人（甲二四九二）

貞御年于上甲（庫一六八四）

貞御王骨（囚）于妣甲（乙八四二）

貞御婦好于妣甲（林一二二一一）

貞御子漁于父乙（藏一二四二）

貞御王于上甲（藏一九三）

貞其大紀王自上甲眔用白豕九下示鮮(釋七九)

紀由午即缶形與卩構成乃御之本字也然在卜辭中正如祀字所示主要用為祭名可是關于禦是如何之祭禮異說甚多其一則重視禦王禦婦好禦子逼等用例而解作禁禦(王國維戩釋一二)攘除(楊樹達甲文說上一八)之意其二則以御有迎之意故以為乃迎尸為尸(董作賓斷代研究例三八三)之意其三則以為御有進食之意(吳其昌解詁一續四四八)迎尸為尸之解亦有過於臆斷之點然曰王曰婦好曰子逼及其他御某者皆在祭事中占主要任務之人物禦某者以某人為祭者推薦之事也並無攘除不祥之意謂將王之卜骨進獻于神或謂御犧牲之例中不用說乃以進薦之意為主則是應以進獻為禦之通誼也然已有大禦之語又禦祭在十月行之之卜辭例

甚多故當有單純進獻以尚有祭祀之目的也然難以明瞭（簽

金文考釋八七—八八頁亞若我鼎（51）林潔明譯〈0641〉

張政烺曰御从示卸聲，禦之異體，說文「禦，祀也」父辛卣「用作大

御于厥祖考父母多神」（恒軒所見吉金錄六四頁）多禦蓋即多神之禦（圍屬

王胡盧釋文「𩰫將寶朕多御禦」〈2290〉

〈2290〉「𩰫將寶朕多禦禦」

社 古文作社
中山王嚳鼎〈2287〉

張政烺曰：《說文》社，古文社。（古文字研究第一二五頁）中山王嚳壺及鼎銘考釋」鼎銘「速使智（知）社稷之貨（任）」〈2287〉

趙誠曰：社作社，與《說文》古文形同。（古文字研究第一二五頁）中山壺中山鼎銘文試釋」鼎銘「速使智（知）社稷之貨」〈2287〉

周法高曰：「說文卷一上示部「社，地主也。从示土。春秋傳曰：共工之子句龍為社神。周禮二十五家為社，各樹其土所宜之木。社古文社。常者切」

身」〈2287〉「速使智（知）社稷之貨（任）」〈2287〉「社稷其庶乎」〈2287〉「
勤社稷」〈2287〉「忘恐隕社稷之光」

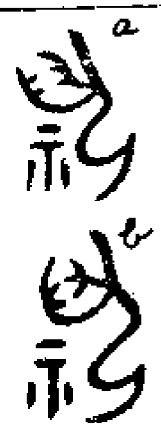
00268 禍

㮚（禍） 中山王譽壺

「隹（惟）逆生禍」（X286）

〈X286〉

「隹（惟）逆生禍」



祝 說文所無 禽簋 周公某禽祝禽又敗祝〈1274〉

a,b 白川靜曰：祝積古中釋作宜，以為宜社之宜字，其字形亦不合。又郭陳二氏皆據錢氏釋作祝，然與大祝禽鼎之祝字字形不同。祝與卜辭之[illegible]其形相近，卜文中尚有作執木玉戈等形者，表示執此而祝禱之事也，其所執者皆為祝禱時所用之聖物也。下文亦有祝字从玉，親征之周公父子行此種儀禮者乃顯示周公家族乃任周之聖職而掌其宗教儀禮之事，實足以注意。如書金縢之傳說本來與周公家族之此種職掌有關而產生者也（金文通釋第三輯一〇六｜一〇七頁一〇禽𣪘林潔明譯〈1274〉

棠

0030



棠 說文所無 俞偉釋以爲歲棠 印詩閟宫秋而載嘗之載嘗 〈0518〉



王子申鑒 〈X664〉

〈X664〉 「攸偦立莅戠歲棠、嘗」

禝[a]

稷 說文所無。詛楚文社稷之稷作禝。

子禾子釜 □稷月丙午 <9020>

禝 中山王譽鼎 <2287>

張政烺曰「禝从示，馬王堆帛書、漢代碑刻皆與此同。」（古文字研究第二二五頁「中山王譽壺及鼎銘考釋」）鼎銘「速（使）智（知）社禝（稷）之賃（任）」

趙誠曰「稷作禝，與《子禾子釜》同。丁佛言《古籀補補》云：《風俗通義》：稷，五穀之長。五穀衆多，不可徧祭，古立稷而祀之。……稷為祭名，許氏說齋也。故古稷字亦从示。」（古文字研究第二五、五頁「中山壺中山鼎銘文試釋」）鼎銘「速（使）智（知）社（社）禝（稷）（稷）之賃」<2287>

<2287>「速使智知社禝稷之賃任」<2287>「社禝稷其庶虖乎」<2287>「身勤社禝稷」<2287>「忘恐隕社禝稷之光」

𡰥 說文所無

鄂君啟節舟節「顯夏𡰥之月」(92)

郭鼎堂曰：「𡰥是月名，爾雅釋天十二月月名為陬、如、寎、余、皋、且、相、壯、玄、陽、辜、涂，屈原的離騷「攝提貞于孟陬」，即攝提格之歲的孟春正月。既用爾雅月名，則與之同時的本節文的月名也當同于爾雅月名，但夏季三個月月名為余、皋、且，却無一字相合。余意爾雅「余」字當是後來的訛變，本當作𡰥，因後人不識而誤寫為余。故「𡰥之月」當係四月」（文史論集三三五－六頁關于鄂君啟節的研究）

商承祚曰：考古代十二個月代名各國原有其自稱而不一致，爾雅乃參酌若干不同的月名加以整理而固定下來，既然知

道不能代表過去所有的月名，似不應被爾雅這十二個代用名所局限，改易未見之名，而強合後來整理之文。試舉銅器銘文為例就很清楚了。國差𦉜：「國差立事歲，咸月丁亥」陳逆簋：「冰月丁亥」子和子釜：「□□立事歲，禝月丙午」陳純釜：「陳猶立事歲𠭯月戊寅」陳喜壺：「陳喜再立事歲，𠭯月己酉」五年權：「五年司馬成公𩍝月」立事歲，其咸、冰、禝、𠭯、胡也，無一字與爾雅的月名相近，似則原是不為今之寫訛，應予重新考慮。

：禝即稷字（从安為从夂之寫訛），詛楚文稷作禝，亦从示，受義文。古文省作䄷，則禝月似指秋收的某一個月。原字从示，可能亦用一種祭名來紀月的，禝亦兼涵此義。（文物精華第二集第四九頁鄂君啟節考）

饒宗頤曰：「鄂君啟節『題夏[尸示]之月』，[尸示]字从示从尸，未詳何月。初學記引公羊傳『提月六鷁退飛過宋都，提月者何，僅建夏晦日也』，所云『僅建夏晦日也』與今本不同。公羊及注提皆作是。洪亮吉釋歲（卷施閣文甲集二）引此於月晦條，謂『稱正月為提月或古有是語』，然初學記引作『建夏晦日』，則提月應指四月之晦。古示與是通，是提孳亂，疑題[尸示]之月即夏提之月，此又四月之異名（故宮季刊第三卷第二期一〇頁楚繒書之摹本及圖像）」

<92>「題夏[尸示]之月」

<93>「題夏[尸示]之月」

⿱雀示 說文所無。

塱方鼎「公歸⿱雀示于周廟」〈又92甲〉

陳夢家曰『⿱雀示祭名，見於卜辭』〈西周銅器斷代(一)第一六九頁〉

金文論文選6.塱方鼎 第三三頁

周法高曰『⿱雀示字見甲骨文字集釋卷一第一〇五頁，李孝定曰：「按字从示从奴或从又，到持隹，羅謂象薦雞之祭，其意是也……當隸定作⿰示隻，就字形言，應隸定作⿰示隻，惟不便於書寫始作⿰示隻，說文所無」』

栾 楽 說文所無

酯蔔編鐘〈945〉

朱德熙曰：「一九五七年信陽長臺關楚墓出土了十三枚編鐘，其中最大的一枚有銘文十二字：

隹(惟)酯蔔屈栾晉人救戎於楚競(境)

過去一直不知道『酯蔔屈栾』四個字的意思。近年出土的文物提供了解決問題的線索。一九七八年江陵天星觀一號楚墓所出竹簡說：

齊客繡腹踏(問)王於栽郢之歲，屈栾之月，己卯之日（下略）。

由此可知屈栾是月名。雲夢睡虎地秦墓竹簡日書有秦楚月名對照的材料，今歸納排比如次：秦簡中楚月名不止一見，異文在括弧中注出。

秦月	楚月
十月	冬（中）月
十一月	屈夕
十二月	援夕
正月	刑夷（尸屎）
二月	夏屎（夷尸）
三月	纺月
四月	七月
五月	八月
六月	九月
七月	十月
八月	爂（爨）月

九月　鬳(獻)馬

信陽鐘銘和天星觀簡文的屈柰顯然就是與秦月十一月相當的楚月名屈夕,柰從示亦聲,廣韻昔韻:亦,羊益切,喻母四等;夕,祥易切,邪母。古音亦、夕都在魚部,喻母四等與邪母諧聲、假借均有密切關係,二字古音相近,古籍常互為異文,晏子內篇雜上第二章「吾亦無死矣」,銀雀山竹簡本晏子作「吾夕无死已」;又內篇雜下第四章晏子曰「嘻!亦善」,銀雀山竹簡本作晏子口「誒!夕善矣」,并假夕為亦。(方言一九七九年第四期三〇三頁「畱蔔屈柰解」,注「畱蔔屈柰晉人敝戎於楚競」)

郭鼎堂曰「柰从示亦聲,字書所無,殆是奕之古文,在此假為狄(从犬亦省聲)」(文史三〇五頁信陽墓的年代與國別,畱蔔編鐘)〈245〉

(0032)

⿱兔示 說文所無

司⿱兔示母圓斝〈2608〉

周法高曰：考古學報一九七七年第二期六九頁鄭振香等安陽殷墟五號墓的發掘釋為「司⿱兔示母」，古文字字形表三八三頁⿱兔示字下收婦好墓圓斝，蓋釋為「司⿱兔示母」也。蓋非是。

〈2604〉「司⿱兔示母」

〈2608〉「司⿱兔示母」

〈2610〉「司⿱兔示母」

三 矢方
㚇 <2446>
三 明公
盖 <1260>
三 兆域
圖 <2289>

白川靜曰郭氏以爲三左三右即相當於禮記曲禮中所見之天官六大曰三左三右當即曲禮之天官六大大宰大宗大史大祝大士大卜大宰大宗大士，在王右大史大卜大祝在王左故稱三左三右逸周書大匡篇君乃召冢卿之老之吏大夫百執事之人朝于大庭三老三吏即三左三右之謂六大即古之六卿與劉歆所竄改之周禮異撰六卿之上有總其成者即冢卿亦稱孤大抵即由六卿中之一人兼任之世道陶明卜祝等失其魔力遂淪爲下吏矣說詳余周官質疑

三老亦見於他書如禮記文王世子禮運禮記祭義等並不一定是三左之譌也陳夢家氏則以顧命篇所見之左右兩班為三左三右曰

三左三右當指率領邦君諸侯的周室諸侯顧命大保率西方諸侯入應門左畢公率東方諸侯入應門右是召公畢公率左右兩班諸侯入門與此銘三左三右相類顧命的三左三右當指大保與芮伯彤伯畢公衛侯毛公可以推測前三人以召公為首率西方諸侯後三人以畢公為首率東方諸侯前三人的封地在西後三人的封地在東

是以顧命之六人為三左三右者也作為文獻而言亦與當時之事相近其儀禮亦有保存古禮之處足資參考然以其封地關係而分為兩班之說殆有疑問蓋仍應如曲禮所云以其職

事分班者也，轉華中引逸周書王會謂三左三右者乃諸侯朝會時之列位也。在此銘中三左三右列於多君之上乃在朝廷之重要之儀禮之時重臣各即其位之意也。(金文通釋第十二輯六八六—六八七頁六二小盂鼎林潔明譯 <677>

九 白川靜曰：三族者蓋明公之三族也。以周初封建之事實而觀周公之胤乃與文武之昭穆並列其多數就封于封地，其家族似為相當之大族也。族人乃構成氏族軍之主力班段中有「以乃族从父征」又毛公鼎亦有「以乃族干吾王身」之例。(金文通釋第三輯一三三—一三四頁一三明公段林潔明譯 <1260>

白川靜曰：三事大夫見于詩雨無正與邦君諸侯為對文相對於外朝之諸侯乃指任內朝之職事者也。詩十月之交之三有

事當武之三事左傳成二逸周書大匡之三吏等皆同指在朝之官也金文中令彝銘有三事毛公鼎銘有三有司之語(金文通釋第十二輯七〇五頁六二小盂鼎林潔明譯<677>

白川靜曰三字下之一字據古中摹作周字若據拓影則不能確定其為周字于陳氏等據據古之釋郭氏缺釋陳氏以為三周者即三秦三卿三老是也曰

三周入服酉與三左三右多君入服酉三事大夫入服酉同其文例則三周應與多君三事大夫同為一種人稍舊釋周細審銘文其上部尚有筆畫周壽古音同三周疑即三壽三老閟宮箋三壽三卿也張衡東京賦薛綜注三壽三老也逸周書大匡篇王乃召冢卿三老三吏大夫百執事之人朝于

大庭

「入服酉之禮文中三見然三事大夫之入服酉乃在翌日乙酉行之參加此日甲申之禮者若以上文所見言之則爲三左三右多君賓邦賓及行告鹹之禮之盂劇伯明日雖白等人因此等人已行入服酉之禮故此處行入服酉之禮者蓋是其他之人與以下所行之禮有關者也」（金文通釋第十二輯七〇一—七〇二頁六二小盂鼎林潔明譯 2677）

d 白川靜曰「關於三事四方郭說云

「三事當即書立政立政任人準夫牧作三事之準夫牧夫乃吏之壞字即上文之庀乃事吏庀乃牧庀乃準也事吏古本一字吏殆事務官準乃政務官牧則地

方官也其在立政於三事之下分舉細目概括内外服無遺其在本銘於三事令下亦列舉卿事寮諸尹里君百工諸侯雖詳略各殊而内含則一故三事乃泛指百官而言猶言三種官吏舊解為司徒司馬司空者失之此器之三事果即立政之準吏牧分屬事務政務地方之三官手从立政乃述中央政府之機構者而言實為可疑在周代行政一般之事大約多稱三事詩小雅十月之交有云

皇父孔聖作都于向擇三有事亶侯多藏不慭遺一老俾守我王

言任命向都是行政官之事本器之三事相當于此詩之三事又詩雨無正有

宗周既滅靡所止戾正大夫離居莫知我勤三事大夫

莫敢夙夜，邦君諸侯，莫敢朝夕。

箋釋三事為三公，然據詩三事大夫之上有正大夫可說相當於邑宰；其下則有三事大夫，另有邦君諸侯，以事朝夕，此邦君諸侯蓋乃相當於銘文之四方。又詩大雅常武中有云

率彼淮浦，省此徐土。不留不處，三事就緒。

傳以三事為三有事，箋則謂乃三農之事。都鄙皆有三事分担行政。余以為正大夫者蓋乃監督此（三事）之組織也，即謂明公乃成周之邑宰，統轄成周之三事，諸官及附近四方之諸邦族。又金文中毛公鼎「命女𤔲𤔲公族，雩參有𤔲，小子師氏虎臣，眾朕褻事」亦言三有𤔲，此似與三事不同。銘文中三事與四方為對文，四方者邦君諸侯也。其細目則可見于下文諸侯之下。（金文通釋第六輯二八七—二八九頁，二五令彝，林潔明譯）〈2446〉

三△〈义2〉「屯三△丹為一艙」〈义18〉「隹王三△年四月初吉甲寅」三△〈义32〉「十

年」〈义44〉「隹唯三△月」〈义60〉「今三△半二升少半升」三△斗少

半」〈义66〉「三△年」〈义176〉「四斗冶客四斗廿三△冢冀」〈义177〉「四斗冶

客四斗廿三△冢盛」〈义178〉「三冢□右角酒」〈义181〉「五斗□三△冢

」〈义183〉「四斗冶客四斗廿三△冢」〈义184〉「三△年上郡守□造」〈义225〉「

王姜易襍旟田三于与待劃」〈义236〉「王三△年奠命韓熙右庫工币

史喪狄冶□」〈义250〉「三△年奠鄭命偽楕藩司寇芋慶左庫工币御

新冶看鑄造」〈义288〉「十三△茱」〈义288〉「冢重一石三△百卌三三十九刀

冡之重」〈义289〉「丌其提題鍉蓁鍉長長三△乇尺」〈义300〉「隹惟王三△月

初吉庚申」〈义325〉「隹十又三△年九月初吉戊寅」〈义326〉「隹三△年九

月丁亥己」〈义335〉「隹惟廿又有七年三月既生霸魄戊戌」〈义336〉「

隹惟三△年三△月既生霸魄壬寅」〈义337〉「其舍田三△田」〈义338〉「舍矩

姜帛三△兩」〈X3417〉「，隹惟三△月既死霸魄甲申」〈X3417〉「罰女汝三百

孚鋝」〈X4967〉「隹唯三△月初吉」〈X5108〉「隹卅又三△年八月既死辛卯

」〈X5017〉「隹唯二年三△月初吉庚寅」〈X6417〉「侯賞攸貝三△朋」〈X6427〉「

侯賞復貝三△朋」〈X6657〉「滋餟冢三△柰二圣柰四口」〈X6687〉「卅三△年

」〈X6687〉「卅三△年」

0034 王

王[a] 戊甬林王 <0617>

王 矢方彝 <1280>

王

利毀 <x1080>

越王州句矛

王子于戈 <2872>

白川靜曰：王說文曰天下所歸往也。王往疊韻之訓，所謂天下所歸往之王之名義解釋，自白虎通號篇、風俗通皇霸引書大傳、春秋繁露滅國篇、易乾鑿度以下常見於前漢之傳注之類，乃當時之通行義訓也。引董仲舒之說者，即敘所云博采通人，採用先人先學之字釋。董仲舒之說採自春秋繁露，節略其王道通三之文：古之造文者三畫而連其中謂之王。三畫者天地與人也，而連其中者通其道也。取天地與人之中以為貫而參通之，非王者孰能當。節略其文而成者也。孔子曰一貫三為王，蓋將論語里仁篇之一以貫之之語翻案之緯書之說也。說文引孔子說凡十二條，然多為俗說，如推十合一為士、下一粟之為

言續也等是據其說解則字為會意即所謂指事也大凡以指
事之字為要素之會意字皆入于其類也
對於說文之字解則有所謂一土說如戴侗六書故或曰能一
下土謂之王又疑疑中曰同邑金氏安曰从一从土率土歸于
一也中畫近上或下畫上曲皆向化之象也淵源曰竊謂立位
一字王土亦出於一元其所立土也其位王也王統一天下者
也說亦同俞樾兒笘錄以王玉之字形無區別為疑曰
按王字从二从十二者天地也十者四方也王者中天下而
立其德上際于天下極于地東西南北無思不服
倡二十說又或有據其古文之字形則有如蕭道管之重文管
見曰按似古文君坐形之象形說其說至徐仲舒之士王皇三
字探源集刊第四本第四分有詳論與此相似者則有葉玉森之王冠說

以卜文之字形為象王者之義冠也皇字後起从王从白象王者之冠冕旒也（前編集釋一一八）云嚴一萍王皇士集解（中國文字第七冊）以卜文之上無一畫者為科頭之象上有一畫者為戴帽之象之說皆無採象形說王冠說者也郭鼎堂在其釋祖妣中述其牡器說曰

余謂士祖且王土同係牡器之象形在初意本尊嚴並無絲毫猥褻之義入後文物漸進則字涉於嫌遂多方變形以為文飾故士上變為一橫筆而王更多加橫筆以掩其形

以字為表示父權與起之時代觀念者也又馬敘倫曰

王是火之上燒的意思从火上聲（馬氏論文集一一卷一九四）

以二為上聲舒氏之古文疏證亦以字為从火上之形王者之義為假借也云通訓定聲以說文之說解難以相信曰按此字

PDF 文件使用 "pdfFactory Pro" 试用版本创建 www.fineprint.cn

為學者一大疑而關於此字之字釋其說甚多也
說文之解以變理天地者為王與中國人之政治理念相合故久而不失其權威其正字之形上二畫相接古文之字形則下畫之兩端向上卷無論如何其解與字形不吻合故至宋代據金文資料而有新知見始以此字解為疑鄭樵六書略以字屬象形字生之象貌部與生壬丰等字形相近之諸字合而求其通義以之為象物出土而威形以而導生出王之聲義因無詳細之解說其意難確知然蓋以為乃芽之出地之象形解之者也作為字形解釋雖非確解然總算是脫出說文之藩籬之解也
清中葉以來彝器之出土亦多至清末金文學空前盛行以憲齋集古錄賸稿恒軒所見古金錄之著者而知名之吳大澂在

甚字說之中論王字之初形以爲乃地中火之噴出之形旺盛之義即自此起云字說中錄金文所見王字諸形其下畫爲火之象形二爲地也故曰地中有火其氣盛也火盛曰王德盛亦曰王其說一掃千古之疑而深受歡迎羅振玉之殷虛書契考釋林義光之文源皆據其說顧實釋王皇往一文以字之下部爲火曰

上加橫畫以指夫火之炎上而大放光明也書曰文王武王宣重光顧命故盂鼎文王之文作玟从王文聲武王之武作珷从王武聲明王爲帝王之王專字而見文王武王之所以宣重光也

以大盂鼎之玟珷之字爲其說之實證者也高氏字例亦以△爲火王之象橫畫則爲示火之部位以字屬指事

鄭吳兩說雖為破說文之舊解之新說，然尚殘存有基於說文學傳統之解釋之跡。即鄭與說為以字近於之往之往之義而立說，以二為地，亦屬舊解。王往之音相同，卜文中往字亦已是从止王之形聲字，然於王之字釋上加上止往之聲義者，可說是仍泥於舊解者也。吳氏之地中火說，雖亦為近代之解釋，然以二為地，尚可見說文學之殘跡也。

與以上諸說異趣者，則有高田忠周之工字說、吳其昌之斧形說。古籀篇以吳大澂地中火為過于穿鑿，而不足取，而曰

王字从工，不从紀數之三，要工字以二為天地，丨為人，故人之可尊重者，不从人而从工，巫字壬字是也。況王字固當从工為至理矣

蓋以王為贊天土者而解之者也。吳氏則主斧形說，以為卜文

金文之王字字形皆斧之象形字也王之禮服自扆等皆與斧有關曰

王字之本義斧也……（爾雅釋器斧謂之黼又釋言黼黻彰也孫炎注黼文如斧蓋半白半黑如斧刃白而身黑蓋黼即斧之同聲假借後起字耳今考儀禮覲禮云天子依斧依於戶牖之間此斧依在周禮則作黼依周禮春官司几筵云凡大朝覲大饗射凡封國命諸侯王位設黼依蓋古之王者皆以威力征服天下遂驕然自大以為在諸侯之上而稱王以王之本義為斧故斧武器用以征服天下故引伸之凡征服天下者稱王斧形即王字故繪斧於扆……故於朝天下覲諸侯封藩服會卿事之時仍設繪斧之扆以紀念（金文名象疏證兵器篇）

又以王壬為一字作為王為斧之形之一證

卜文本以刀筆刻畫字不能施以肥瘠之筆故亦有時難於識別字之初形而金文因在範型中記錄鑄鑿之字形故其造形筆劃多可確保今觀金文之字形上部表示一二之橫畫乃鉞之內之部分及刃身之分離之處也卜文中橫線上一直線突出之形屢屢見之者其內也下畫以豐筆作示兩端反轉之象者鉞之刃部也字為鉞之象也斧鉞句兵之類中禮器甚多殷虛出土之物中有於內施以華麗之雕飾者亦有以美玉製成者可知乃當時之重要禮器也（鄴中片羽初、三集）鉞之出土之數雖非很多然多精品以其製作遠離實用所需之事無疑乃用作權威之象徵之禮器也

吳氏之黼扆說與王之聲義殆無關係斧如字所示乃象徵父權者也父之初文乃象持斧身有時亦作持鉞之象（師寰殷銘）作為

王權之象徵之鉞，因乃禮器，故刃部不加磨礪而保持器之安定。貢置於王位之前者也。以兵器為禮器乃古代民族之間一般通行者，吾國（日本）之銅劍銅戈之類亦明顯地是禮器也。蓋本來含有宗教性意義者，其後又加上象徵征伐權統治權等等解釋。賜斧鉞之事成為意指授與專征之權。殷周革命時武王揮黃鉞玄鉞以斬紂王及其諸臣之故事記于逸周書克殷世俘諸篇。不僅字形是貢置于王座之鉞之形，王鉞之音亦相近，聲義上似亦有關也。字又與皇字之構造有相通之處。說文新義第一卷八〇一—八五頁 林潔明譯

加藤常賢曰：王

太 太 太 王 王 契文 王 王 王

王 王 王 金文 王 篆文

王 古文(說文) 王 古文(三體石經)

字形吳大澂(說文古籀補)羅振玉(殷虛文字類編卷一)顧實釋皇王坣說文詁林王字下引林義光(文源卷六)並曰火在地中之形郭鼎堂則曰士且王土同係牡器之象形(甲骨學文字篇所引)然余以為皆未得此字之形象之真實也吳其昌曰

王字之本義為斧也(金文名象疏證文史哲季刊五之三)

乃精細之比較研究之結果下而得之結論最為是也王字之形乃斧之豎立之形象也觀金文之第一第二第三字可知其為斧之形也至於以斧之形之王字為統治天下之王者之稱之理由吳其昌曰

以王之本義為斧故斧武器用以征服天下故引伸之凡征服天下者稱王 (同前書)

其說之是非可以不論而其為斧形則不誤也

字音兩方切此音乃從斧之音轉聲也斧之意轉為大之意也

字義因為大斧之意而借用為通用之王之意也（漢字之起源

九三三頁 林潔明譯

白川靜曰斷代中以「易在易」三字為讀「在宜」王人之修飾語也

又陳氏初以「囗又七生」讀作「七牛」其後改讀為「七里」謂「意義不

清楚」云然後舊倒當讀作「七生」陳邦福氏云

王人二字雖然見於尚書君奭但是前人的解說頗不一致

惟有公羊僖公八年傳云王人者何微者也而孔穎達疏左

僖公八年經下人為下士這個解說比較適當連合上文說

在祖王人意思是指在祖的同代王族部下的下士像管蔡

以下的寮友徒從之類

「又七口」郭鼎堂先生釋作「又七里」容庚先生釋作「又七生」古時生與姓字本可借用，頌鼎「里君百生」即里君百姓，文中的又七生大概指的是王人下士的七姓。

以王人為周之下士，然郭氏以為此乃殷人之成為奴隸者。郭氏初釋七里，後改從容庚氏釋作「七生」曰：生假為姓，一姓代表一族，則王人下所缺一字當為十，為數不能過多。王人之在宜者，當即殷王之人，原為貴族，故有姓，今亦轉化為奴，而成賜與之物。尚書君奭：殷禮陟配天，多歷年所，天惟純佑命，則商實百姓王人，周不秉德明卹，此周初稱殷代貴族為王人之證。入後周有天下既久，則王人之稱轉為周王之人矣。

唐蘭氏以為如郭說以王人為殷人之貴族之成為奴隸者之解釋並不穩妥而以王人即王臣引左傳定七年之賜與殷民七族六族之例為說

在卜辭金文中稱「某人」時多冠以其出身之氏族名及地名卜辭中有戈人蕭人金文中燮殷則有「賜臣三品州人重人庸人」之語皆為此一意義之稱春秋時之「某人」亦多為「國人」之意而對無此種氏族關係之聚合體則稱之曰「眾」器銘「在宜王人與下文之「宜庶人」相對而用然王人者非出自殷或周之王族者之意恐為王室私有之私人之意王人與庶人之別在王人中有稱作「口又七生」者以氏姓為單位庶人則如「六百又口又六夫」以其人數表示从而可知王人尚有氏族組織者庶人則如眾一樣已捨棄其氏族之關係之稱詩大雅崧高三章有

王命申伯式是南邦因是謝人以作爾庸王命召伯徹申伯

土田王命傳御遷其私人

本器中所云「宗人」殆即王室所有之私人也此以「□又七生」以姓而稱者與殷民之六族七族相同因其尚保有氏族之形態也郭氏以王人為殷人之餘裔乃奴隸身分者而稱為王人實不適當又以有服从关係之氏族直接視為奴隸之說从殷系之餘裔在周初中殘留有多數優秀之彝器之類之事實而觀之實難以首肯陳邦福氏以王人為周王之下士者以不適宜作為賜與之對象亦為難以成立之說也

此等王人乃作為屬于王室乃屬於王室所經營之宜社之人已入居于宜地者也並非此時新遷入者「在宜王人」即其意也置私人于邑里時亦以族姓而使分住各地所謂「四里為族」四

閭為族之族與里閭之關係之說法中尚可見其遺意（金文通釋第十輯五四七—五四九頁五二宜侯夨毀林潔明譯1384）

于白川靜曰「用牲于王」羅釋云饗王也。吳釋亦以為行饗宜于王，然用牲與饗乃不同之儀禮。王、唐氏解作王城曰

「王：王城也。漢書地理志云：河南縣河南故郟鄏地，周武王遷九鼎，周公致太平，營以為都，是為王城，至平王居之。又云：雒陽周公遷殷民，是為成周，春秋昭公廿二年晉合諸侯于狄泉，以其地大，成周之城居敬王。然則王城、成周實二邑也。用牲于王城者亦祭禮也。羅氏誤以為明公饗王，吳釋從之，疏謬最甚」。

郭氏無說，陳氏大抵據唐說。唐說中以京、康二宮在王城之外，然二宮若如唐說乃先公祖王之廟，則無在王城之外之理。王

者蓋為王宮余以為王宮中亦有如大室之祀處因明公是周公之子乃出自周室之人故周姓于諸宮行報告之祀禮者也

（金文通釋第六輯二九九—三〇〇頁、二五令彝、林潔明譯）

參卷十二一六六〇號姜字條

方善桂曰「王姜在金文出現於下記諸器」

矢令毀「隹王于伐楚白才炎隹九月既死霸丁丑作册夨令障宜于王姜姜商令貝十朋臣十家鬲百人」

作册睘卣「隹十又九年王才序王姜令作册睘安夷白夷白賓睘貝布揚王休用作文考癸寶障彝」

不壽毀「隹九月初吉戊戌王才大宮王姜易不壽裘對揚王休用作寶」

梟白卣「隹王八月梟白易貝于姜用作父乙寶紐彝」

史杻器」隹王奉于宗周，王姜史杻吏于大保，賞杻鬱鬯白金

口牛，杻對大保休，用作寶障彝」、

旟鼎」隹八月初吉，王姜易旟田三于待劏，師櫨酷兄，用對

王休，子子孫其永寶」

據了上記金文材料看，王姜代表著周王替他料理政務，賞賜官吏，與大保、史旟同時。所以很多的研究者以為她是成王之后也。許多人認為是昭王、康王或武王之后，但最後回答還要等待了王婜所關連諸器的出現。王婜王姜之為周王后妃，她們所關連諸器間的親緣性與先後性，王婜之在班毀為文王妻，合理地說明王婜就是文王后大姒，王姜就是武王后邑姜，那麼叔為組銅器可能是自文王卒後到周公攝政或成王初期作品，而王姜所關連器則自成王後期到康王後期之可能

性大大戴禮保傅篇說「周成王幼在襁褓之中，召公為太保」史記魯周公世家說「武王既崩，成王少，在強葆之中」公羊傳隱公六年疏引古尚書說云「武王崩時成王年十三」周成王之幼少意味著成王尚未娶婦或娶婦不久，那會成王之后妃掌握了金文所見「王姜」的權力，所以周王卒後之周王朝權力構造當以武王后（假定她還是活著）和召公奭（太保）等為中心，而東叔器正說明了這種可能性。

銘文中還有王白姜者，美國納爾遜美術館藏有王白姜鬲，其文曰「王白姜作隮鬲永寶用」盧公司藏過一壺，其文曰「王白姜作隮壺，其萬年永寶用」（盧目一九四五三）王白姜也是姜姓之女而嫁於王者，但兩器花紋型式屬西周晚期，不能與王姜諸器同時（大陸雜誌第五十三卷第五期初周青銅器銘文中的文武王后）

周法高曰「古文字類編四七頁王字下收越王州勾矛見英國威廉氏生古代中國銅器七六頁圖八作〈又1〉「隹王△九月既生霸甲寅」「王△才（在）周康宮」「王△乎（呼）乍（作）冊尹冊令（命）嫠曰」「敢對揚王△休令（命）」〈又2〉「王△尻處于茂鄭之遊宮」「大攻尹脽台（以）王△命集尹悤嫠」〈又3〉「王△尻處于茂鄭之遊宮」「大攻尹脽㠯（以）王△命命集尹悤嫠」〈又4〉「王△才（在）芳手」「王△乎（呼）尹氏冊命師㝅」〈又5〉「王△若曰訇」「唯王△十又七祀」「王△才（在）射日宮」「王各△（格）」〈又6〉「王△商（賞）戍嗣子（嗣子合文）貝廿朋（合文）」「隹（唯）王△叡𩰫大室」〈又7〉「王△易（錫）貝」〈又18〉「隹王△三年四月初吉甲寅」〈又21〉「隹（惟）王△元年四月既生霸」「王△在減应（居）」「王△各（格）廟」「王△乎（呼）乍（作）冊尹克冊命師旋曰」〈又22〉「隹（惟）王△五年九月既生霸壬午」「王△曰

」「旋𣪘易揚王△休」〈又31〉「王△來奠新邑」「王△□貝十朋」〈又44〉

」「王△才在成周」「征武王△福」「王△易錫値德貝廿朋用乍作

寶障尊彝」〈又46〉「王△益叔値臣嬉十人」〈又52〉「王△在周師嗣馬宮

」「王△乎內史吳冊命師𤸫曰」「先王△既命女」「今余唯[illegible]

先王△命」〈又69〉「楚王△孫鄦魚之用」〈又70〉「古北丌王△戊越戊越王

丌北古劍格正面」「古北丌王戊越戊越王△丌北古劍格正面

」「□戊越王△丌北自乍作元用之僉劍首」〈又71〉「周王△叚之元

用戈」〈又74〉「王△六年上郡守疾之造戟」〈又82〉「隹正月初吉丁亥

𨛭王△之子庚兒」〈又98〉「王△若曰師克」「于害王△身作爪牙」「

王曰克」「克□臣先王△」〈又101〉「王△乞康季寶障鼎」〈又106〉「隹

王△正月」〈又113〉「唯王△元年」「王△在成周」〈又114〉「攻敔王△夫差自

乍其用戈」〈又121〉「□□王△□□〔自乍〕其用戈」〈又122〉「□□餘

□□王△〔戉〕王者〔旨〕於賜」「□□除□□王〔戉〕王△

者〔旨〕於賜」〈义124〉「王△王」〈义133〉「王△各格于大室」「王△乎

呼内史尹氏册命師𣪘」〈义140〉「越王△鳩淺自作用鐱」〈义151〉「王△才

在周」「王△乎呼史𢦚册令命山」「王△曰山」〈义158〉「隹王△十月

既吉曾伯从寵自作寶鼎用」〈义187〉「王△六年上郡守疾之造」〈义196〉

「乙亥王𣪕誥畢公」〈义205〉「攻敔王△夲光自乍用鐱劍」〈义208〉「王△

出戰獵南土」〈义209〉「启从王△南征遶山谷」「隹王△四年八月初

吉丁亥」〈义225〉「王△姜易𢳚旗田三于與待𠜱」「用對王△休」〈义226〉

「王△才在上𢊁居」「丕𥿠拜頓首敢揚王休」〈义235〉「王△二年

奠命韓、、」〈义236〉「王△三年奠命韓熙右庫工币史狄冶□」

〈义238〉「十四年奠命令肖趙距司寇 王△睯武庫工币師 盟鑄章

冶□」〈义275〉「王△」〈义284〉「王△客于康宮」王△曾令衛易赤市攸勒」

〈Q286〉ㄱ中山王嚳命相邦貫 ㄱ〈Q286〉ㄱ以祀先王ㄴ〈Q286〉ㄱ以憝嗣王ㄴ

〈Q286〉ㄱ乏其先王之祭祀ㄴ〈Q286〉ㄴ丈古之聖王務才在旻得賢ㄴ

ㄴ〈Q286〉ㄱ以戒嗣王之〈Q287〉ㄱ中山王嚳詐作鼎ㄴ〈Q287〉ㄱ廣吾先考成

王ㄴ〈Q287〉ㄱ廣吾先王ㄴ祖〈Q287〉ㄱ王山ㄴ〈Q287〉ㄱ〈Q288〉吾先考

先王ㄴ〈Q288〉ㄱ惟先王ㄴ趄桓中山王ㄴ卲考成〈Q287〉ㄱ王〈Q288〉ㄴ廣

先王〈Q288〉ㄱ佳送朕先王〈Q288〉ㄴ饗卲明ㄴ先王成〈Q288〉ㄴ隱差昔

先王ㄴ〈Q288〉ㄱ功ㄱ先王之德〈Q288〉ㄴ鄉祀祀先王ㄴ〈Q288〉ㄱ以隱迷廣逯

則王ㄴ〈Q289〉之ㄱ工〈Q288〉制烈王之惠〈Q289〉王賙則雨率聿問先法王闢闢〈Q288〉ㄴ王狹小以小大之

方二曰乏尺ㄱ〈Q290〉王命〈Q289〉〈Q289〉ㄴ王堂方二曰乏尺ㄴ〈Q289〉王佐遂

東王宗皇ㄴ尺ㄱ〈Q290〉王佳ㄱ王曰ㄴㄴ〈Q290〉ㄱ至經匱擁先王王ㄴ〈Q290〉ㄱ〈Q294〉ㄱ角備鏊謂

先王二曰乏ㄴ〈Q290〉ㄴ惟王ㄴ王十ㄴ乏二祀ㄴ〈Q292〉ㄱ王口口ㄴ〈Q294〉ㄱ復酉

東小王武王豐禮〈Q290〉ㄴㄴ〈Q294〉ㄱ佳唯王初鄭遷宅于成周〈Q294〉ㄴㄱ〈Q294〉王ㄱ卮詫

宗小子于京室ㄴ〈Q294〉ㄱ昔才在爾考公氏克逑玟文ㄴ王ㄴ〈Q294〉ㄱ肆

祖 祗 墓〈2308〉 格ㄥ ㄥ 保 惠〈2298〉 惠 肆

迺 覲 聖 ㄱ 于〈2310〉〈2300〉 王ㄷ 惟 ㄱ 唯 政

乃 顯 成 王 康 ㄱ 佳 身 余 唯 王 文

來 穆 王ㄷ 才 ㄥ 膺 惟 ㄥ 小 王ㄷ 韓 王ㄷ

㠯 王ㄷ ㄥ 在〈2305〉 應 王ㄷ〈2296〉 子 八 恭 受

武 ㄥ〈2309〉 實 ㄱ 侯 三 ㄱ 令 祀 德 茲

王ㄷ〈2309〉 ㄱ 管 敷 見 月 王 者 正 谷 天

ㄥ ㄱ 周 宮 侯 工 初 卑 淑 月 裕 令

〈2309〉 學 浙 ㄥ 乍 遺 吉 俾 先 ㄥ 天 命

二 越 懲〈2309〉 王ㄷ 王ㄷ 庚 ㄥ 王ㄷ〈2298〉 ㄥ ㄥ

二 武 哲 ㄱ 嬀 于 中〈2295〉 德 王〈2294〉〈2294〉

武 王ㄷ 京 曰 勝 周 ㄥ 用 ㄥ 日 ㄱ ㄱ

王ㄷ 既 王ㄷ 世 段 ㄥ〈2300〉 乎〈2298〉ㄥ 王ㄷ 佳

則 戎 ㄥ 文 ㄥ〈2304〉 ㄱ 厥 ㄱ〈2298〉 咸 惟

令 物〈2309〉 王ㄷ〈2307〉 ㄱ 王ㄷ 剌 降 ㄱ 肩 珷

詩 段 ㄥ ㄱ 王ㄷ 弁 然 明 曼 誥 武

周 ㄥ 茲〈2307〉 王 歸 時 社 羚 殷 ㄥ 王ㄷ

以〈2309〉 弘 ㄱ 乍 周 ㄥ 周 解 宮〈2294〉 既

舍 ㄱ 若 顯 豐 成〈2300〉 分 蒲 召 ㄱ 克

用 光 命 皇 姓 周 一 德 前 殷 佳 大

守 敬 且 武 畢 ㄥ 王 亂 王ㄷ 視 惟 邑

于 史 王ㄷ 王ㄷ 賣〈2304〉 才 敢 ㄥ 王 商

周 剌 ㄥ ㄥ 武 ㄥ 在 對〈2298〉ㄥ 王 ㄥ

ㄥ 熙〈2309〉〈2309〉 盛 王 康 王ㄷ ㄱ〈2298〉 祀〈2294〉

〈2314〉 征 寡 邑 ㄥ 各 宮 休 用 ㄱ ㄥ ㄱ

格ㄴ 工 易 周 ⌐ 先 首 宮 ⌐〈Q320〉⌐
大〈Q338〉功 錫 公 敳 王 對 ㄴ 王 ⌐ 揚
太 ⌐ ㄴ 衛 金 吏 ㄴ 揚〈Q325〉乎 用 王
室 王〈Q337〉截 寓 刺〈Q329〉王 ⌐ 史 辟 休
ㄴ 大 ⌐ 緇 呂 且 ⌐ 休 王 年 先 唯
〈Q340〉黹 隹 市 以 來 呈 ㄴ 乎 冊 王 王
⌐ 致 帷 載 三 見 王〈Q326〉乍 易 ㄴ 十
王 ㄴ 王 ㄴ 十 武 對 ⌐ 冊 涉〈Q320〉乂
乎〈Q340〉五〈Q336〉頌 王 瀕 王 尹 冟 ⌐ 九
呼 ⌐ 祀 ⌐ 處 ㄴ 身 才 冊 靳 王 祀
史 王 ㄴ 王 ㄴ〈Q331〉林 在 易 虢 對 ㄴ
參 才〈Q338〉角〈Q335〉⌐ ㄴ 句 瀕 敃 瀕〈Q314〉
冊 在 ⌐ 旂 ⌐ 事〈Q331〉陵 畫 攸 林 ⌐
令 周 王 于 王 武 ⌐ ㄴ 冟 勒 ㄴ 王
命 康 才 手 才 王 曰〈Q326〉靳 ㄴ〈Q321〉在
此 宮 在 ㄴ 在 既 古 ⌐ 乏〈Q325〉⌐ 序
曰 得 周〈Q337〉周 戈 文 王 楚 ⌐ 王 ㄴ
ㄴ 秉 駒 ⌐ ㄴ 殷 王 才 赤 王 才〈Q315〉
〈Q348〉宮 宮 余〈Q335〉ㄴ 初 在 舄 才 在 ⌐
⌐ 旦 ㄴ 埶 ⌐〈Q331〉鑑 奠 ㄴ 在 周 王
王 ㄴ〈Q338〉龔 王 ⌐ 穌 ㄴ〈Q325〉戍 師 才
勛〈Q340〉⌐ 恭 乎 武 于〈Q329〉⌐ 周 录 在
姜 ⌐ 見 王 呼 王 政 ⌐ 瀕 嗣 官 戍
吏 王 于 邮 內 則 ㄴ 用 拜 土 ㄴ 周
便 各 王 恤 史 令〈Q331〉辟 稽 流〈Q321〉ㄴ

內史友員易(錫)戠玄衣」〈3348〉「對䂂(揚)王休」〈3349〉「王唯念

辟剌(烈)考甲公」〈3349〉「王用肇吏(使)乃子戠達(率)虎臣御(禦)淮 淮

戎」〈3349〉「對䂂(揚)王令(命)」〈3362〉「唯王十又八年正月」〈3362〉「佮

家不敢不□寓遾畏王」〈3362〉「小大邦亡敢不□□具逆王命

」〈3417〉「王才(在)蒼上宮」〈3467〉「王命遣債」〈3469〉「王乎尹氏」〈3467〉

「王才(在)蒼」〈3427〉「王子于之用戈」〈3413〉「戉越王州句 句自乍

作用會劍」〈3421〉「王乍姜氏尊簋」〈3452〉「攻敔王夫差自乍

作其元用」〈3453〉「攻吾王夫差自作其元用」〈3496〉「公及王姬曰

」〈3484〉「王才(在)師嗣寓宮大室」〈3473〉「楚王酓章乍曾侯乙宗

肇」〈3493〉「唯王五十又六祀」〈3505〉「王才(在)成周」〈3512〉「周王

孫季 季〈3493〉怠 息孔室」〈3513〉「穆王之子」〈3541〉「益公入右王臣」〈3541〉「王

王各(格)于大室」〈3541〉「王乎內史先冊命王臣」〈3541〉「王臣手

鎗舊首」〈X5417〉「王臣其文寶于」〈X5467〉「主王十又二月」〈X5467〉「王

㓚䋣駒于厩」〈X5467〉「王子吁邵康台盍」〈X5467〉「王親」〈X5467〉「盍曰

王廟下不丕其基」〈X5467〉「王弗望忘氒厥舊宗小子」〈X5817〉「王䜌

駒攸」〈X5487〉「王䜌駒吾」〈X1557〉「告王」〈X6217〉「王下康季寶騰簋」

〈X3697〉「大寶為王會晉鎬」〈X3697〉「秦客王子齊之歲」〈X656〉「郳王義

楚擇其吉金」〈X564〉「郳夌陵君王子申」〈X669〉「王子午擇其吉金

」〈X8127〉「王下作中仲姬寶彝」

作冊大鼎〈2246〉

𣪘〈4090〉

中山王嚳壺〈9286〉 讀爲況

中山王嚳鼎〈2287〉

白川靜曰皇大也乃通訓从自自始也韻會作从自王因爲以會意之字形說之者故蓋當有王字也自上四說文曰鼻也鉉非訓始然方言一三鼻訓始也謂獸之初生下文之今俗以始生子爲鼻子者補足其訓者也始皇者三皇大君也乃說上文自始之義者故段注改字爲三王王以三皇爲始三皇大傳以爲燧人伏羲神農鄭玄皇甫謐以爲伏羲女媧神農大君也說三皇之義段注曰此說字形會意之指并字義訓大之所由來也皇本大君因之凡大皆曰皇假借之法準此矣以大也之訓爲假借義然假借者假聲者也此爲引申義自讀若鼻爲注音與自鼻也之訓不同段注以爲皇字之从自音可疑今俗以下數語

作今俗以作始生子為鼻子是多一作字及是字與方言之謂獸之初生者不同說解之文甚迂曲不似許氏之慎要从韻會之以三皇以下之句為徐鍇語亦可知頗有竄入者六書疏證則取風俗通皇霸篇之光也之訓謂當作光也从自王聲云皇字从王字形全體為象形字也

字因王字之理解方式而其解釋亦各異吳大澂以王形為地中之火故曰

日出土則光大日為君象故三皇稱皇說文古籀補

劉心源之奇觚室吉金文述三·二六亦有其說文源亦同說也淵源則曰

古文蓋从日从土日光照土也日光照土為美為大

亦出於吳說以王字為人君立朝之象形者因而以皇字上部

爲王冠之象代表其說者有汪榮寶之釋皇其大要曰
今以鐘鼎款識所見古文皇字校之形義全不相合頗疑始
王大君之語乃秦人變更古文以後俗學相傳之謬未可以
爲造文之本指也……朱駿聲嘗以王字之起當於夏時而三
皇字及堯典閏月字並已从王爲學者一大疑以余所見則
皇之从王本非古文之舊今按王制云有虞氏皇而祭深衣
而養老夏后氏收而祭燕衣而養老殷人冔而祭縞衣而養
老周人冕而祭玄衣而養老內則文同然則皇者舜時宗廟
之冠與夏之收殷之冔周之冕相當舜推循堯道無所改作
皇之爲服必三五以來相沿之舊制古文皇字即象其形曰
象冠卷川象冠飾士象其架與主之从士爲象鐙足之形同
例鄭注王制云皇冕屬畫羽飾焉畫羽謂染羽五采鄭讀皇

爲鳳皇故以采羽爲說與其注周禮皇邸皇無特義相同余考古文弁作覍與古文皇上形極似明其同出一源則皇之訓冕正其本義不煩破字若皇邸皇舞依先鄭說並翌字之假借與冕屬之皇自是兩事皇之形制經傳無徵據字形推之疑冠飾必丵嶽並出……覍字許書列之皃部云从皃象形段注以爲篆體之川象皮弁之縫中余謂縫中傳著弁體不得簪擢頭上……夫皇之本義爲冠天子服之因以爲天子之稱猶卒之本義爲有題識之衣隸人給事者之所服因以爲隸人之稱也皇之訓爲大爲美爲煌爲中爲光爲君者則又以天子之義展轉紬繹以爲形容者也自書傳習皇爲大而皇之本義晦自小篆皇作自王而皇之本形亦失

此處引用長文者蓋因關於王皇之字釋徐仲舒之垂裳端拱

正坐之象之說及葉玉森之冠形說至今亦有力主之者尤甚是汪氏之論可謂其結果王皇之字釋中此說固難以無視者故也當汪氏說皇字時以皇王二字全無關係而加以區別然此乃由於汪氏立論之便而已兩字本為同系之字从皇字之从王之字形固無懷疑之餘地也汪氏以皇之下部為冠之架形故不取从王之說以兩字無關不過是避開問題而已

以皇為有虞氏之祭冠之說見于禮記王制內則然乃秦漢以來之說也尤其是說四代之禮制者多後世儒家所造卜文不見皇字金文中所見者有皇帝皇上帝皇天皇天王皇天子皇辟君皇王皇天尹以至皇祖皇考皇妣皇示等皆謂美稱競自之白孱父皇競格于官者為與休寵之意鐘銘之元鳴孔皇皇皇趣趣則為形容鐘聲之語用為皇冠之意者禮說以外無所

見也

汪說避開以下部之王為人王字之解然字並非形聲相合之構造字之全體應解為象形也汪氏以王形為架形然冠之字形兒皃合臺架實不可能冕皃皆作戴于頭上之形皇字蓋為于作為王之禮器之鉞上加上玉飾之象形字也鉞之刃部中央多有嵌入圓形之玉者又一般之銅兵在内或銎首把手之部分亦多有加上美麗之玉飾者施玉飾等于鉞以增加其光華之象者蓋即皇也本為神器故用之于神靈又至於用於皇考皇王者也其初義之用法皆為形容詞相對於王之為名詞皇為形容詞者乃以鉞之玉飾之輝煌之意生出者也風俗通皇霸篇作皇光也王國維以為日光放射之形說文筆記然蓋為鉞之玉飾之象也皇為後起之字故其所从之王字已多失其初

形皇字亦難以象其原物之形然其上部與晉公盦虩虩在上叔夷鐘虩虩成唐之虩虩之所以相同皆指靈光之赫耀也說文新義第一卷八七一九〇頁林潔明譯

d,e 白川靜曰皇天尹大保指上文之公束也文選曰

吳北江先生曰皇天尹大保者言太保乃天所命之尹猶言天吏天牧謂召公之德格于皇天也

文錄中則僅作者曰天牧天吏爾召公乃書所見之君奭周初時年歲已高佐周克殷甚有威望且其族在殷代時已被稱為西史召具有宗教性傳統者故其族稱為大保召公本人則被尊稱為皇天尹大保書顧命中主持新君即位之禮皆因此也

g 白川靜曰：皇麻朔以為皇兢為人名，賜者與受賜者皆謂格於某處，無此種文例也。大系以皇為衡之假借曰：

皇字在此當是動詞，以文義及聲類推之，當即假為衡，謂提舉也。

亦陷於同樣之誤。積微居中批評文錄訓皇為覭之說，而以字為手之假借，而試圖解釋之曰：

吳闓生以佰辟文皇兢五字為句，各于官三字為句，云皇有嘉美之義，與覭字同。按吳說不成文理，說亦不可通，其誤不待言矣。余謂皇字如字讀之，文自難通，以聲求之，蓋手之假借也。呼召之字金文皆作手，古乎皇在唐部，手在模部，二部

爲對轉故得相通各與格同……由辟父皇競各于官謂伯辟父乎競至于官署也言此者以起下文萬曆賞章之事也詩魯頌閟宮云遂荒大東荒爾雅釋詁郭注引作幠禮記投壺云無幠無敖幠大戴禮投壺篇作荒皇與荒乎與幠古音並同荒可通作幠知皇可假爲乎矣

此說疏通文意甚力然不用常用之乎字而假借之皇乃難以想像之事又亦無呼而格之語例與郭氏之訓作携之解無大差别之説也皇在金文中作爲天子父祖之美稱而雖用之又用于形容鐘聲之美作爲形容鐘聲之美則如皇皇趣趣䟢䟢趣趣雝雝孔煌元鳴孔皇等有从光从火作者其聲義與光最近光亦用爲動詞如令彝敢追明公賞于父丁用光父丁麥尊辟井侯光厥正吏䴭于麥宮易金麥盉井侯光厥吏麥䴭于麥

宦侯易麥金守宮尊(1)師光守宮使儔等皆其例也皆在事功既成行賞賜時之語也以此言之此皇字蓋為賞競之戒守南夷之功之意也白辟父皇競者與周師光守宮同一語例也(金文通釋第十七輯一五八—一五九頁八七競卣林潔明譯)<232>

加藤常賢曰(5)皇 皇 皇 皇 金文 皇 篆文 皇 古文

關於此字自說文以來無令人首肯之解釋異大激操

皇之古文作皇从日之光日出土上則光大也(字說)

之說余則不取也寧以注榮寶之引禮王制內則篇曰

今按王制云有虞代皇而祭……夏后代收而祭……殷人

冔而祭……周人冕而祭內則文同然則皇者舜時宗廟之

冠與夏之收殷之冔周之冕相當……古文皇字即象其形

四象冠卷川象冠飾士象其架：：皇之訓冕正其本義釋

皇（國學季刊第一冊及說文詁林皇字下所引）

尚有依據原來冒之形，又寫作古古字在古代乃魁頭也冠之

而成為鬼神也，因乃如冠乃冠戴之物，故為冕之屬（王制鄭注

然並非冕乃魁頭也。○為魁頭之形，以為魁頭上之毛髮將之

安置於架上者皇字也。魁頭甚大自不必說乃如喇嘛之打鬼

之鬼頭也在古代此為神像也神也金文之第二第三字从王

已變成聲符，此形及於篆文，故歸結而言，王為大斧之形，故此

字有大意，此一解釋出於說文之說解，故今述結論如次

字形，象魁頭於架上之象形字也。

字音，胡光切，此音表示大之意，

字義，大魁頭，大神也（漢字之起源三二三—三二四頁，林潔明譯）

饒宗頤曰：「皇者，鐘銘每見『元鳴孔皇』習語，舉之如下

中翰叡且揚，元鳴孔皇，其音池池，龢聞于四方。（徐王子旃鐘，錄遺四）

中翰叡揚，元鳴孔皇，孔嘉元成……和逾百生（姓），皇皇熙熙，眉壽無期。（沇兒鐘）

中翰叡揚，元鳴孔皇……煌煌趣趣，萬年無諆。（王孫遺者鐘）

自作鈴鐘，中翰叡揚，元鳴孔煌，穆穆龢鐘，用宴以喜……數數趣趣，萬年無諆。（許子鐘）

由上可見鐘銘常用皇字來形容聲音，或迭用曰皇皇，字亦作煌。詩執競「鐘鼓鍠鍠」，爾雅釋訓「鍠鍠，樂也」。釋文本作韹韹，說文「鍠，鐘聲也」。故知重鏞」皇即取大鐘之聲為義，其加副詞曰孔皇者，墨子非樂上「嗚呼舞佯佯（洋洋），黃言孔章，上帝弗常，九有以亡」，孔皇與孔章之例相同，重皇之為律名取義殆如此。」（文物

一九八一年第五期七六—七七頁說竟皇·皇定君與皇皇曾

侯乙鐘「是為皇皇」）

張政烺曰「皇，大，讀為功。皇工蓋指伐燕之役。」（古文字研究第二一頁「中山王嚳壺及鼎銘考釋」壺銘「邵大皇工功」）〈2186〉

張政烺曰「皇讀為況。」（古文字研究第二二四頁「中山王嚳壺及鼎銘考釋」鼎銘「而皇況才在於孥少君乎」）〈2189〉

趙誠曰「皇用為況。《尚書大傳》「皇于聽獄乎」注「猶況也。」（古文字研究第二五四頁「中山壺中山鼎銘文試釋」鼎銘「而皇況在於孥少君虖」）〈2287〉

〈又8〉「對揚朕皇君休」〈又22〉「肩生皇畫內」〈又4〉「朕皇考叔旅魚

父寶簋皇降多福無」〈又141〉「用敢饗孝皇且祖考」〈又151〉「用乍作

朕皇考弔（叔）碩父䵼（尊）鼎」〈Q159〉「用敢鄉孝于皇且考」〈Q188〉「揚

中皇乍寶鼎」〈Q200〉「用高孝皇祖文考」〈Q222〉「㪚車父乍皇母

大師姜寶壺」〈Q240〉「廿六年奠命肖距司𢦔（寇）彭璋坐庫工頁

皇侄冶痞」〈Q241〉「十七年奠命埶恒司𢦔（寇）彭璋武庫工币皇

肖冶猾」〈Q279〉「㚔（嗣）其用追孝于其皇考」〈Q286〉「卲大（文）皇工（功）」〈Q286〉

「佳（唯）朕皇祖文武」〈Q287〉「雨皇沈（沇）才（在）於学少君摩（庫）乎」〈Q290〉「

用配皇天」〈Q290〉「皇文剌（烈）且（祖）考，用康惠朕」〈Q290〉「帝大書（旅）

令（命）龢縺𪔛（周）皇」〈Q292〉「余豶併皇辟侯」〈Q292〉「乍（作）朕皇考𠟭障

」佳（唯）用□康令于皇辟侯」〈Q298〉「臣朕皇考穆穆王」〈Q295〉「休

白（伯）大師肩𪔰（嗣）臣皇辟」〈Q298〉「用臣皇辟」〈Q298〉「𫝀孫子一臣（品）

皇辟𤋮（懿）德」〈Q299〉「朕皇考德叔大𦥑（林）鐘」〈Q304〉「用作朕皇祖

㡁（應）侯大林鐘」〈Q320〉「穎皇且考𤔲威義」〈Q321〉「用乍皇且（祖）文考

亯壐」〈334〉「皇王對厥身稱」〈335〉「皇考□公龢鐘」〈333〉「弋

皇日古高對爾剌嚴才在上」〈334〉〈335〉「用乍作朕皇考□公障尊鼎

」〈X496〉「卲合皇天」〈X496〉「以匽皇公」〈X496〉「用享用孝于朕皇考

」〈X496〉「休朕皇君弗醒志厥寶臣」〈X524〉「番中仲乍作白伯皇

止之造之」〈X540〉「白伯梡盧肇乍作皇考剌公尊段」〈X540〉「楚皇

盝身」〈X664〉「㠯祀皇祖」〈X669〉「用享以孝于我皇且祖文考」



唐蘭曰「詩經靈台說『於樂辟廱』是文王作豐邑時有辟廱。又文王有聲說『鎬京辟廱』又『宅是鎬京』是『武王成之』，可見鎬京又有辟廱。這裏所說的是鎬京的辟廱，也就是鎬京辟廱。辟廱之名在金文中僅見此銘，辟字作璧，白虎通辟廱說『辟者璧也，象璧圓，又以法天，於廱則像教化流行也』，又說『何以知有水也，詩曰思樂泮水，薄采其茆，詩訓曰水圓如璧』，可見辟廱的池子是圓的，象玉璧的形狀，辟廱的建築是在池中央的陸地上，即璧孔處。毛詩靈臺正義引許慎五經異義『左氏說，天子靈臺在太廟之中，壅之靈詔謂之辟廱，鄭玄駁異義詔為『辟廱及三靈皆同處在郊』說『眾家之說，各不昭哲，雖然，於郊差近之耳，在廟則遠

矣」按此銘上說「迨葬京彭祀」緊接著說「雩若翌日，在辟雍」，可見辟雍是和太廟在一起，所以祭之明日復祭，可以在這裏。五經異義又引韓詩說「辟雍者天子之學……所以教天下，春射秋饗尊事三老五更」。續漢書禮儀志「明帝率群臣躬養三老五更於辟雍，行大射之禮」。此銘下文說「王乘于舟，為大豐，王射大龏禽」那麼，辟雍確是可以舉行饗禮和射禮的場所，韓詩的說法是有一定根據的。（古文字研究第二輯五九頁，論周昭王時代的青銅器銘刻，上編二七作冊麥尊「才璧雍」）〈大9〉

[glyph]a 環 壽生盨 不从玉 睘字重見<1387>

[glyph]b 師遽方彝<2443>

[glyph]c 毛公<0687>

b 白川靜曰環璋愙齋等釋作環璋綴遺詳論其制又大系以為瓚章積微以為環瑑同聲即瑑璋云記賜玉器之銘中目尹姞鼎之玉五品噩侯鼎之玉五瑴卯段之瓚章四瑴一為首左傳莊十八年亦有玉五瑴數目皆為五陳氏斷代以此為玉五品四種論其品目曰

王命作器者宥嘉其勤勉故命宰利錫之玉五品共為四種

一說文曰瑁諸侯執圭朝天子天子執玉以冒之似犁冠周禮曰天子執瑁四寸从玉冒冒亦聲古文从玉从目此器从玉从面面目義通面冒聲通二圭與瑁相配為一瑴即一副

三說文曰環璧也肉好若一謂之環此器省目四說文曰半

圭為璋

五品共為二組每組則各以二種成一瑴五品為五瑴共玉五副十件一二各一件三四各四件

由此可知上文第六八器尹姞鼎天君錫尹姞的玉五品同于此器的五品𤨏侯御方鼎王命御方宥西錫之玉五瑴同于于此器的玉五副五副玉謂之一區爾雅釋器云玉十謂之區郭璞注云雙玉為瑴五瑴為區郭璞注西山經曰雙玉為瑴半瑴為隻而說文以為二玉相合為一玨(即瑴)由此器可知玉一瑴並不是一雙或一對相同的玉而是一副不同的玉卯𣪘曰贊章四瑴一四字補在旁此應讀為瓚與璋四字玉一副合為五器敔𣪘師詢𣪘和毛公鼎的圭贊亦應(勿)讀為圭與瓚瓚是與圭相將之器

陳氏於此以為瑁與圭為一副環與璋各四副然瑁環兩字之釋於字有問題又以圭與瑁相配為一㲄亦有疑問稱為十五者據凌純聲氏之中國古代瑞玉的研究（民族學研究所集刊十一，一九六五）有鎮圭桓圭躬圭珍圭穀圭冒圭等十五種然本銘之瑁圭相當於何者則不明又環章為以袁之字然此乃祼鬯之器不必一定為一副者也環章與單稱章者似為不同之物據金文之例其間自有區別今舉金文數例

A. 宜侯夨𣪘　易𩰪鬯一卣商瓚一

庚贏鼎　衣事……王蔑庚贏曆易瓚𠃬貝十朋

𢽾𣪘　王蔑𢽾曆使尹氏受贅𢽾圭瓚□貝五十朋

卯𣪘　易瓚章四㲄一宗彝一將寶

師詢𣪘　易女秬鬯一卣圭瓚夷允三百人

毛公鼎　易女秬鬯一卣鄭圭瓚寶

B. 競卣　競蔑曆賞競章

史頌段　令史頌省蘇……蘇賓章馬四匹吉金

頌鼎　頌拜稽首受命冊佩以出反入堇章

大段　嬰賓豕章帛束大賓豕訊章馬兩賓嬰訊章帛束

瓌章似與A群之諸器中稱作商瓚瓚章圭瓚鄭圭瓚賣瓚者同為一類之器多與秬鬯合賜陳氏以右列諸器中之圭瓚為不同之器然宜侯夨段斷代一六五一條下則以圭瓚為一器以為祼將之具也瓚章之賜與中多不言圭以此觀之圭瓚璋瓚各為一器也詩旱麓箋曰圭瓚之狀以圭為柄黃金為勺青金為外朱中央矣周禮典瑞鄭眾注亦記圭頭之挹鬯而可祼祭者曰

瓚此乃見于殷周遺物中之乜柶之類也。凌純聲氏之乜匙與醴柶考（民族學研究所集刊一二·一九六一）中有器之集成而論其器制用途乜柶之類，从其用途形狀觀之大體分為牲乜、飯乜、醴柶，本器之環章四即殷之高章四等，蓋為周于饗醴之際之乜柶之屬也。相對于此之B群之章則無與秬鬯相伴而多與馬兩帛束之類合賜，此蓋為周禮典瑞中之圭璋璧琮之類所以造贈賓客者也。故B群之器銘概不用賜與之表現方式而曰賓少貴賓章與馬匹等合贈，而因其與饗醴祼鬯為不同之禮故也。瑂圭環章等雖不知其相當於殷周遺物之何種，然以圭章于祼禮酬酢等事之次第據書顧命可知其大體。

顧命乃記成王崩康王即位之大禮者也，為記述當時之繼體承統之禮之重要文獻。王國維曰後世得考周室一代之大典

者惟此篇而已顧命曰

王麻冕黼裳由賓階隮卿士邦君麻冕蟻裳入即位大保大史大宗皆麻冕彤裳大保承介圭上宗奉同瑁由阼階隮大史秉書由賓階隮御王册命曰……王再拜興荅曰……乃受同瑁王三宿三祭三咤上宗曰饗大保受同降盥以異同秉璋以酢授宗人同拜王荅拜大保受同祭嚌宅授宗人同拜王荅拜大保降收……賓稱奉圭兼幣曰一二臣衛敢執壤奠皆再拜稽首王……荅拜

據右文則同瑁璋皆為祼醴時作匕柶之用者三宿三祭三咤者宿為徐行而進之意咤為奠爵酒也同瑁似與本器之瑁圭為同種之物環璋者蓋為有把手之飾之銅柶之類也又以異同秉璋以酢之秉因秉璋時用執為動詞故秉恐為乘字之譌

蓋謂以乘璋酬酢之意也。若為乘字則與金文中所云瓌璋四之數目一致，在祼醴中用同瑁一器及章四器者也。陳氏以玉器五品五副一區十件而解此銘，以為述賜與作為秬鬯與祼醴之具之圭章之說，自不適當也。可探知圭章之用而又最可信賴之資料乃顧命之文。據之則圭章為祼醴之器，金文之圭[illegible][illegible]章者是也」（金文通釋第十九輯二九八－三〇二頁，九」

師遽方彝 林潔明譯 (2463)

0042 璋

章 a 璋 不从玉

㞢盖章字重見 4140

璋 a

子璋 4141

陳璋壺 〈2825〉

陳夢家曰：此壺是戰國中期重要銅器之一。一九四五年因到費城曾取出原器詳加審視，因知舊日拓本主字缺去上面一點，遂誤以為王字。陳璋之璋從玉從章，郭氏讀以為騂字，因稱此器為陳騂壺，亳邦之亳在照片與拓本上不十分顯明，原器確是亳字，因此數字的確定，而使田齊攻燕的史實和年代賴以確定。此銘之主指齊宣王。顧炎武日知錄卷二四據左傳昭二十九年齊侯使高張來唁公稱主君，謂卿大夫春秋時稱主，但左傳的編纂當在戰國時，故其稱主只可以推證戰國諸侯稱主。左傳昭元、昭廿八、定十四、哀二十、哀廿七和戰國策魏策皆稱趙魏智之主為主或主君。

注王五年不是周王五年，而是作器者陳璋之主之五年，乃是齊宣王五年，周赧王元年。是年秦魏攻韓，敗之岸門，齊師乘諸國戰疲，命章子襲燕。齊破燕事，世有異說，我們在六國紀年卷貳節曾加考定，以為當在宣王五年。戰國策燕策曰「孟軻謂齊宣王曰：今伐燕，此文武之時，不可失也。王因令章子將五都之兵，以因北地之衆以伐燕，士卒不戰，城門不閉，燕王噲死，齊大勝燕，子之亡」。孟子梁惠王下曰「齊人伐燕勝之，宣王問曰，……以萬乘之國伐萬乘之國，五旬而舉之……」齊策則曰「齊因起兵攻燕，三十日而舉燕國」。據此銘所載，則在宣王五年孟冬之月。伐燕的主將，此器稱陳璋，即齊策的章子，亦即秦策「趙且與秦伐齊，齊懼，令田章以陽武合于趙，而以順子為質」之田章，孟子離婁下所謂匡章，通國皆稱不孝焉，亦稱章子，即此人。始用

事于齊威王時。齊策曰「秦假道韓魏以攻齊，齊威王使章子將而應之，齊兵大勝」，徐州之會，章子、貴惠施，見呂氏春秋愛類篇，其人歷事威宣二王，與惠施、孟軻同時。

此器為田章入伐燕都亳邦之所獲壺，為燕人之器，孟子所謂「毀其家廟，遷其重器」。亳邦是入燕。左傳昭公九年「武王克商，……肅慎燕亳吾北土也」

陳旱和子禾子釜的陳具當是一人，前曾以為是田居即田居思，田臣思，或田忌，尚待詳考

由上考定，此器銘文刻于公元前三一四年（殷周青銅器分類圖錄 七七 陳璋壺「陳璋內伐匽亳邦之獲」）〈2825〉B

周法高曰「陳璋壺」兩考二二〇頁作陳騂壺，容庚商周彝器通考上冊四四七頁作騂方壺，沿兩考之釋文，但於三訂金文

編中則作陳璋壺蓋，闕陳夢家說而改正。惟未纂羨文。余於金文詁林中編為〈2825〉號，陳氏圖錄亦收入三代吉金文存補中編為R433號，陳氏有摹本，今據以摹入本書」

〈又239〉「十五年奠命肖距司寇彭璋右庫工師陘至冶贛」〈又240〉「十六年奠命肖距司寇彭璋坐庫工币皇佳冶瘖」〈又241〉「十七年奠命塗恆司寇彭璋武庫工币皇[illegible]冶[illegible]」

瑁[a] 瑁 汗簡作 [illegible]

師遽方彝 瑁圭一 (0443)

a 白川靜曰 瑁圭之字釋異說甚多容庚以瑁之右旁為夔龔華則以為于匚中加貝之形謂音頃與瓊同音即周禮大宗伯之躬圭也郭氏則以之為琬圭曰

瑁字从玉面聲與琬音相近琬圭圭之圓刻上者也

然皆為以音之假借釋之者綴遺釋字為瑁引冬官玉人天子執冒四寸以朝諸侯積微居則非其說以面與縵通無文之義也曰

瑁圭蓋謂無文飾之圭與下文瓌璋為有文飾者義正相反

云（金文通釋第十九輯二九八頁九九師遽方彝林潔明譯）(0443)

a 由 琱 不从玉

㝬妃簋 戈琱 周字重見〈1364〉

c 琱 師嫠簋〈1388〉

琱 訇簋〈文5〉

〈文1〉「戈彤沙𨱼琱㦸」〈文5〉「戈琱㦸緱必彤沙」〈文22〉「戈琱㦸䋣必

彤沙」〈文133〉「赤舄戈琱㦸彤沙鋚攸勒」〈文150〉「琱生作文考宮

中（仲）𨻰鬴」「琱生其萬年子子孫孫永寶用享」〈文300〉「訇司琱

宮」

⿱化土

⿱化土 說文所無

三年𤼈壺〈9326〉

于豪亮曰「⿱化土俎的⿱化土字為字書所無，此字從化得聲，當以音近讀為鵝，因為化字與鵝字同為歌部字，兩者可以通假。在古代不僅牲殺和魚類的肉可以登于俎，就是鳥類的肉也是要登于俎的，左傳隱公五年，鳥獸之肉不登于俎，皮革齒牙骨角毛羽不登于器，則公不射。注：俎，祭宗廟器，切肉之薦亦曰俎。既然鳥類的肉可以登于俎，那麼把⿱化土俎讀爲鵝俎也還是妥當的。」（中國語文研究第二期四九頁說俎字）

周法高曰「〈9777〉右角壺一「四斗治客四斗廿三豕盤」〈9799〉右角壺三「四斗治客四斗廿二犬盤」豕盤並從，或與三年𤼈壺「[illegible]俎」「⿱化土俎」

並稱相似然則笙與竽盖其同字歟

班
郛公孫班鎛〈0043〉
班 班
班簋〈大6〉

黃盛璋曰「過去由於上引那十個字未能通讀、所以劉介源、于省吾、楊樹達和唐蘭先生都認為作器者班和毛公為一人、理由是穆天子傳恰有毛班與毛公、是穆王左右重臣、問題在於、(一)既然「公告厥事于上(曰)」云云、下文何以忽然又說「班拜稽首曰」云云、很難講通、(二)「班拜稽首曰」歌頌「皇公」功德那一段話、完全符合銘文所記毛公之事、如班即毛公、此段原和上文完全聯成一氣、本好理解、現在卻是毫無關係的話、實為不可理解。(三)作器者自稱為班、而前後卻又自稱為毛公或公、不管怎樣解釋、也是很難講通順的、如果採取上節的斷讀和解釋、這些地方不僅能完全講通、而且作器者班和毛公的關係也比較清

楚

首先、班與毛公不是一人，所以自稱為班，稱毛公為公，毛公、班原在城，不在宗周，所以王遣人令他從毛公出征，後來毛公班師屯陟時，派他告功於上，所以「班拜稽首」並歌頌毛公一番功德，脈絡完全清楚，毫無阻隔之處。

第二，毛公是班的父輩，這有下列兩方面證明。

(一)銘文「遣令曰，以乃族從父征，出城衛父身」，遣令是派人告令之意，唐先生解釋是正確的。時班在城，故王遣人命令他「出城衛父身」，兩父字均指毛公，故班與毛公的關係，銘文實已指明。王令是伯與呂伯都是以乃𠂤(師)左、右比毛父，惟獨遣令班「以乃族從父征」，這也證明班與毛公同族，應是毛公的子輩，所以王令他率領其族作為毛公的近衛軍，「從父征」，保衛父身、毛公

應是班的諸父。

(二)班歌頌毛公功德第一句就是「丕杯丮皇公」，丮是第一身代詞，又見於徐王子鐘（金索一、26），「以樂嘉賓、及丮友生」，陳夢家謂本銘之「丮」義與厥、其相似，乃領格第三人稱代詞，並舉此鐘為證（考古學報一九五五年十冊七三頁）案：邾公華鐘「用樂我嘉賓、及我正卿」，齊陶氏鐘「用樂嘉賓、及我朋友」，許子鐘「用樂嘉賓及我朋友」，皆與徐王子鐘句法相同，可見丮等於我，丕杯義同丕顯，金文中的丕顯後跟有皇字用法有如表一，從表中所列可見凡稱丕顯皇者，非其考即其祖，所以「丕杯丮皇公」至少是稱其父輩。

表一

丕顯皇考寬公	師望鼎

考	
丕顯皇考惠叔	伊簋
丕顯文祖皇考	虢叔旅鐘及編鐘
丕顯考文王	
丕顯皇祖剌考	單伯鐘

祖	
丕顯朕皇祖	秦公鐘及秦公簋.
丕顯皇祖	叔夷鐘

銘文最後有「班非敢覓，惟作卲(昭)考爽，益曰大政」，古初以考妣稱父母，考假指亡父，恐是後代文人所定。尚書康誥「子弗祗服厥父事，大傷厥考心」，又大誥「若考作室，既底法，厥子乃弗肯堂，矧肯構，厥父菑，厥子乃弗肯播，矧肯獲」，考、父並舉，並無生死之別，旅鼎「文考遺寶責，弗敢喪，旅用作父戊寶尊彝」(三代 3.34.3)。此文考亦為生父而不是亡父之證，又妣後代仍兼生死區別

都可為證銘文既前稱皇公後又稱昭考兩者關係是否為一人從銘文本身難予斷定而殷代諸父稱父仍存周初臣辰各器銘既著「父癸」又著「父己」可證毛公為班之諸父那麼即使為其昭考作祭器亦無抵牾（以上一節作器者班）

銘文中班為毛公子輩所以穆王説全失依據

周公毛公之後都可稱周公毛公文獻與金文所見甚多毛公與毛班都是文王的後孫那麼班後來成為穆王左右近臣亦稱毛公是合乎事理的所以可以認為班即穆天子傳中的毛班毛公只是作班簋的時候周室重臣是他父輩毛公他最初還在城並不在王的左右所以班簋中的王至少比穆王早一個王世

成王時代伐東夷主帥為周公次有召公時間又二年對象為薄

姑、豐伯「殷東國五侯」等，本銘所記主師爲毛公，次有吴伯、呂伯，對象爲「東國痛戎」，時間爲三年，兩者全不相同，所以不是同一戰役，應在它以後。

史記、周本紀說「成康之際，天下安寧，刑措四十餘年不用」，竹書紀年也有同樣的文字，而左傳昭二十六年也有「昔武王克殷，成王靖四方，康王息民」，這是周王子朝自述家史遍告諸侯的話，時去西周不遠，成康之際，特別康王前、中期都没有用兵，看來可信，但是從康王晚期起，天下又開始不安寧了，所以刑措四十餘年之後，又不得不開始用兵，最主要的證據就是小盂鼎所記康王二十五年伐鬼方之役，所以本銘所記「伐東國痛戎」不得早於康王晚期，下限不得晚於昭王，究竟屬於康王晚期還是屬昭王，從銘文本身還很難下結論，但是聯繫相關的

銅器和歷史事實分析研究，我們認為應屬於昭王前期，一來從毛班比毛公晚一輩的情況推算，穆王的上一世就是昭王，二來，康王二十五年北方鬼方的征伐，僅是不安寧的開始，而且根據小盂鼎，周王朝還是以大俘大捷而告終的，真正多事之秋乃在昭王時代，而且周王朝征伐的效果一次比一次差，昭王從十六年到十九年先後兩次南征荊楚，說明形勢是比較嚴重的，最後一次以王溺死漢江而告終，周王室並未獲得勝利。其他一次當然也是如此，否則就用不著昭王再次親自出馬了。本銘雖然說「三年靜東國」，還說什麼「亡不成肬天畏咸否畀」，那完全是空話，並未記任何實質性的戰績和戰利品，像小盂鼎那樣，如果要有，在長達一百九十餘字的銘文中是不會放過宣揚的機會的。花了三年時間並不算短，看來這次東

國的反叛也是比較嚴重的，而征伐的結果雖然不像昭王晚期那樣，但也絕不能像康王二十五年北伐鬼方那樣大俘大捷。所以我們把「伐東國痛戎」和班簋的[illegible]作年代訂為昭王早期比置於康王晚期要有證據一些。（以上一節「時代與史實」）（考古與文物一九八一年第一期，七七—七八頁，班簋的年代、地理與歷史問題

唐蘭曰：「清代劉心源（古文審卷五）根據今本竹書紀年『穆王十二年毛公班、共公利、逢公固帥師伐犬戎』說：『據帝王年表推之，成王四年伐淮夷，至穆王十二年，計百二十有三年，毛公班於成王時尚未生也。』于省吾穆天子傳新證（考古社刊第六期）楊樹達積微居金文說都根據穆天子傳認為做班簋的人就是周穆王時的毛公和毛班，

陳夢家反對穆王說，認為劉、于、楊三人全不顧此器的形制、花紋以及銘文的史實……

由於毛伯班的稱為毛父或父，我們可以斷定班簋的制作相當於昭王、穆王時代，但它究竟應該在什麼時候呢？我認為劉心源等認為班就是穆王時的毛班是很對的（劉心源引今本竹書紀年不知道是僞書，于省吾、楊樹達都根據穆天子傳考古學報一九六二年第一期三七頁又四〇頁，西周銅器斷代中的「康宮」問題）

周法高曰：班簋原見西清古鑑卷十三頁十二—十四，後又發現原器殘片見郭氏班簋的再發現，文物一九七二年第九期一二—一三頁。關於其時代問題，主周穆王說者有劉心源、于省吾、楊樹達諸家，主成王說者，有郭沫若、陳夢家諸家，黃盛璋說最晚出，以為康昭之

世舊說毛公名班黃[illegible]班為毛公之晚輩尚待論定姑引唐書
二家之說以見一斑。

三[a] 三[b]

气 說文作乞 齊侯壺 洹子孟姜用乞嘉命〈[illegible]〉 三

大豐簋「不(丕)克三(乞)衣(殷)王祀」〈[illegible]〉

白川靜曰：「不克王衣王祀句，愙齋餘論以來讀作『不克三衣王祀』六字為一句，然因其文義難通，諸家其說各異。郭氏之研究曰：

丕克三衣王祀即承上王凡三方而言，殆即祀于天室，衣祀文王事喜上帝之三祀，衣亦讀為禋，精意以享曰禋也。

然在大系中則衣祀改釋為殷王之祀，改以三為三倍之三，曰「言祀典之隆大，能視殷王之祀而三倍之也」。大系新版中更以三為乞訖也，以為乃終止殷王之祀之意，即滅商之意也。又聞一多以禃虎皆相當於殷祀之事，而以此與三祀之數相合。然

省庚並非祭名至為明顯尚有以銘文之不克之不解作乃引書殷庚予丕克羞爾用懷爾然之句然不克正如下文與不顯不赫為對文此句最難解之點乃在於不克之下一字不明也字雖作三之形然與數字之三之字形稍異郭聞二氏皆以為三祀而求其解楊樹達氏亦从讀作三祀之立場求之以為乃三倍於年祀之意也乃祈求王室之永續之意也曰

說者多釋祀為祭祀則與句中數字之三字不相承貫余按爾雅釋天曰夏曰歲商曰祀周曰年唐虞曰載……殷王祀者殷代猶王之年歲也三殷祀謂三倍殷室猶王之年歲也古人以三表多三倍謂多倍也不限于三也此四句言文王之德業在于天上大顯赫赫文王眷顧其子孫大勤力之武王又繼承文王之德業必能使周室保有天下之歲年數倍

於殷室稱王之年代也

揚說不以不克與上文之不顯不肆爲封應之文關於銘文之衣字亦以爲在上文爲衣祀此處則解爲殷室之年祀又單以此句爲祝祷數倍于殷室之命之祝辭等多有不通之處厥朔中則以此處之三衣祀爲武王之一年然亦難以疏通文義

陳夢家氏以爲从文王臨在上至衣王祀止爲述武王克殷之事故以不顯不肆爲作器者美時王即武王之語也不克三衣王祀者武王因文王之護佑以文王爲典型而滅殷也即不克終訖殷王之祀之意也以三爲乞釋作訖也陳氏注意到三方之三與此處三衣之三之字形之異據于省吾釋下文之三爲乞以此與下文相連讀作乞衣王祀即訖殷王祀滅商之意也

郭氏於大系新版亦从其說孫作雲氏亦从之而引書西伯戡

黎天既訖我殷命之句為說……

三陳孫二氏以為相當於卜文之三即乞迄訖字然卜文三劃特別相接金文則作三三與此字形稍異銘文之字三劃並不如卜文之相接今以銘文之結構言之則相對于不顯王作省，不稀王乍庸此處蓋亦應作不競王衣故殷祿非氏以為是王字之變體或壞字而有釋三作王之說余意字恐為王字之脫去中劃者也字形亦與文中之王字極相近金文中亦不免有時有譌誤之事也以此字讀作王則不克王衣與上二句相對應王祀則承上文之王祀于天室為總括此一段之語也(金文通釋第一輯二六一二八頁一大豐殷林潔明譯)

孫稚雛曰：「聞一多曰：『丕有乃義(見經傳釋詞)，丕克乞之丕當訓乃，書盤庚予丕克羞爾用懷爾然，丕克連用與此同

不克下一字，舊多釋「三」，「不克三衣王祀」究竟是什麼意思，考釋者各異其說。

郭鼎堂大豐殷韻讀說：「丕克三衣王祀即承上王凡三方而言，殆即祀于天室，衣祀文王，事喜上帝之三祀。衣亦讀為禋，精意以享曰禋。」大系考釋將「衣王」改讀為「殷王」。三版大系考釋加眉批曰：「不克下一字原銘作三，與上三方三字有別，彼二劃等長，此中劃特短。陳夢家釋為乞，可從。乞讀為訖，謂終止也。」

聞一多以為「循賡皆指殷祀言。二句連下不(丕)克三衣(殷)王祀讀，猶言王一祀再祀以至三祀也。」

楊樹達曰：「丕克三衣(殷)王祀說者多釋祀為祭祀，則與句中數字之三字不相承貫。余按：爾雅釋天曰：夏曰歲，商曰祀，周曰年，唐虞曰載。宣公三年左傳曰：桀有昏德，鼎遷於商，載祀六百。是

此文祀字之義也。殷王祀者，殷代稱王之年歲也。三殷王祀謂三倍殷室稱王之年歲也。古人以三表多，三倍者，多倍也，不限于三也（說詳注中釋三九）。此四句言文王之德業在于天上，大顯赫之文王眷顧其子孫，大勤力之武王又繼承文王之德業，必能使周室保有天下之歲年數倍於殷室稱王之年代也。

吳其昌則以此三衣王祀為武王三年。他說：「此為武王年之[illegible]所以知者，此銘云，王衣祀于王丕顯考文王。既王之丕顯考文王，則此王為武王，明確甚矣。衣祀者，商代之祭名也。洛誥云：肇稱殷禮，祀于新邑（中略）作元祀。殷禮即衣祀也。肇稱者，謂之元祀，則知衣祀乃每年一舉，故周初以元祀二祀三祀……為紀年之文矣。此殷銘云：丕克三衣王祀，是王已丕克三衣祀，故知決在武王之三年矣。在武王三年，故一切典禮，尚沿商制，此亦

其一證矣。至昭王十年之作冊麵卣，則衣已作殷，昭王十一年之臣辰盉，則已作殷矣。此器之在成昭之前，證更厚矣（麻糊疏證四頁）。

陳夢家說：「乞與第一行三才之三，形近而異。三字是等齊平列的三劃，乞字則兩等劃之間一小橫劃。卜辭有此字，于省吾始考定為乞字（殷契駢枝王五五－五八）。讀其文乃悟此殷的乞字非三字。乞衣王祀之祀可有兩種解釋：一釋為歷年，召誥曰我不可不監於有夏，亦不可不監於有殷……有夏服天命惟有歷年……我受天命丕若有夏歷年，式勿替有殷歷年。若如此，先則乞殷王祀為終迄殷王的歷年，亦即終其天命。一釋為祭祀，魯世家封武庚以續殷祀，管蔡世家令微子『以續殷祀』，此謂繼續殷王的祭祀，則迄殷王祀為終迄其祭祀，亦即終其大命」。郭

鼎堂、孫作云皆從其說，孫氏且引書西伯戡黎「天既訖我殷命」為證。

殷滌非則出新解，將此字釋作「王」，他說：這「是王字的變體或壞字」。白川靜從殷氏之說，在「丕克王衣」後斷句，以為與前面的「丕顯王乍省」、「不（丕）𢓊王作庚」相對應，「丕克」就是「不競」的省文（或稱省說）。殷滌非和白川靜都認為「丕克王」是康王，他們的不同之點是，殷將康王看作是與文、武、成並列的先王，而將此器屬之昭王；白川則以為如果並舉，就應說「丕克王乍口」，所以「丕克王」是時王，故將此器定為康王時器（古文字研究第三輯一七四頁－一七五頁，天亡簋銘文匯釋）〈1979〉 即大豐設

商承祚曰：「漢祀三公山碑『和氣不臻』，說文氣『饋客芻米也』……春秋（桓公六年）傳曰『齊人來氣（今本無來字，氣作餼）諸侯』……餼氣

或从「食」，又气「雲气也，象形」，氣气二字形義有別，後以米餼之氣代雲气字，遂增食旁作餼，而以氣作气，以气為乞求字，並省去一筆為乞。甲骨文凡乞求之乞作三，中劃特短，以示與三有所區別。金文洹子孟姜壺「用乞嘉命」，漢憙峄碑「乞拜議郎」，玉篇乞「求也」，廣韻乞「同乞」，漢武梁祠畫象題字丙乞當作乞（古文字研究第五輯二一一頁，石刻篆文編字說「氣」（卷一，第十八頁））

唐蘭曰：「气就是餼字，說文：『氣或作餼，饋客之芻米也』，其實饋牲畜也叫做餼，作册矢令的敢付大概經過伯丁父的戍地，伯丁父是管供賓客芻米牲畜等事的，因而賜矢令簋（古文字研究第二輯八一頁，論周昭王時代的青銅器銘刻五編曲三乍冊矢令簋」戍冀嗣司气（餼）（1179）

士[a]

士 格于卣 王令士 [a]　　㠯 良卣 王令士上

士 遣 归 格于庶 <三〇〉

士 眔史寅 殷于成周 <27/30>

白川静曰[ᵃ]：士事也疊韻之訓說文數始於一終於十从一从十以為一十之會意字也然正如文源所言古十字不作此形與字形不切合之說也……文原从字之訓作事也而推之以為象構作之形與工下同意然士事為音訓與字形無關者也高氏字例曰

按士即筮之初文周初始造象筮籌縱橫之形又見管錄以字从下之古文及从丨曰蓋通下情以達於上者士也然皆為無視於字形之說也古籀篇卷二十八以士與子寸為同意之字說文箋記曰師云易云老婦得其士是士為少年未娶之稱以卜文之牡字从上形為證以推十合一為後起之義也

六書疏證以為士為大之譌字本部所屬壻壯墫三字皆於數義無涉齊太宰歸父盤邾公華鐘之大字字形若其下部平則為士之字形去之上部為子之倒文與篆文之从士作者相同云而論大與士之聲通然字形既不同音韻上亦難通也楊氏述林七二中介紹其故人吳承仕之遺說其說以士事也之事為耕作之事字為以丨插一即地耕作之象也士之音又與菑相同士事菑古音並同云以漢書蒯通傳李奇注東方人以物插地中為事之訓為據然非事之本義士之字形亦非插地之象觀金文之字形可明也

王字條下所引徐仲舒之說則以士為人之端拱而坐之形嚴一萍氏之集釋中國文字第七冊中尚採用其說然金文字形不見人之端坐之象與王皇字相同下部為鉞戚之象也壻壯吉仕等

字皆被認為从此字者也，然其中最保存字之古象形者則為吉字，从吉之字形可察其初形也。吉者載書祝冊之上貫置鉞保持其吉善之象也（二上參考吉字條）故士含有關於兵刑之義，軍事之意為其初義，治士而掌軍律者曰士，與王相同，以斧鉞表示其身分職掌者也。金文中稱為百辟卿士父兄諸士士庶子者，謂構成氏族之核心之戰士階級也。趞鼎銘有嗇官僕射士嚻小大又隣，又牧段銘王若曰牧昔先王既命女乍嗣士，命女辟百寮事乃嚻庶右隣，毋敢不明不中不井，乃作為士師而群台百寮，命以司法為職者也。士之字形作為其職掌之象徵，乃以如斧鉞之兵器之刃部用為禮器者也……（下略）說文新義第一卷一一九—一二〇頁 林潔明譯

乙白川靜曰「士羅氏釋作王，因乃與史吏並舉之人名，歆息讀作士官名，字形亦與土異，士與王之形相似，皆出自斧鉞之象，着也。（金文通釋第七輯三四四－三四五頁三。臣辰卣林潔明譯）」<2730>

<2290>「肄余曰以饒義士△獻民」<2418>「白士△吉父乍作毅尊鼎」<2410>

「隹唯十又二月初士△吉」<2497>「監爵亂士△」<2500>「凡興士△禮甲

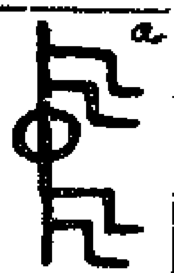
0050A

壯

壯
壯 中山王譽鼎〈X287〉
張政烺曰「《禮記·曲禮》：『人生十年曰幼，學。二十曰弱，冠。三十曰壯，有室。』（古文字研究第二二五頁中山王譽壺及鼎銘考釋「鼎銘」）含今舍余
「方壯」〈X287〉
〈X287〉「含今舍余方壯。」

中

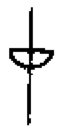
0051



中 中鼎 <0001>



金文以為仲字 令鼎 <0660> 仲



中山王礜壺 <0286>



中斝

赤塚忠曰：「饒宗頤氏指出武丁祖庚祖甲之時期之卜辭有中子之稱

乙酉……貞王賓中子歲亡尤（寧滬三一九四）

乙未卜卯子辟小王不卯子辟中早不（京大一二九四）

辛丑卜大貞㞢歲其征彡（明一一一七）

貞中早俘田于（明續一九二）

相對于大子之中子也卜辭之中子固然有其所指之特定人物然一般亦用作為相對于大子者之稱卜辭乃有關王子者然此處蓋亦準卜辭之例而用於其長之次者也（殷文考釋六三頁中子㠯泓觥（33）林潔明譯）<2745>

白川靜曰[四]⿰鬲犬字左偏之下加口形，殆即獻。獻𣪕中所見之⿰鬲犬，白之⿰鬲犬，⿰鬲犬中陳氏以為乃史臨彝中所見畢公之子即畢仲也。曰

作器者的上司是尹，是人亦即前器（史臨彝）的主賞者，乃畢公之子畢仲。畢公是作冊，故其子襲為尹，尹亦作冊。此銘第二行第六字（即主賞者之名）起初不敢認為中字，因它與金文伯仲之中不同，上畫是平的。及比較前器所論的⿰鬲犬中乍旅盂，其中第一字與此器全同，而中作伯仲之仲，因知中乃中之異體。說文史字解云：从又持中。中，正也。金文小篆史字从中，許慎以為是中正之中，是正確的。王國維釋史以為史所從之中即周禮凡射事飾中舍筭之中，中乃盛筭之器，亦用以盛簡策。對于王氏此說久所致疑，今因此器而可釋然于懷。

以獻為獻餕之獻伯，即畢仲是也。獻白雖已知為畢公之族，然以兩者為同一人，从伯中之異名而言，亦有可疑。陳氏以中與伯仲之中相同，即是史字所从之中，而以說文對史字之解釋為正確者，謂對王國維之釋史有所懷疑，然金文之史字之所從皆作中，並無一作伯仲之中之形者，不過此器銘文之中仍可視為中之異體字。獻中餕中則明顯地為伯仲之仲字。

（金文通釋第九輯五二一——五二二頁五一獻方鼎林潔明譯）

<635>

張政烺曰：仲父，見《史記·范雎傳》：「齊桓公得管夷吾以為仲父」，《呂不韋傳》：「太子政立為王，尊呂不韋為相國，號稱仲父」，正義：「次父也」。（古文字研究第二二〇頁中山王嚳壺及鼎銘考釋壺銘速使其老筴賞中仲父）<2286>

a',b' 于省吾曰「中」字應讀去聲，《管子．四時》的「不中者死」，《穆天子傳》的「其味中麋胃而滑」，注並訓「中」為「合」。（古文字研究第四二頁壽縣蔡侯墓銅器銘文考釋「蔡侯鐘延𠁩𠯑（厥）悳（德）」）〈0054〉

于省吾曰「古文字的通例，伯仲之仲作中，中間之中作𠁩。後世則以仲代中，以中代𠁩，中行而𠁩……

左、𠁩、右（商器三个盉的銘文，青山莊清賞二．五．七）。……

三盉銘文，以左𠁩右為識別。盉為盛酒之器，用以宴享或祭祀，在陳設時自然是橫列——一盉在𠁩，兩盉分列左右。

（甲骨文字釋林卷中第二〇〇—二〇二頁釋中宗祖丁和中宗祖乙）

張秉權曰：中（圖版參拾肆 2.0051，侯東 3044.9木）……這個字當釋為中，應無可疑。中字是象旗幟的形狀，它的右側（有時在左側）有四條彎曲的線條，是象旂的四游隨風飄揚的形狀，所以這種曲線往往是偏向一邊的，但也有極少數的例外，是上下分向兩邊的，這也許就是許慎說文的籀文中作𠁩形之所本。中字在甲骨文及金文中是常見的字，也有作中形的，羅振玉以為有游的中字是中正的中，沒有游的是伯仲的仲（見殷虛書契考釋增訂本中十四頁），但是唐蘭認為那種分別實際上並不存在（見殷虛文字記三十七至四十一頁），我覺得唐氏的說法是對的，因為武丁時代的卜臣中在骨臼刻辭的簽名式中，有時也作中形的（見殷契粹編8片8）。在陶器上的中字也有𠁩與中二種形狀（見殷虛器物甲編陶器圖版陸拾壹3.2），李孝定兄在陶文考釋裏，又解釋了中字的意義（見上引書附錄三三—三三），董彥堂師在一封

給李濟之師的信裏作了更進一步的解釋道：

武丁時貞人有中，又稱小臣中，侯家莊出土銅器大爵杯把上有中字作□（第三次發掘所得）殷文存銅鏡上有中字作□（續上一一）又爵上有中父乙，父辛中，□□（續下三，三一〇）□辛□（續上一一）由此知中為武丁之弟兄輩，父乙即小乙，父辛即小辛也。（同上引書附錄[illegible]）

董先生所指的大爵杯上的那個字也就是這裏所要解釋的中字，不過銘文不在把上，而是在把陰對面的爵壁上，他的解釋極具卓識，但是中任貞人之職恐怕還在祖甲之世。（殷虛出土青銅爵形器之研究八七－八八頁瓿爵兩形銅器銘文考釋一爵形器中爵）

周法高曰：中央研究院歷史語言研究所殷虛發掘所得銅器有銘文者，今據其銘文及器形而定其名，如中爵是也。

〈又3〉「呂以毁於五十乘之中△」〈又4〉「即立位中△廷」〈又11〉「中△友父作寶毁簋」〈又12〉「中△友父作鉇匜」〈又13〉「中△友父作般盤」〈又19〉「

中△義作龢鐘」〈又31〉「遲公入右師旋即位中△廷」〈又51〉「中△仲楙父乍匕永寶用」〈又52〉「𤔲馬井伯親右師瘨入門立中△廷」〈又133〉「即

立位中△廷」〈又141〉「師湯父有𤔲司中△仲枏父乍作寶鬲」〈又150〉「琱生作文考宄中△仲[阝尊]鬲」〈又151〉「入門立中△廷北鄉嚮」〈又159〉「師湯父有司中△枏父作寶毁」〈又188〉「休中△易逋」「揚中△皇乍作寶鼎」

〈又197〉「井白伯㚤白伯尹氏師俗父遣中△」〈又198〉「曾侯中△子斿父自乍作𩱫彝」〈又201〉「曾中△斿父自作寶甫」〈又202〉「曾中△斿父用吉金自乍作寶[阝尊]壺」〈又216〉「飤者月公子土析乍作子中△姜𪔛之般壺」〈又276〉「徒曾

子中△[illegible]用其吉金自乍作旅獻」〈又279〉「曾中△大父𧊒蛕乃用吉攸☐金」

〈Q286〉「中△山王嚳命相邦賈」〈Q286〉「逋使其老筋賞中△仲父」〈Q286〉「
乍叉作簪鐵中△則庶氏臣附」〈Q287〉「中△山王嚳詐作鼎」〈Q289〉「」中△宮
垣」〈Q289〉「萆椁棺棺中△棺椁眡視悉良后」〈Q284〉「从內宮呂以至
中△宮世步」〈Q291〉「膺叔之中仲子平自乍鑄其游鐘」〈Q294〉「余其
宅茲中△或國〈Q296〉「薛子中△仲安乍作旅簠」〈Q297〉「走馬薛中△仲
赤自乍作其簠」〈Q303〉「齊侯乍作朕媵子中△仲姜寶盂」〈Q335〉「立
中△延」〈Q339〉「虢中△〈仲〉令命公臣」〈Q340〉「立中△延仲」〈Q343〉「中△仲旦涿
父乍作僔尊鼎」〈Q344〉譱膳夫旅白伯乍作毛中△仲姬僔尊鼎」〈Q346〉
「旅中△仲乍作鍼諄寶段簋」〈Q347〉「中△仲南父乍作僔尊壺」〈Q362〉
「南中△仲邦父命令駒父段即南者諸侯侯逹帥高父」〈Q369〉「即
立中△延」〈Q464〉「齊侯乍作朕媵子中△仲姜寶盂」〈Q477〉「戕中△仲雩
父乍作旅甗」〈Q483〉「中△仲太師子□為其旅□」〈Q484〉「井白入右毀

PDF 文件使用 "pdfFactory Pro" 试用版本创建 www.fineprint.cn

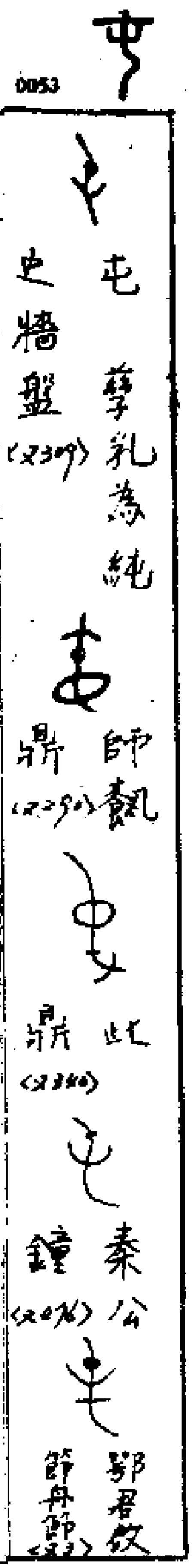
立中仲廷」〈X5117〉「敶陳公子中仲慶自乍作匡簠」〈X5240〉「番中仲乍作白伯皇止之造戈」〈X5517〉「即立位中廷」〈X5417〉「用乍作朕文考

易中仲陴尊段簋」〈X5967〉「余用乍作朕文考大中寶陴彝」〈X3887〉「中」〈X6527〉「唯曾子中謱」〈X6667〉「中仲其父乍旅簋」〈X6627〉「宗中仲

乍尹姞般盤」〈X6637〉「宗中仲乍尹姞匜」〈X6717〉「彭子中擇其吉金」〈X6927〉「王乍作中仲姬寶彝」〈X7017〉「中乍作旅段」

〈X2917〉「仲季善弢𣪘考」〈X3997〉「東仲口父作𣪘段」〈X5187〉「唯侯仲斞

子用」



孫稚雛曰：文物一九七六年四期上發表的有關西周絲織和刺繡的重要發現一文中說「周代的銅器銘文也常有周王賞賜臣工黹屯(純)的記載。黹屯即黹端，二字古音相近，可以通假，所謂黹屯應即黹端或黹黹段，是刺繡製成的一段段的繡料。在注釋中，作者從語言方面論証屯、端古音在文，寒二部，讀音相近。引穆天子傳「錦組百純」郭璞注「匹端名也」，說郭璞已經明言純即端。于省吾先生早有此說，見釋屯，輔仁學志八卷二期八六頁。

按：黹屯一詞見于輔師嫠簋、師𤸫簋、□簋、蓋、師全父鼎、訇簋、南季鼎、頌鼎、頌簋、頌壺、寰鼎、寰盤、善夫山鼎、休盤、無惠鼎等器。考古學報一九五八年二期、文物一九六六年一期、天津文物簡訊六期十三頁，三代卷四．三四頁，新中國的考古收穫五五

1573-45

B10

頁、三代卷四·二四頁、三代卷四·三七至三九頁、卷九·三八至四七頁、卷十三·三十至三十一頁、歷代鐘鼎彝器款識法帖卷十二一一頁、三代卷十七·十八頁、文物一九六五年七期、三代卷十七·十八頁、三代卷四·三四頁。從器銘中可以看出、

(1)周王賞賜服飾車馬兵器給臣下、是為了「用事」。用事者、是用于職事的意思、就是說、這些東西相當于後代的「儀仗」、統治者正是憑借著它在祭祀、朝會出行等等的時候、來顯示自己的等級地位、所以在儀仗服飾之間出現「一段段的綉料」、這在情理上、事實上都很難說通。

(2)從賞賜物的排列來看、衣和韍一般都擺在前面、僅次于祭祀的鬯酒、接著才是兵器、車馬器和鑾旗等、這種排列、是奴隸主階級思想意識的反映、怎麼會在衣和韍之間插入「一段段的綉料」呢、再說「黹屯」一定與「玄衣」連屬、還沒有發現它們之間可以插入其他的語詞、同時、在賞賜物中、衣可以單獨出現、

如玄衣(吳方彝蓋)、戠衣(免簋)等，「黹屯」却沒有發現單獨賞賜的例子，正如戈柲彤沙等一定要依附于戈而未見其單獨賞賜一樣，這說明「黹屯」是附屬于玄衣這一整體的，它不是單獨的「一般般的綉料」。

(3)馬王堆三號墓和一號墓的遣策中，在講到具體衣物時都提到掾(緣)，其質料有素沙(紗)和績，驗証一號墓出土衣物，緣邊的有絹紗和錦等，有人指出，「簡文中的績緣應該就是周禮司几筵職中的績純」(考古一九七五年一期五七頁)說文「緣，衣純也」，廣雅釋詁「純緣也」

所以，黹屯一詞中的屯，還是按照劉心源等一般的說法，讀作純，解釋作緣為好，黹純就是綉緣(中山大學學報一九七九年六〇－六一頁金文釋讀中一些問題的商討「關于黹屯的述」

郭鼎堂曰屯集也。離騷「屯余車其千乘」（文史論集三三六頁關于鄂君啟節的研究）舟節「屯三舟為一舿」〈X2〉

〈X1〉「易錫女汝玄衣黹屯。純」〈X2〉「屯三舟為一舿」〈X3〉「屯十呂以堂當一車」「屯廿呂以堂當一車」〈X5〉「易錫女汝玄衣黹屯。純」〈X151〉「易錫女汝玄衣黹屯。純」〈X133〉「易錫女汝玄衣黹屯。純」〈X298〉」「用乃孔德琢屯。」〈X290〉「易錫女汝玄衣黼屯。純」〈X99〉「用旂祈屯。純魯永令命」〈X300〉「玄衣黹屯。純」「旂旗旂」〈X309〉「䝅德屯。純無諫剌」〈X329〉「受授余屯。純魯」〈X333〉「綽綰𥄉彔屯。純魯」〈X340〉

〈X241〉「黹屯。純」〈X476〉「屯。魯多釐」〈X484〉「內史尹冊易錫玄衣黹屯。」「黹屯。純」〈X298〉「黹且屯。純」

每 <0679>

杞 <0542>

讀為謀　胤嗣𡿦蚉壺

「百每」謀　竺篤　胄迪　亾疆 <9288>

朱德熙裘錫圭曰……現在我們來討論「𡴭」這個字跟戰國時期「每」字「𡴭」的寫法相似，但下半似「女」非「女」，跟「每」字有別，而且釋為「每」銘文也難以讀通。戰國貨幣裏有一種方足布面文作「𡴭一釿」第一字舊來多認為是倒寫的「京」。我們曾根據三體石經「𣪊」字古文作「𡴭」釋為「𣪊」字。長沙帛書B2「𡴭」是胃（謂）李歲……胃（謂）下一字或釋「李」或釋「孛」，都不可信。我們認為也是「𣪊」字。廣雅釋詁三「𣪊，亂也」。帛書上文B1說「日月星辰，亂達其行」，是謂𣪊歲一句是承上文說的，文義正相應。圓壺銘「𡴭」字跟上引幾種「𣪊」字古寫相似，有可能也是「𣪊」字。「𣪊」在圓壺銘文裏似當讀為「僚」。「百僚師之」詩大東「百僚是試」。（文物一九七九年第一期四四頁平山

中山王墓銅器銘文的初步研究

注「帛書殘落及付數編號據Noel Barnard (The Chu Silk Manuscript)」P173.

張政烺曰「每，讀為謀。《說文》「慮難曰謀」，古文从口，每聲，此者口旁。百謀猶百慮，《易．繫辭》：「天下同歸而殊途，一致而百慮」。又「人謀鬼謀，百姓與能」，虞注：「坎為謀」。（古文字研究第二三五頁中山國胤嗣𧊒蛮壺釋文「⿱𤇾子載怨坎百每謀」）(p288)

周法高曰「此字張政烺釋作「每」讀為「謀」，原文句作「昔者先王⿱𤇾子怨百每」，朱德熙、裘錫圭讀為「昔者先王慈愛」句，下二字讀為「百僚」，屬下句讀。張氏讀為「昔者先王載坎百謀」，據爾雅釋言訓坎為詮（見張著「中山國胤嗣𧊒蛮壺釋文」古文字研究二三五頁）按裘朱釋為「𢦏」，讀為「僚」，在語音方面並不切合，當以釋「每」讀「謀」為長，但「百每謀」二字當屬下句讀」

九 白川靜曰：每敢之初文，从事于宗廟之君婦之象生出之字也」
《金文通釋第一輯三三頁一大豐毁林潔明譯》(4379)

乙 萬樹瀛篇「一九六六年秋，木石公社南台大隊社員在取土中發現銅鼎一件，鼎通高二六·五，徑二七糎，侈口，直耳，圓腹，圜底，蹄足，腹飾二道陽弦紋，器內壁鑄銘文四行，二十一字，其中重文一

杞白每刅乍鼄嫞寶鼎，其萬年眉壽，子子孫孫永寶用享

相同銘文的銅器見于大系，郭氏論為每亡即杞國的謀娶公當在西周厲王時」《文物一九七八年第四期九四頁山東滕縣出土杞薛銅器·杞白每刅鼎》(542)

參卷五0580 簋字條孫稚雛說

<2161>「每」<2288>「纾慈忞愛百每謀」



a



熏 孳乳为纁尔雅释器三染谓之纁 吴方彝虎冟纁裹〈0044〉

〈文98〉「□□熏裹」

c



毛公鼎〈0168〉


[a]

莊 从爿从𠙵

宋莊公之孫趨亥鼎〈0593〉

白川靜曰莊嚴之意之初文蓋即金文所見之苗也毛公鼎銘有隹天苗集厥命字為將大之意又號季子白盤苗字上下互易用如苗武于戎工苗武壯武之意也兩器之字之用義有難以釋作將壯字者概相當於莊之義也其字亦見于宋器之趨亥鼎金文集四一八字以爿為偏旁字从由凵為宋莊公之孫趨亥自銘之器莊公與魯桓公同時故知當時莊字用此字形莊為後起之形聲字也金文之字形由為祭祀者之禮冠之象爿為尸前之意或為聲符雖不明確然字从凵趨亥鼎之字形為加上祝告之義者故有齊莊祇敬之意其字又用於古璽傳古文之字體或為其訛形亦未可知潘乘傳之通正中舉妝莊通用

之例而以妝為本字以莊為通用之字者難以認為是得莊字之本義者也。說文新義第一卷一四○頁 林潔明譔

周法高曰：白川氏引毛公鼎(0680)及虢季子白盤(0610)，參卷十二

1634 [illegible]，容氏以為說文所無。



蓼

嬰土父鬲〈8215〉

齊文濤曰「無惠鼎蓼字作□，與此字中間部份相似，故應隸定為蓼，即蓼字之繁體。蓼古代小國，在今固始霍邱一帶，公元前六二二年為楚所滅。「左傳・文公五年」「冬，楚子燮滅蓼」。（文物一九七二年五期十頁概述近年來山東出土的商周青銅器・嬰土父鬲）〈8215〉。

周法高曰「說文卷一下艸部「蓼，辛菜薔虞也。从艸翏聲。」盧鳥切。說文通訓定聲「蓼」假借為鄝。左桓十一傳，州蓼。文五傳，滅蓼。宣八年，滅舒蓼。說文卷六下邑部「鄝，地名。从邑翏聲。」盧鳥切。左桓十一年傳「隨絞州蓼」，據杜注，在今河南南陽府唐縣。顧棟高春秋大事表「蓼，今河南南陽府唐縣南九十里湖陽故城是。」陳槃譔異二四三頁「據前引潛夫論・姓纂暨路

史之說，則今山東定陶之郹與今河南唐河縣（即清唐縣）之蓼並己姓，則是蓼之初國在定陶，後乃遷唐河也。按「狊土父鬲」稱「蓼改」乃蓼國之女，可證蓼為己姓。

〈2715〉「狊土父乍蓼改隮鬲」

0060 薛


a

方濬益謂从月从辛省 b 是薛之古文 薛侯匜〈5176〉



薛侯鼎〈0482〉


c

薛侯盤〈2707〉

「薛a子中(仲)安作(作)旅簠」〈0596〉

「走馬薛c中(仲)赤自作其簠」〈0597〉

PDF 文件使用 "pdfFactory Pro" 试用版本创建 www.fineprint.cn

茅　讀為苗

亂嗣好盜壺〈又288〉

朱德熙、裘錫圭曰「茅當讀為苗」，左傳隱公五年「春蒐夏苗秋獮冬狩」，周禮夏官大司馬「中夏……遂以苗田，如蒐之法」。鄭注「夏田為苗，擇取不孕任者，若治苗去不秀實者云」。（文物一九七九年第一期五〇頁平山中山王墓銅器銘文的初步研究）

張政烺曰「茅，讀為苗」。（古文字研究第一輯二四一頁中山國胤嗣好盜壺釋文）「茅苗蒐狃田獵」〈又288〉

〈又288〉「茅苗蒐狃田獵」

蒐 或从茻畟聲

胤嗣對蛮壺〈1288〉

張政烺曰 蒐，从茻，畟声。从茻與从艸同。畟旁又見于䨻鼎「社稷」之稷字（凡四見），以為声符。《說文》稷从禾畟声，古文作稷，段玉裁注：「按兒蓋即古文畟字」。《說文》畟「从田儿，从夂」，此似从女者，古文字人在下者（儿）或加夂形，而夂又常誤似女，如允加夂成夋，而䨻壺「允哉若言」允作[seal form]，倒正相同。蒐字見《說文》，自許慎以來皆不明其形義，今知是蒐之異體，本字當作蒐，形近致訛。畟古音與稷近，自可讀為稷。（古文字研究第二四一頁中山國胤嗣對蛮壺釋文「茅（苗）蒐（蒐）[犭田]（田）獵」）〈1288〉

周法高曰 蒐隸幽部，畟隸職部，韻部雖不同，偶可相通。蒐所鳩切，古音為*s-；畟初力切，古音為*ts-，可相通。朱德熙、裘錫圭隸定

爲「茅蒐狃畋獵」文物一九七九年第一期第五〇頁平山中山王墓銅器銘文的初步研究。又參本卷三茅字條。

(2288)

「茅苗蒐狃田獵」



a  荊貞簋 貞從王伐荊 <1151>

e  過伯簋 過伯從王伐反荊 从井 <1110>

 衛鼎 甲 〈2037〉

a 白川靜曰荊字積古釋作梁以爲春秋之梁國也曰

按說文梁字从米梁省聲此从刃从米形古从刄之字有从刃者是古文梁字張簋梁字微異者从米从刄者仲梁盨梁古每通作此即春秋之梁國也

奇觚十六中亦釋作梁韓華則曰

舊釋梁非古文荊字从人在荊棘中形後轉从井聲古誼湮矣

鈦毀過伯毀銘有楚荊之語乃在此字形之左旁加井之形也應是荊之初文（金文通釋第十四輯七七三頁六八 舊盤毀銘

潔明謹〈1151〉

唐蘭曰：荊字的本字，說文荊字古文作㓝，應為從艸刈聲，刅即刈字。本象人的手足因荊刺而被創傷，人形譌為刀形，因而或加井形而作㓝字，即創傷之創的本字，增艸而為荊棘之荊（古文字研究第二輯七三頁論周昭王時代的青銅器銘刻上編四二盤盨，盨「鼒從王伐刅」荊字作〜）〈1151〉

唐蘭曰：刅薛氏本作㓝，又作𠛬，當是多字變體，亦小譌。㓝字見盨殷，即刑（荊）字，已詳前。卜辭稱國為方，此說反荊方，還承襲殷代遺風。（古文字研究第二輯八六頁論周昭王時代的青銅器銘刻上編四六、中方鼎二、中方鼎三「伐反荊方之年」）〈1152〉

周法高曰「古文字字形表二二頁荆字下收𤔲盤已入卷五0670刑字條又收智鼎鐘已入卷十三[illegible]號智字條唐蘭釋中方鼎荆方舊釋虎方兩考一七頁云虎方亦見卜辭此屬南國當在江淮流域疑即徐方唐氏蓋因逮執其昭王伐荊楚之說而為此解也」

(0337)「荆人敢」

䓣 茂 鄂君啓節 舟節

「王凥居於茂郢之遊宮」〈X2〉

䓣 同上 車節〈X3〉

郭鼎堂曰：王自即楚懷王，茂郢當即楚都，茂殆是頌美之辭（文史論集三三六頁關于鄂君啟節的研究「王凥于茂郢之遊宮」〈X2〉

〈X2〉〈X3〉「王凥居於茂郢之遊宮」

0068A

荒

中山王嚳壺〈9286〉

張政烺曰：「怠荒與嚴敬義相對。詩商頌殷武『不敢怠遑』，假遑為荒。鄭玄箋『遑，暇也。不敢怠惰自暇於政事』，望文生義，未得其解。」（古文字研究第一輯，一〇頁中山王嚳壺及鼎銘考釋）壺銘：「嚴敬不敢怠荒」

〈9286〉「嚴敬不敢怠荒。」

a

蔡 魏三字石經古文作 說以為蔡字 蔡大師鼎〈0062〉

鄂君啟節 車節作鄀

蔡侯產劍〈文115〉

鄗堂曰「下鄀即下蔡，春秋時本名州來，左傳哀公二年『蔡昭侯自新蔡遷于州來，謂之下蔡』，今之安徽鳳台縣」（文史論集三四〇頁關于鄂君啟節研究「庚下鄀」）〈文3〉

參卷九二〇四希字條

商承祚曰「下蔡鄗殷縣非皆謂今安徽鳳台」（文物精華第三集五四頁鄂君啟節考）〈文3〉

〈文3〉「庚下鄀」〈文13〉「伯蔡父作女嫩寶殷」〈文97〉「蔡侯䵼之用戈」〈文115〉「蔡侯產作畏□」〈文123〉「蔡侯產之用劍」〈文362〉「䘈至于蔡」〈文717〉「蔡」〈文3927〉「蔡公子果之用」〈文5217〉「蔡公子義工作飤簠」



散盤 若 〈2927〉

周法高曰：「吉金文錄卷四頁二四散氏盤『封于若徠，封于若道內陟若』，双選卷上之三頁廿三『封于艾遂，封于艾衢內陟艾』，兩芳矢人盤『封于芻遂，封于芻衢內陟芻』，白川靜金文通釋第二四輯一九七頁散氏盤亦隸為芻，吉金文錄釋為若，與容庚同。」

按散盤此字乃地名，參本卷0068芻字條。羅振玉增訂殷虛書契考釋頁三六云「[illegible]，从又持斷艸，是芻也。散盤有[illegible]字，與此同」，唐蘭天壤閣甲骨文存考釋頁三六云「[illegible]字羅振玉釋芻，余昔釋為芟……今按此亦即芻字，羅說不誤」，然則散盤此字當依羅唐說，據甲骨文字集釋二一七頁釋芻。

革

韗 北域圖〈2289〉

「韗椑棺棺」

朱德熙、裘錫圭曰：「韗棺當讀為椑棺。禮記檀弓上『君即位而為椑』鄭注：『謂杝棺親尸者。椑，堅著之言也。』」（文物一九七九年第一期第四五頁平山中山王墓銅器銘文的初步研究）〈2289〉

周法高曰：「說文卷一下艸部：『韗，雨衣。一曰衰衣。从艸，卑聲。一曰韗藨，似烏韭。扶歷切。』卷六上木部：『椑，圜榼也。从木，卑聲。部迷切。』說文通訓定聲：『椑，假借為廩。禮記檀弓：君即位而為椑。注：謂杝棺親尸者。椑堅著之言也。左哀二傳：不設屬辟。以辟為之。曾子問：三年之戒，以椑從。按猶言伏含也。』」

〈[illegible]〉

「乾△梓棺槨中棺槨既視恩哀」



0702



芻

衛鼎甲<2337>

周法高曰「古文字字形表二五頁芻字下收衛鼎，今據補鼎銘「內史友寺芻」乃人名，字形表又收散盤，已見本卷0882若字下，可參看。說文卷一下艸部「芻，刈草也，象包束艸之形，叉愚切。」

<7337>

「內史友寺芻」



[a] 折

五來二 <0677>



中山王𩇐鼎 <X287>

[a] 白川靜曰：「折謂斷首也。逸周書克殷解有『以黃鉞折縣諸大白』孔注『折，絕其首』。金文中折首之例亦多，不𡢁毁、今甲盤、師寰毁等銘有折首執訊之語。」（金文通釋第十二輯六九六頁六二小盂鼎　林潔明譯）<0671>

張政烺曰：「新，即折字，讀為誓。《說文》：『𣂔，籒文折，从艸在仌中，仌寒故折。』鼎銘是古文，變艸為木。」（古文字研究第一輯二二六頁「中山王𩇐壺及鼎銘考釋」，「於嗚虖呼，折哲桀哉」）<X287>

趙誠曰：「𣂑字作𣂑，按形體分析可有兩種解釋：一、《侯馬盟書》質字作䜣、䜣、䜣（第三四八頁），上部从為所，𠂉為斤之重文符號。據此，𣂑當為𣂑，从木所聲，與質字同聲通假。二、悊字古鉩有作𢘅者（《古籀彙編》十下十九頁），上部从為析字省化，𠂉為才之省畧符號。這樣，𣂑當為悊字。《侯馬盟書》德字或作𢛳或作德（第三四七頁），从心與从木同；又古鉩悊字有作𣘸者，均可證𣂑即悊字。悊字金文通哲。釋質、釋哲，在此都能通讀。按中山王所鑄壺、鼎的文字，其形體、風格與《侯馬盟書》較近，故釋為質，有的確誠然之意。」（古文字研究第二五六頁中山壺中山王鼎銘文試釋鼎銘「嗚（嗚）虖（呼）𣂑（質）哉」）〈2289〉

周法高曰：「朱德熙、裘錫圭隸定作『於（嗚）虖（呼）𣂑（哲）哉』（文物一九七九年第一期第四九頁平山中山三墓銘文的初步研究）。今從朱裘兩氏之說。」

唐蘭曰「析字原作斦，按析字本作斮，以斤析艸，毛公鼎作斦，可見从卜丫與从屮同，从屮與从𡳿同，甲骨文也有斦字」《文物》一九七八年第三期二二頁略論西周微史家族窖藏銅器群的重要意義。析學「析作父乙寶障彝」〈Q312〉

〈Q216〉「飲者月公子土析作子中姜鍛之般壺」〈Q287〉「析哲絲哉

」〈Q312〉「析作父乙寶障彝」〈Q314〉「令乍冊析兄（貺）望土于相侯

冢 蒙 中山

王嚳壺〈0286〉

張政烺曰：「《國語·晉語六》：『閒蒙甲胄』，注：『蒙，被也，被介在甲胄之間』。（古文字研究第二、八頁）中山王嚳壺及鼎銘考釋壺銘「氏是以身蒙㚔皋胄」〈0286〉

〈0286〉「氏是以身蒙㚔皋胄」



唐蘭曰「莽就是莽邑，靜𣪕說『卿數莽邑』是合數邑和莽邑，詩序『雲漢仍叔美宣王也』莽應是仍叔的封邑，其地當在宗周附近，疑是漢書地理志左馮翊的徵縣，顏師古注『徵音懲，即今之澄城縣是也，左傳所云取北徵，謂此地耳，而杜元凱未詳其處也』莽和徵韵相近，此時伯懋父在宗周一帶，沒有跟昭王東征」（古文字研究第二輯四一—四二頁，論周昭王時代的青銅器銘刻上編二三師旂鼎「才莽」在莽）

蘇

-75A

蘇

蘇 蘇 蟲

<x/65>

周法高曰古文字字形表二六頁有蘇字，今據補，蘇蟲用作人名。說文卷一下艸部「蘇，白蒿也，从艸，緐聲，附袁切。」

<x/65>

「蘇作且己尊彝」


a

蒿　辛姬年卿壺〈2828〉



德方鼎〈2222〉



司徒宙

白川靜曰：「蒿，郭氏謂『蒿通鎬，即鎬京』云。蒿與䍙劫尊之『朕蒿祖』之蒿字相近，可視為鎬之初文。鎬在宗周，其內為辟雍營造之處。當時蓋已為周室祭祀之處。」（金文通釋第十輯五六九頁五四德方鼎，林潔明譯）〈244〉

唐蘭曰：「蒿即鎬京，詩經六月序說『宣王北伐也』，詩講玁狁『侵鎬及方，至于涇陽』，又說吉甫去『薄伐玁狁，至于太原』，而下文說『來歸自鎬，我行永久』，可見鎬在宗周之北，相去是比較遠的。鎬和方相近，詩出車『王命南仲，往城于方』，又說『天子命我，城彼朔方，赫赫南仲，玁狁于襄』。城方就是保衛鎬京，而稱為朔方，就是北方。那麼西周時鎬京本在北方，是周的故都是無疑的，但古代

地名往往沿襲，遷移到新的都邑，還用舊名，所以西安的宗周也有鎬京的名稱，後代就不太知道還有北方的鎬了。（古文字研究第二輯，三八—三九頁，論周昭王時代的青銅器銘刻，上編二十司徒害「敔蠲司土徒北征蒿鎬害」）

周法高曰「唐引司徒害『敔蠲司土徒北征蒿鎬害』」

參卷十四二六二鎬字條。

(244)

「自蒿鎬」

0080 萅



萅 从艸 說文所無

屰匚簋 萅井匚服 〈1378〉

a 白川靜曰：「萅，韓𦯓以為乃萬之初文，人名。是則句中無動詞，文意難通。韓𦯓因亦承認文意不通，故曰『詞近古，頗難曉』云。此處萅應讀作動詞。丁佛言說文古籀補補以『萅井二字連讀，謂萅劃井田於侯服之地也』云。文例與『班毁之王令毛白更虢城公服𨑩解，令𨑩更厥祖考服』相同，萅乃以井侯服為賓語之動詞也。」

文錄中以字即劃釐之意也，謂釐正其初封之疆域之事也，與丁氏相同，以為畫土地之義。大系則以字為更字之假借，曰：「萅即萅之繁文，方言：蘇艾，草也，沅湘之南或謂之萅，即此字。字在此乃假為更。」

更乃賡續之意也然則是以井侯之服事使焚及内史二人嗣續之實不免於乖戾楊氏以字爲匄介之假借賜與之義也曰

按葊字从二艸害聲當讀作匄廣雅釋詁三云匄與也漢書西域傳云我匄若馬顏注匄乞與也又廣惠王傳云盡取善繒匄諸宮人顏注匄乞遺之也後漢書竇憲傳云匄施貧民諸匄字皆與之義古害匄音同字多通作曷與害經典通用是其證也伯家父段云用錫害眉壽黄耇錫害連言亦假害爲匄與此銘可以互證

害匄同聲其通假之例周末之器頗多然在周初則無其例又匄專用爲匄求之意無用作賜與之例楊氏所引之伯家父段之文亦爲匄求之義

陳氏以字爲芥之繁文與經籍中所見之介如詩七月以介眉

壽既醉介爾景福酌是用大介之介皆為賜與之義本器之彝即介之義也云釋作賜與之義與楊說相同解作賡續也賜與也皆是以一人之物分屬二人於文義為無理也

于省吾氏以字為害之繁文益封之義也然並無此義訓之例且服者並非所領之意乃指職掌之語故於此難作適解服正如班毀登于大服毛公鼎在乃服等指位或職事也

器銘中所見之受命者為癸與內史二人受命者既為二人則井侯之身分或職掌由二人分嗣乃屬不可能之事然如積微居所云以內史為冊命者與癸有別在語法上亦不成立因而以彝解作賜與嗣服之義皆有困難

受命者為二人則非二人可以共同任其事不可例如令彝令我隹命女二人亢眔矢奭左右于乃寮以乃友事或如班毀王

令吳白曰以乃自左比毛父王令呂白曰以乃自右比毛父」等為二人受命之側然其職事乃共同的或可以分擔之性質者，不過井侯之地位並非可以分割之物

⿱甫廾恐為輔佐之意其音益亦與輔相近輔至西周後期始見其字初期中並無用其字之例箙之字形則或从古或从害䟫古者嚴封載書之意害者以有把手之辛加于載書之形其造字之意有相通之處从古害作為聲符之事則可視為同聲之字也即箙之聲也輔亦从甫聲⿱甫廾井侯服者即輔井侯服也左右與左比右比同義（金文通釋第十一輯五九四—五九六頁五九癸毀，林潔明譯）（4378）

于省吾曰：「第五期甲骨文地名的⿱甫廾字作⿲屮口屮（京津五二八三），只一見，甲骨文編附錄于艸部，並謂「說文所無」。按⿱甫廾字从

口作ㄩ，也如唐字作⿱庚口(甲一一三二)，又金文周字从口作∨者屢見，不備引。周器井侯簋的「⿱茻害井侯服」，⿱茻害字作⿱茻害，與甲骨文形同。楊樹達積微居金文說：「⿱茻害字从茻害聲當讀為匄。廣雅釋詁三云：匄，與也。……⿱茻害井侯服者，服通訓事，謂與井侯以職事也。」按楊說可從。⿱茻害字典籍均作⿱艸害，古文字从茻與从艸無別。方言三：「蘇，芥草也。江淮南楚之間曰蘇，自關而西或曰草，或曰芥。……沅湘之間或謂之⿱艸害。」郭注：「今長沙呼野蘇為⿱艸害。」芥从介聲，⿱艸害从害聲，古字通。說文：「芥，菜也，从艸介聲。」大徐本說文，謂芥字大篆作⿱茻介。總之，⿱茻害為芥之初文，⿱茻介與芥為後起字。」(甲骨文字釋林卷下第四〇五—四〇六頁釋⿱茻害)

a

⿰禾骨 說文所無 魚鼎匕「⿰禾骨入⿰禾骨出」 于省吾謂當讀滑同相 小爾雅滑亂也 〈1170〉

于省吾曰「甲骨文冎字作㞢或[illegible]形。晚周器魚鼎匕「⿰禾骨出⿰禾骨入」的⿰禾骨字，舊不識，余在雙劍誃吉金文選始隸作⿰禾骨，并謂「⿰禾骨當讀滑同相，小爾雅滑，亂也」。金文編曾引用余說。甲骨文編又根據金文編謂：「金文魚匕⿰禾骨（按本應作⿰禾骨）字骨旁从此，知㞢為古冎字。」至于⿰禾骨讀滑的義訓，在此附帶加以訂正。說文謂「滑，利也」。周禮食醫的「調以滑甘」，賈疏：「滑者通利往來。」用之以取實于魚鼎，取其出入滑利，如讀滑為相訓亂，則于文義不符。（甲骨文字釋林卷下第三六七—三六八頁釋冎）

0082



 a

莫

父乙卣 莫觚〈2261〉

 b

〈2935〉散盤

莫 c

晉公盦〈3012〉



中山王嚳壺〈3286〉

〈又81〉「莫敢敔御余」

〈㽞86〉「不兼祥莫大焉」





莽 齊莽史喜鼎

于省吾曰「甲骨文𣏟字作𣡦（續存下四九五），只一見，原辭已殘。甲骨文編謂𣏟字為「說文所無」。按𣏟即莽字的初文。早期古文字的偏旁，艸木無別，單複也無別。例如：甲骨文的萅、莫、萬、萑、𦿉等字，有的从艸或从茻，有的从木从林从森或从𣡕。說文的艸、木二字既然有別，又區劃中艸茻為三个字，這是後來的分別文。說文：「莽，南昌謂犬善逐兔艸中為莽，从犬从茻，茻亦聲。」按西周後期器齊莽史喜鼎的莽字作𦬇，从艸不从茻，乃會意字。這可以糾正說文莽从茻聲之誤。以从艸从林無別驗之，則甲骨文的𣡦即西周金文的𦬇字。總之，甲骨文的𣏟字和金文的𦬇

字，均為莽字的初文，是沒有疑問的。（甲骨文字釋林卷下第四〇四－四〇五頁釋𣐚）

周法高曰：「薛氏歷代鐘鼎彝器款識法帖阮刻本卷九第十三頁有齊莽史鼎，今據摹、銘文云：「齊莽史喜作寶鼎」，為于省吾所引用。」

𦚼 或从肖爿聲

兆域圖〈0289〉

朱德熙、裘錫圭曰：「其下一字从「肖」「爿」聲，當釋作「𦚼」。」（文物一九七九年第一期四五頁「平山中山王墓銅器銘文的初步研究」）

兆域圖「其𦚼眂（視）悉（后）」〈0289〉

徐中舒、伍仕謙曰：「𦚼从爿弋聲，偏旁弋作弔，與㝬弔尊及叔𧊒簋所从之丫卞形同，當隸定為弋。工為匠人所用的工具，爿象俎側立形，俎有足形如丌，側視之則如爿，古人食肉，持刀于俎上切而食之，如𨽍（古將字）象从鼎中取肉，用刀切而食之之形，𦚼則省鼎，刀形而以手持之，匠人需用工具，人持肉而食需用刀俎，其意實同。」（中國史研究九九六頁中山三器釋文及

〈2289〉宮室圖說明（四中山王宮室圖說明）其狀（式）眂（視）悊后

周法高曰「徐中舒、伍仕謙釋狀讀為式，今從朱德熙、裘錫圭釋𦚍葬，未知是否」

〈2289〉「丌其𦚍葬眂視悊哀后」

芑

芑　說文所無、

鄂君啟節舟節「庚芑昜陽」〈82〉

商承祚曰「庚芑昜陽」、譚其驤曰「當即秦時的邔縣，在今湖北宜城縣東北」、水經注「邔本楚邑，秦以為縣」（文物精華第三集第五三頁鄂君啟節考）〈82〉

周法高曰「說文卷一下艸部有芑字，从艸己聲，驅里切。又卷六下邑部「邔，南陽縣，从邑己聲，居擬切」、說文句讀云「陽當作郡」群書皆然，小徐作襄陽縣，蓋後人以字林改之，習鑿齒襄陽耆舊記曰、襄陽有邔縣」說文芑邔二篆皆从自己之己得聲，隸古音之部，與舟節从巳得聲者異」